

会長のページ	年頭所感	河野 雅行	3
年 頭 所 感	日本医師会長	中川 俊男	4
年 頭 所 感	宮崎県医師会顧問	秦 喜八郎, 稲倉 正孝	6
年 頭 所 感	各都市医師会長		7
年 頭 所 感	各専門分科医会長		12
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河野 俊嗣	19
年頭のご挨拶	宮崎大学長	池ノ上 克	20
年頭のご挨拶	宮崎県選出国會議員, 日医推選国會議員		21
新 春 随 想 (その1)			25
	谷口 二郎, 吉住 秀之, 小澤 仁雄, 田村 正三, 先成 英一, 河野 寛一, 安藤 誠, 田島 直也, 鈴木 宣彰, 児玉 芳久, 村岡 敬介, 森満 保, 石坂裕司郎, 大坪 睦郎, 大塚 伸昭, 田中 宏幸, 大西 雄二, 金井 一男, 佐藤 祐二, 前田 資雄		
エコー・リレー (545)		畠中 道己, 松浦喜久子	41
診療メモ	腰痛を知ろうーガイドラインで学ぶ腰痛診療の最前線ー	黒木 浩史	92
宮大医学部学生のページ	Remote Music Festival 2020	村瀬 希	94

あなたできますか? (令和元年度医師国家試験問題より)	40
令和2年1月~12月までの叙勲及び表彰・祝賀受賞会員	42
ベストセラー	43
宮崎県感染症発生動向	44
第1回各都市医師会長協議会	46
令和2年度各専門分科医会長会	47
宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会	
宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議	48
九州医師会連合会令和2年度第1回各種協議会	50
日医インターネットニュースから	62
医師協同組合だより	64
医師国保組合だより	66
会員の異動・変更報告	68
理事会日誌	70
県医の動き	74
ドクターバンク情報	75
行 事 予 定	81
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	83
あ と が き	100

お知らせ	医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください!	39
	医師資格証を持ちましょう	60
	日州医事へのご意見・ご感想	79
	医療勤務環境改善支援センター	91
	郡市医師会への送付文書	96

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：水彩（アクリル）〕

桜島・冬の朝

桜島の北側，県道26号黒神線から横にはずれ，海側に降りてゆくと車一台やっと通れるような細いトンネルがある。それをくぐると古河良港（ふくうらこう）という小さな港があり，まるで異世界に来たように錯覚します。そこの堤防の先から眺めた桜島です。撮った写真を参考にして，雪を描き加え「冬の朝」にしてみました。

ふち わき かず お
都城市 淵 脇 和 男

年 頭 所 感

宮 崎 県 医 師 会

会 長 ^{かわ}河 ^の野 ^{まさ}雅 ^{ゆき}行



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年もさまざまな出来事がありました。中でもコロナ騒動には振り回されました。当初は外国や県外の問題であると他人事のように捉えられていましたが、県内でも瞬間に数百人の感染例が報告されました。夏には九州全域に対して豪雨による甚大な被害があり、年末には鳥インフルエンザが国内・県内各地で発生しています。昨今の天災は忘れる間もなく到来します。災害は早目の対策を取れば被害を減らせるはずです。コロナも全員が当初からマニュアルどおりに行動すれば、世界中でこれほどの大流行にはならなかったのではないのでしょうか。中途半端な対応では駄目である教訓と思われれます。本年はワクチン製造も軌道に乗りそうで、さしものコロナも鎮静化する期待が持てます。しかし、ワクチンもさまざまな問題があるようです。歴史が証明しています、将来にも必ず感染症が流行すると覚悟しなければなりません。今回を教訓にして十分な対策をとりたいものです。

コロナ騒動で我が国の地域医療は混乱を来しています。次第に深刻になり、増幅された余波により経営を含めて医療提供体制は重大な影響を受けています。感染症を含め予測できない救急・災害医療に備えて、普段から地域医療の体制を強化し、余力を持つ必要があります。地域医療は単に我々のみの努力では限界があり、常に政治・行政、関連職種との連携を絶やすことはできません。中でも地域住民との連携は最重要です。

九医連担当で忙殺されています。本年6月までの任期で道半ばではありますが、最大のイベントである九州医学会・総会を昨年11月に開催しました。コロナ対策で会場参加者を制限・規模を縮小し、TV会議を併用した変則開催ながらも無事終了しました。県医役・職員を始め会員諸氏のご協力に感謝申し上げます。

秋には政権交代がありました。問題が山積した状態での交代であり運営は大変でしょうが、菅新政権には地域医療の充実にも努力して欲しいものです。間隙を縫うようにオンライン診療がクローズアップされました。利便性のみを強調するのはいかがなものでしょうか。医療の原則は対面診療であると思います。高齢者の自己負担増額も決定しました。相変わらず地域医療への締め付けは続いているようです。

コロナによって社会や人の行動パターンが変わり、終息後も元には戻らないと言われており、新しい形が模索されています。いずれにしても暮らしやすい社会になって欲しいものです。

本年も皆様のご多幸を祈念いたしますとともに、県医師会へのご協力をよろしくお願いいたします。

年 頭 所 感



日 本 医 師 会

会 長 ^{なか} ^{がわ} ^{とし} ^お
中 川 俊 男

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中に猛威をふるいました。わが国においても国民は、新しい生活様式を求められています。新型コロナウイルス感染症は完全には終息しないともいわれ、今後ある程度の収束を迎えたとしても、現在の就業形態を含む生活様式の一部は定着していくものと考えられます。そのような中、会員の先生方におかれましては各地域で行政と協力し合い、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐさまざまな取組みに日々ご尽力くださっていることに深く感謝申し上げます。わが国に限らず、医療者のこのような献身的な努力に対して、多くの国民から感謝とエールが送られたことはご高承のとおりです。

さて、新たな執行部が昨年6月27日に発足してから6か月が過ぎました。この間、新型コロナウイルス感染症への対応、そのことに連動した医療機関経営の危機的状況への対応、オンライン診療への対応など、激動する社会情勢の中、私は、国民、地域住民の健康を第一に、全国の医師会ひいては会員の先生方と連携して、執行部一丸となって柔軟かつ強靱な対応力をもって業務を遂行してまいりました。

また、昨年9月16日に菅内閣が発足いたしました。菅義偉内閣総理大臣が述べられた「目指す社会像は、自助、共助、公助、そして絆だ」との言葉は、わが国の社会保障の根幹である国民皆保険が、自助、共助、公助の三要素から成り立っていることに通じるものがあります。日本医師会はあらためてこの精神を全うし、国民が安心して医療を受けられることを基本として、これら三要素が適切なバランスを保ちつつ国民皆保険が守られるようしっかりと対応してまいります。そのためにも、これまで以上に国民に寄り添い、医師個人が加入する専門家集団の立場から発信を続けてまいります。

菅政権は、オンライン診療の恒久化を言及されています。日本医師会は、基本スタンスとして、解決困難な要因によって、医療機関へのアクセスが制限されている場合に、対面診療を補完するものという考えに変わりはありません。オンライン診療を行う上での「安全性と信頼性」はかかりつけ医機能を基軸にするべきでありますし、今後、地域医療を担う医師、患者・国民の双方が、真に納

得することのできる仕組みづくりを目指して政府や国の審議会における議論に臨んでいきます。

一方、ICTやデジタル技術など、技術革新の成果を、医療の安全性、有効性、生産性を高める方向に向けることは大変重要な視点と考えています。今回の新型コロナウイルス感染症への対応においては、ファックスが主に利用されるなど日本の医療分野でのICT化の遅れが浮き彫りとなりました。平時、有事の双方で、良質かつ適切な医療が提供できるよう、医療のICT化を積極的に進めてまいります。

日本医師会は、今後の医療政策策定にあたっては、初期段階よりしっかりと関与していくことはもちろん、適切な合意形成プロセスに則り、政策遂行にあたっていく所存であります。更に、地域医師会を全面的にバックアップし、医療現場が安心して医療に集中できるようさまざまな施策を国に提案してまいります。

会員諸氏の深いご理解とさらなるご支援をお願い申し上げますとともに、本年が国民にとって明るい展望が開ける年となりますことを祈念し、新年のごあいさつといたします。

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

”	”	”	”	”	理	”	”	”	”	”	”	”	常任理事	”	副会長	会	
帖	米	岩	佐	川	峰	高	瀬	石	金	池	荒	小	吉	山	濱	長	
佐	澤	村	々	野	松	木	ノ	川	丸	井	木	牧	田	村	田	河	
悦		威		啓	俊	純	洋	智	吉	義	早	建	善	政	雅		
男	勤	志	究	一郎	夫	一	史	信	昌	彦	苗	斎	世	教	雄	行	
<hr/>																	
								監	”	”	”	”	”	”	理		
								事									事
宮崎県医師会								事務職員一同	宮	小	中	上	玉	大	赤	園	嶋
								一	田	牧	村	山	置	塚	須	田	本
								純	文	周	貴		康	郁	定	富	
								一	雄	治	子	昇	二	太	彦	博	
													朗	郎			

年 頭 所 感



宮崎県医師会顧問

秦 喜八郎

明けましておめでとうございます。

昨年は「新型コロナ」に振り廻された一年でした。2月武漢での発生が伝えられると、瞬く間に世界中に拡がりました。

4月7日 7都府県緊急事態宣言、4月16日対象の全国拡大。5月25日 緊急事態宣言解除。7月22日 Go Toトラベル事業開始。8月 第2波、9月 安倍首相退陣・菅首相誕生。11月 第3波、現場から医療崩壊の危惧の声。本県でも複数のクラスター発生。

その最中の11月28日～29日に第120回九州医師会連合会総会・医学会が開催されました。中川日医会長並びに九州各県医師会長のLIVE参加での新しい会議方式で肅々と滞りなく挙行されました。河野会長以下の役職員の皆様の2年間の準備の賜物とあらためて敬意を表し、感謝します。

さて、今年は「ポストコロナ」「ウイズコロナ」の元年となります。ロシア・中国でのワクチン接種開始、英国での年内（2020年）接種の見通しが伝えられています。

国民の総力を挙げて、「新型コロナ」を封じ込めなくてはなりません。感染症パンデミックや広域災害発生対策の視点から医療計画の見直し、デジタル化の推進、オンライン診療の環境整備も必要です。

「ポストコロナ」の課題として、10年間歯止めのかからない「人口減少」、人生100年時代を迎えての「ACP会議」「SDGs宣言」「100才自立」に関心を持っています。

今年こそ、世のなか安穏なれと祈ります。



宮崎県医師会顧問

稲 倉 正 孝

新年明けましておめでとうございます。昨年は世界全体・全人類にとって大変

な年でした。いずれも解決困難な問題で、今年に引き継がれました。

緊急な課題は、新型コロナウイルス感染症のパンデミック流行です。感染力が強く、短期間で全世界に拡がりました。コロナが強いた「巣ごもり」は経済的弱者と云われる低所得者を中心に働く場を奪い、甚大な被害を与えました。12月2日現在、国内の新型コロナウイルス感染症患者は151,776人、死者は2,216人と報告されています。経済の主役は製造業からデジタル産業に移り、更にロボットの採用などの合理化が進み、雇用を生み出す力が弱くなり、ITなどの特別なスキルがなければ働けない時代になりました。新型コロナウイルス感染症に関する明るい話題は、同ウイルス感染症に罹患し、治癒した人の98%に半年後に再感染を防ぐ「中和抗体」が残っているとの報告と米英でワクチン接種が始まるとの報道です（2020年12月現在）。

地球温暖化による災害の大型化および頻発化、プラスチックごみなどの環境汚染問題、いずれも人類の資源の大量浪費の付けがもたらしたものです。

昨年末には、宮崎、香川、福岡、兵庫県で高病原性鳥インフルエンザが発生しました。養鶏業は宮崎県にとって重要な産業で、経済的なダメージは大きく、効率を求める大規模養鶏の弱点を攻められています。ウイルスとの戦いは長期戦を覚悟する必要があります。

終わりに、本年がより良き年になるよう祈念して、新年のご挨拶といたします。

年 頭 所 感



宮崎市郡医師会長
川 名 隆 司

明けましておめでとうございます。旧年中は、多大なるご厚情を本会に賜り厚

く御礼申し上げます。

昨年8月より、本会関連諸施設の新規運用がスタートしました。医師会病院（健診部門を含む）・看護学校・検査センター・地域包括ケア推進センター・事務局が一体的に移設され、この先も地域の実情に即した合理的な運営を遂行したいと思っております。

現在国は、現役世代人口が急激に減少していく2040年度に向けて、地域医療構想・医師の働き方改革・医師偏在対策を推し進めています。しかしながら、将来今回のCOVID-19のような新興感染症が発生すれば、その三位一体改革は少なからず影響を受けるものと推察されます。地域医療構想に謳われた病床数の適正化については、オーバーシュートを想定し病床数に余裕を持たせるなど、柔軟な対応が望ましいのではないのでしょうか。またその折り、重症者も急増する状況になれば、医師の働き方や偏在対策には、有事ゆえの例外的な解釈、免責も必要かと考えます。

この数か月で「新しい生活様式」は、国民の間はかなり浸透してまいりました。私ども医療従事者も、オンライン診療の利活用など「withコロナ時代の新しい医療形態」への転換を求められています。経済活動を含む地域の安定のためには、コロナを拒絶するのではなく、コロナをコントロールする方法論を社会全体で共有することが肝要であり、本会も医療の側面から求められる役割を果たしたいと思っております。

本年が皆様にとりまして、明るく希望に満ち溢れた年になりますようご祈念申し上げます、新春のご挨拶とさせていただきます。



都城市北諸県郡医師会長
田 口 利 文

新年あけましておめでとうございます。旧年中は当医師会に多くのご支援を賜りまして、本当にありがと

うございました。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策に迫られた1年となりました。県が構築したコロナ感染症医療体制では当医師会病院は県西地区の重症患者を受け入れることになっています。昨年11月には小林地区より受け入れた患者をICUにて呼吸器管理しました。中小病院にとって一人の重症患者に対する人的投入は大きく、看護職員や医師の負担が心配されました。幸い1週間後には大学病院に受け入れていただき、救急患者の受け入れの制限をすることなく乗り切ることができました。今後も脳卒中や心筋梗塞などの一般の救急患者を受け入れながら、コロナ感染患者を受け入れるという非常に厳しい状態が続くものと考えています。

2025年プランに向けた地域医療構想にのっとり、当地域では不足している高度急性期を担う病床数を増やす取組みを進めております。会員の日常診療を高次医療で支援する、在宅医療における急変時に対応する救急体制を早急に整備する必要があります。地域医療構想で進められている病床を減らして、在宅医療を推進することはできません。心筋梗塞を含む心血管疾患、脳卒中など一刻を争う救急医療は当地域でしっかり整備し、地域完結型医療を目指します。医師確保につきましては、地方都市の更に地方都市となりますとかなり困難を極めると考えます。研修医の増加に期待し、医師会病院を含む会員各施設で派遣医師が働きやすい環境を整えていく必要があると考えます。看護専門学校などの非採算部門は公益性を重視しながら、更なる改革が必要と考えます。まだまださまざまな課題がありますが、本会役員一丸となって問題の解決に当たっていく所存です。

本年も当医師会に対するご支援、ご協力よろしくご祈念申し上げます。新しい年が皆様にとりまして、更に良い年となりますよう心より祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



延岡市医師会長
佐藤 信博

新年明けましておめでと
うございます。本年もよろ

しくお願い申し上げます。2020年は東京オリンピック開催という輝かしい年のはずでした。しかし、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により本当に厳しい年となりました。皆様におかれましては、精神的にも経済的にもダメージを受けておられるのではないかと憂慮しております。特効薬がはまだ開発されていない現在、医療資源の乏しい地方都市では毎日不安が絶えません。しかしながら、今年はワクチンの投与が可能になり、集団免疫の獲得により感染リスクが下がることが期待されます。また、治療法もかなり確立されてきたことで、明るい兆しが見え始めました。

延岡市医師会におきましては、検査外来を開設することで会員の皆様の負担を少しでも軽減できているのではないかと考えています。また、唾液検査でインフルエンザA型、B型並びに新型コロナウイルスを同時に検査できる機器も稼働しています。今後も行政、県立延岡病院、各医療機関との連携をしっかりと図り、可能な限りの対策を行ってまいり所存でございますので、皆様のご協力・ご支援のほどお願い申し上げます。

医療と経済、いずれも大切ではありますが、医療人としてまずは人々の健康・生命を最優先とし、地域医療を守ることに全力を尽くしてまいります。

最後に、社会活動ならびに国内外の経済が復活するとともに、医療機関の経営が安定し、皆様にとりまして、2021年が良き年となりますことを祈念申し上げます。



日向市東白杵郡医師会長
千代反田 晋

謹んで初春のお慶びを申
上げますとともに、今年

一年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

一昨年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は今や世界中で猛威を振るって収まる気配がありません。ダイヤモンドプリンセス号での集団感染があった春先には東京、神奈川をはじめとした都会での感染対応がメディアを通して日本中に報じられました。その後、当医師会でも国、県からの指針に基づき検査態勢や入院施設の選定に取り組みしましたが、圏域の医療体制の脆弱性もありその対策に焦燥感を募らせていました。3月の医師会理事会において、PCR検査センターを医師会主導とするのか行政主導とするのが議題に挙がりました。検討した結果、当圏域では行政主導が最も良いのではないかと結論に至りました。行政機関の方々には年度はじめの大変お忙しい時期ではありましたが、日向保健所、日向市役所と計6回の長時間に及ぶ協議を経て、7月には行政主導でのPCR検査センターを開設することができました。医師会員のみならず地域住民にとって行政主導の安心感は何にもものにも代えがたく、保健所ならびに日向市、東白杵郡の各自治体様には深く感謝申し上げる次第です。今回の新型コロナウイルス感染症に限らず、不測の重大な事態に対して各郡市医師会においても各機関の横断的な取組みは非常に重要であると思われました。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を祈念して新春のご挨拶とさせていただきます。



児湯医師会長
永友和之

明けましておめでとうございます。

昨年6月の総会で指名され、10期目の会長職を務めています（最後です）。私の年齢は奇しくもトランプさんと同じです。私もトランプさんに負けないように、後世に何かレガシーとして残せるよう今年は見苦しくとも必死でがんばってまいります。昨年はその1つとして医師会館周囲の壁の建設（正確には整備かな）を終えたところです。

さて児湯医師会員64名は活気溢れる活動を行っています。以下2点を紹介します。

①新型コロナウイルス感染症

昨年10月の郡市医師会だよりに報告したように7月に児湯西都地区においては第1波の感染爆発がありました。人口密度比では全国最大クラスでしたが、1か月あまりでほぼ完全に収束できました。もたもたしている厚労省・専門委員会などは当地を参考にしているのでしょうか。

しかし油断は禁物、依然としてこの感染症は猛威をふるっています。今後も準備に万全の体制で臨んでまいります。

②児湯准看護学校

本校は、1963年に設立され、良質の看護職を育て今も優秀な生徒（今の在校生は全国でもトップクラス、ホントです）が学んでいます。授業もタブレットを購入しICT（情報通信技術）の基礎的知識や情報管理を学ぶ内容を数年前から導入し、今回のコロナ下でもオンライン授業などをスムーズに行えました。

児湯准看護学校モデルは、全国219校の准看護学校の頂点に立っています。

以上です。

今年もどうぞよろしく願い申し上げます。



西都市西児湯医師会長
松本英裕

明けましておめでとうございます。

昨年はオリンピックイヤーですね、から年頭所感を述べましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のために今年に延期になってしまいました。個人的には開催を望んでおりますが、どうなるでしょうか？開催＝終息につながっていくものと祈念しております。

今年は「丑年」。「丑」の本来の意味は「からむ」という意味があり、芽が種子の中で伸びることができない状態を表しているようですが、逆に「発展の前触れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。本年1月には西都市長選挙があります。皆様に心配していただいている西都児湯医療センター新病院建設に向けて、大きな選挙になると思います。発展的な結果になると信じております。「丑年」は「牛年」とも書きます。「牛」は古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から「我慢（耐える）」を表す年でもあるようです。宮崎県の中でも農業の強い地域である西都市において「耐えて、芽が出る」年になって欲しいと思います。昨年も書きましたが、私は「いぬ年」ですので、今年も忠誠心を持って多くの先生方に合わせながら会長職を全うしたいと思っております。

今年も行政と良好な関係を保ち、三師会での連携も更に充実させ、多職種間の顔の見える関係づくりに尽力していきたいと思っております。

最後に、今年も皆様方に当医師会への更なるご指導、ご鞭撻をお願いし、会員の先生方の健康と幸せを祈念申し上げます。



南那珂医師会長
中村 彰 伸

新年明けましておめでとうございます。

まだ新型コロナウイルス感染症第3波の真ただ中にある状況を推察します。昨年末にはコロナ下でのインフルエンザ流行を見据えた発熱患者の「診療・検査医療機関」として、多くの先生方に登録していただき、地域医療を守るという医師会の役割を担っていただけることに深く感謝申し上げます。ただ提供する医療内容や医療機関の構造上、発熱患者の診療を拒まざるを得ない医療機関があることも事実であり、それらの医療機関から「診療・検査医療機関」へ円滑かつ安全に患者紹介ができる体制を早急に整備する必要があると考えます。また「検体採取センター」事業にも多数の先生方に参加いただき心強く思っております。昨年11月末での採取実績はゼロでしたが、同時期に新型コロナウイルス新規感染陽性者が当地区で2名判明しており、「診療・検査医療機関」が機能した証左と考えます。

安全かつ確実な予防・治療法が導入されるまでは、三密を回避するなど感染拡大防止策を実践しなければならない状況が続くと予想され、安全なワクチンの開発、導入が切望されます。今夏には東京オリンピックが延期開催予定ですが、個人的には開催可能かどうか懐疑的で、開催したとしても選手、観客ともに参加不足で成功できるとは思えません。

とにかく今は新型コロナウイルス感染の鎮静化に向け、感染症専門の先生や保健所の指導を仰ぎつつ、行政や県医師会、関係団体とともに、会員一丸となって取り組んでいかねばならない時と考えます。理事の先生方、執行部の先生方とともに会務執行に取り組み、最新の情報を会員の先生方に発信して適切な医療を提供していただけるよう全力を尽していきますのでご理解、ご協力よろしく申し上げます。最後になりますが皆様にご自愛くださり、幸多き一年となりますよう祈念申し上げ年頭のご挨拶といたします。



西諸医師会長
内村 大 介

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年を

迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。旧年中は当医師会への格別なご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

昨年は初頭より新型コロナウイルス感染症が社会全体に甚大な影響を及ぼしました。テレビでは中国武漢の病院の廊下や路上で息を引き取る人の姿などのセンセーショナルな映像が流れ、医療体制崩壊の惨状が世界に伝えられてくるようになり、有効な治療法がないまま人々に不安と恐怖を与えました。その後瞬く間に感染はパンデミックとなって世界中に拡大し、日本においても第1波、第2波、第3波と現在も感染の波が落ち着く様子はありません。その中で多くの医療従事者がこれまでに経験したことの無い緊張感や不安を持ちながら日々業務にあたっていることと思います。大変感謝するとともに敬意を表します。

当西諸地域においては、これまで2名（11月末現在）の感染者しか確認されておりませんが、いつ爆発的な感染が起きないとも限りません。そのような中、昨年12月には当地域の中核病院でもある小林市立病院に抗原定量検査機器ルミパルスが導入され、地域の検査センターとしての役割をスタートしました。今後の感染拡大を防ぐうえで非常に有効なものになるとともに、本記事が掲載されるころには感染状況が落ち着いていることを切に願っております。

最後になりますが、当医師会に対しまして、これまで以上のご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。あわせて本年が皆様にとって実り多い素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



西白杵郡医師会長
植 松 昌 俊

明けましておめでとうございます。皆様におかれま

しては、新年を健やかにお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

年明け早々の業界紙はどれも、多くの役職者の年頭書面でいっぱいになる。悪いニュースの後に、良いニュース、そして今後の展望へと移行し、次に「こうしたなか」とかいう書き出しで自組織の出来事を述べ、最終的に課題を羅列し、「終わりに皆様の」ご健勝、ご健康、ご繁栄、ご多幸を「祈念申し上げる」のである。今年の悪いニュースは新型肺炎一色であろうか？

また、今年の目標として「顧客満足度」や「信頼の確保」を掲げる会社がある。裏を返せばそれらに欠けている、ということか？ 中長期目標を掲げ、その進捗状況についてふれるというパターンもある。

そして、「今年こそは飛躍の年」とか「さらなる発展」、「今年は更に充実」と締めくりたいところだが、右肩上がりの以前ならいざ知らず、コロナ禍の現在、さらなる発展は厳しいのではなかろうか？

現在、西白杵郡では、人口減にともなう少子高齢化、就労可能人口の減少などの問題山積です。しかし、いまだ新型コロナウイルス感染症の拡大が続いている中、当地では医師会の役員会が開催できていません。つまり、令和2年に小生が西白杵郡の医師会長に就任以来、一度も役員会が開催できていないということです（令和2年10月現在）。今後のことが見通せない状況が続いていますが、本年もどうぞよろしく申し上げます。



宮崎大学医学部医師会長
鮫 島 浩

新年あけましておめでとうございます。

皆様には穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の猛威にさらされた1年でした。手洗いやマスクなど、感染症対策の基本の重要性を再認識させられました。

手洗いといえば、1840年代のゼンメルワイスの偉業を思い出します。ハンガリー生まれで、統計学も修めた産婦人科医で、細菌の概念が確立される以前に、手洗いの重要性を世に示しました。

当時、多くの女性が産褥熱で死亡しており、その対策は極めて重要でした。医師が分娩を行う病院での死亡率が、助産師分娩施設の数倍も高いことから、手洗いの重要性に気付いたゼンメルワイスは、医師に手洗いを指導し、産褥熱の頻度を助産師レベルにまで低下させました。更に器具洗浄を加え、死亡率を劇的に低下させ、多くの女性と家庭に幸せを届けました。

伝承によると、当時の医師は、剖検したままの「神聖な手」で分娩を取り扱ったそうです。ある時、ゼンメルワイスの同僚が剖検中にメスで受傷し、それが元で死亡しました。その剖検所見が産褥熱と類似していたことから、産褥熱の原因物質が伝搬したと類推しました。実証には、学生時代に修得した統計学が役立ちました。

感染症、臨床統計、科学的観察と臨床推論という医療・医学の基本の重要性をあらためて思いました。大学病院も、医学の基本根本を踏まえつつ、最新医療を展開させていきます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

年 頭 所 感



内科医会長
比 嘉 利 信

明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染の流行を受けて、4月の日本内科学会、日本臨床内科医会（日臨内）をはじめ、予定されていた学会、会議、講演会などがほとんど中止または延期となりました。5月の本会の総会・学術講演会も残念ながら中止とし、令和元年度歳入歳出決算と2年度事業計画案については、文書による決裁とさせていただきました。10月には本会が担当する日臨内九州ブロック会議・九州各県内科医会連絡協議会・同内科審査委員懇話会は、本部の望月会長と次期担当の沖縄県内科医会のご理解をいただき、1年延期とさせていただきました。すでに宮崎の食（宮崎牛や地鶏など）を楽しみに宿泊を予約されていた会員もおられました。

11月28・29日の九州医師会医学会総会、各分科会と記念行事も、開催形式の変更や中止を余儀なくされました。内科医会は内科学会九州地方会として宮崎大学下田和哉教授の下で、午前中の学会はWeb配信のみ、午後の生涯教育講演会は会場とWebのハイブリッド方式での開催となりました。学会は約700名、生涯教育はWeb約400名と会場30数名の参加で、新しい様式に戸惑いもありましたが、予想以上の参加で無事に終了いたしました。

新型コロナパンデミックは、私たちの生活様式を一変させています。新しい波にも上手に歩調を合わせ、今後とも本会の柔軟かつ健全な運営を図っていきたく思います。新型コロナの早い終息を祈りつつ、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



小児科医会長
高 村 一 志

明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症にふりまわされた1年でした。小児科の診療報酬が全国的に落ち込み、5月は40%以上減少した小児科クリニックは多数あります。中でも宮崎県の小児科クリニックでは予防接種、乳幼児健診の落ち込みはそれほど出なく、経営に少しの希望が持てました。

昨年12月から第3波に突入しましたが、小児科の診療体制をどのようにするのか12月の時点で決まっていない小児科クリニックは多数ありました。普段から発熱患者を診る小児科にとって、流行期に入った場合には一般の発熱、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症を分けて診察することはできません。すべての発熱患者を院外（コンテナ、テント、自家用車など）で感染防御しながら、診察、検査を行うことは、一日数十人の発熱を診る小児科には時間的にも不可能です。流行期に入らないことを願うばかりです。

落ち込むことばかりの2020年でしたが、2021年への希望を考えてみたいと思います。Webでの会議が今年も続くと思いますが、Web会議は若い先生方が参加しやすいという側面があり、昨年の宮崎県小児科医会総会は例年よりたくさんの先生に参加してもらいました。悩みながら診療しているのは自分一人だけではない、と認識された小児科医も多いのではないのでしょうか。今年はWeb上でたくさんの情報を共有しながら、耐えて診療する1年になりそうです。新型コロナ感染症が終息したときに小児医療を支えられる体力が病院小児科を含むすべての小児科医に残っているよう願いながら。



外科医会長
白尾一定

2021年（令和3年）元旦、皆様、明けましておめでとうございます。今年は、丑年です。丑は十二支の二番目で子年に蒔いた種が芽をだして成長する時期で、先を急がず着実に進めることが将来への成功への道とされています。

2020年4月に役員改選がありました。2期目の新理事として、県立宮崎病院大友直樹先生、県立延岡病院土居浩一先生、県立日南病院市成秀樹先生、黒木病院の塩月裕範先生、新監事として、元村祐三先生、峯一彦先生に就任していただきました。副会長は、宮本耕次先生、百瀬文教先生です。

宮崎県外科医会では、外科の魅力を発信するように、ホームページを開設しています。2020年2月1～2日に東京で開催された「次世代の臨床外科医のための特別セミナー」には若手3名を派遣しました。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、夏期講演会、秋期講演会は中止、国内短期留学生もありませんでした。2021年2月26日の冬季講演会では、会場とWeb同時開催を行います。一般演題9題の中から、卒後5年目以内の研修医と学生を対象に、若手奨励賞として賞状と金一封を贈呈します。「熟練外科医から若手外科医へ」の講演は、増田病院の増田好治先生です。

新型コロナウイルス感染症の影響で、外科医療にも深刻な影響を及ぼしています。特に、新型コロナ患者を受け入れた施設では、一般外科診療や手術に影響が出ています。2020年4月1日付で日本外科学会より「新型コロナウイルス陽性および疑い患者に対する外科手術に関する提言」が発表されています。2020年6月16日には、術前検査としてのPCR検査は、検査体制や偽陽性の問題から当面困難であり、抗体検査については、「新型コロナウイルスを疑う症状発症後2日目から9日目以内の者については、抗原検出キットで陰性となった場合には追加の検査を必要としない」という厚生労働省通知が出ています。外科医は、日ごろからガウンテクニックや清潔操作、術後感染管理などに精通しています。PPEの着脱や医療従事者への指導など、感染症対策へ寄与できます。一日でも早く新型コロナウイルス感染症が終息し、一般外科診療が安心して行える日を望んでいます。



整形外科医会長
松本宏一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症パンデミックの影響を、数々の場面で受けることになりました。

昨年5月に開催される予定であった日本整形外科学会学術総会はWeb会議になりました。開催期間は令和2年6月から8月の3か月間で行われ、講演はオンデマンドで配信されました。宮崎の自宅にいながら、しかも好きな時間に、主要な先生方の講義を拝聴することができ、また整形外科専門医を維持するために必要な講義単位も十分取得することができました。

宮崎県整形外科医会総会は毎年7月に開催されていますが、昨年度（令和2年度）は通常開催は行われず、評議員会、理事会、総会すべて書面決裁となりました。総会には例年役員以外の先生方は出席されませんので、今回総会が書面決裁となり議事の内容を詳しく、会員全員に、書面で送付することができました。県整形外科医会の1年間の行事内容が会員の先生方に良く伝わったのではないかと考えています。

令和2年11月に行われました宮崎県整形外科医会研修会は通常開催となりました。国保審査委員からは税所幸一郎先生が、社保審査委員からは福嶋秀一郎先生が宮崎県における保険審査基準を説明されました。また、宮崎県医師会労災部会自賠委員会の委員長であります谷村俊次先生から自賠責保険の問題について、お話をさせていただきました。

今年も新型コロナウイルス感染症の影響が続くと思われます。子どもたちが帰って来ないお盆休みに1人で宮崎の自宅で日本整形外科学会学術総会のオンデマンド配信を視ているという出来事はどう評価すれば良いでしょうか。

現在各国の国民国家の国境は閉じられていて、宮崎県の県境も閉じられたことがありました。今年は宮崎におきまして、各地域や各職種の新しい分断が起きないことを願っています。

県医師会会員の皆様には恙なき新年を迎えることができますようお祈り申し上げます。



皮膚科医学会長
田 尻 明 彦

新年明けましておめでと
うございます。謹んで新春

のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は私たちの生活を一変させました。話をすることで感染が広がるので、人に会わないことが感染拡大の防止策となっています。「人に会って話をする」という普通のことが、いかに素晴らしいことなのかをこの感染症により知らされました。

学会はWebが利用されていますが、パソコンで講演を聴講すると思った以上に集中することができました。いままでは学会に出席するために病院を休診にしていたのですが、休診にして患者に迷惑をかけることや、現地への移動、宿泊などの負担を考えると、パソコンを開くだけで聴講できるWebでの参加は本当に有り難いと思いました。コロナ禍が落ち着いても、この形式は続けて欲しいと思います。

厚生省はオンラインによる診察を初診から認める方針のようですが、患者と対面で診察することは医療の原点だと思います。皮膚科は皮膚を診ることで診断しますが、画像だけでは正確な診断はできません。これを認めると、思いもかけない弊害が発生することは目に見えています。日本医師会に頑張ってください、この流れを止めて貰いたいと思います。

コロナ禍はまだ続っていますが、今年は10月29日、30日に西日本皮膚科学会総会が宮崎市で開催されます。このころにはコロナも落ち着き、全国の皮膚科医と楽しく会話ができる学会になることを期待しています。



産婦人科医学会長
肥 後 貴 史

あけましておめでと
うございます。謹んで新年のお

慶びを申し上げます。

令和2年は、2月3日に横浜港に到着したクルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」に始まった日本の新型コロナ感染症に対する対策の1年でした。厚生労働省からの要請で、産婦人科医学会も宮崎県・宮崎市と周産期医療協議会で協議し、新型コロナ感染妊産婦の受け入れ態勢を整えてきました。実際、新型コロナ陽性妊産婦の受け入れ態勢は地域周産期センターを中心にスムーズに稼働することができました。

更に令和2年11月から、妊産婦寄り添い支援事業がスタートしました。妊産婦の不安を解消するため、①「不安を抱える妊婦への分娩前新型コロナウイルス検査」と②「感染した妊産婦への寄り添い型支援」を2本柱とした事業です。

その他継続事業として、

- ①「子育て世代包括支援センター」を令和2年度末までに各市町村に設立
- ②子育て支援とゼロ歳児からの虐待防止を目指し、全市町村の要保護児童対策協議会に参加
- ③妊産婦のメンタルヘルスクエアが必要な患者をより多くピックアップするための、産後2週・4週健診の充実
- ④虐待による次世代への負の連鎖を断ち切るために、早い段階（少なくとも小学校高学年）から正しい性教育を行い、性行為感染症だけでなく、性の素晴らしさ、生命誕生の素晴らしさなどを伝える
- ⑤子宮頸がんが死亡するワースト県という汚名返上のために子宮頸がん検診とHPV予防ワクチン接種推進に努力

本年もこれらの事業に対し、更なる関係機関との連携構築を進めていきたいと思っています。



泌尿器科医学会
葦 田 国 広

新年明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年令和2年を振り返りますと、「何はともあれ、とにかく新型コロナウイルスCOVID19」に振り回された1年でありました。そしてそれは更に「現在も！」と進行形で進んでおり、当宮崎県においても、今までの第1波流行、第2波流行に比べて、遥かに多い現在の第3波流行がほぼ毎日発生し、医療・介護施設でもクラスター発生を認めています。

さて、話が最初から脱線しましたが、宮崎県泌尿器科会の活動に関しては、昨年度は11月28日に開催の第120回九州医師会医学会において、河野会長の御厚意により泌尿器科分科会を初めて開催させていただくことができました。

しかも分科会はほぼ半数が中止となる中で、当第10泌尿器科分科会は対面方式で開催することが出来ました。そして内容は日本臨床泌尿器科医学会から医療経済の話題に加え、秋田大学羽瀧教授による「泌尿器科腹腔鏡手術の歴史と現在」について語っていただきました。そして日本泌尿器科学会専門医認定領域講習会も兼ねていましたので、参加者は約20人になりました。

その他、ほぼ隔月開催の宮崎県泌尿器科医学会はほぼ予定どおり開催されましたが、一部Web開催にて飲食は全く開催されず。また、12月の忘年会に関しても「講演のみ」で各自散会となり、何となく物足りないのですが、昨今の事情を思いますといたし方ありません。

そこで、今年の予定について述べますと、先ず1月23日には日本泌尿器科学会宮崎地方会を例年どおり「対面形式」で行う予定です。更に11月には第73回西日本泌尿器科学会総会が開催されます。

また当会の現状につきましてご報告しますと、この1年間では大きな動きはなく、宮崎大学泌尿器科にて若手泌尿器科医の育成が着実に進行していますが、まだまだ泌尿器科医が不足しているのも事実です。

最後になりましたが、本年も会員皆様にとりまして良い年になります様祈念しまして、新春の御挨拶といたします。



眼科医学会
中 村 彰 伸

明けましておめでとうございます。

2020年は新型コロナウイルス感染症流行の影響で、眼科医学会行事が一部中止を余儀なくされ、眼科医学会講習会につきましては共催製薬会社の協力でハイブリッド形式のWebライブ配信で何とか開催することができました。ネット環境のない先生方にも三密を避け、会場で画像供覧することができ、ご協力いただいた講師の先生方や会場環境整備に尽力いただいた製薬会社のMRの方々にお礼申し上げます。眼科専門医資格維持の一助となるように講習会を開催しておりますが、今年も当分の間Webによるライブ配信聴講になる予定です。先生方には何かとご不便をおかけするかと思いますが、ご理解ご協力いただけたら幸いです。ただWeb開催の場合には、講演内容に関する先生方の反応などをうかがい知ることが、会場での対面開催にくらべ困難となることや、終了後の情報交換会がないため会員間の対話の機会が失われ、会内の結束が損なわれたり、眼科医学会として掲げる目標の共有化に支障を来すのではないかと危惧します。専門医資格維持について、新専門医機構が、5年ごとの更新時に合格率70%（30%を不合格：更新不可）程度の試験導入予定であるという情報があります。もし試験制度が導入されたら更新を断念する先生が出現し、制度の維持に支障あるのではと愚考いたします。

眼科医療について地域住民に啓発活動として行っております「目の健康講座」と「目の愛護デー」につきましては日本眼科医学会90周年記念事業の一環として、昨年中止となった延岡地区での開催を予定しております。

開催時において新型コロナウイルス感染症がどういう状況になっているかの予測は不能ですが、感染防止対策を充分にとって可能な限り開催する予定です。担当の先生方、地区の先生方のご協力よろしく願います。

今年も昨年同様、自然災害への備えや新型コロナの感染拡大防止対策などまだまだ予断許さぬ状況ではありますが、理事の先生方や事務局の高山氏にご支援いただき、会務に取り組んでいく所存です。ご理解ご協力よろしく願います。文末ではありますが、先生方のご健勝とご多幸、ご活躍をお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



耳鼻咽喉科医学会長
井 手 稔

新年あけましておめでと
うございます。謹んで初春

のお慶びを申し上げます。

令和2年4月1日に一般社団法人(一社)日本臨床耳鼻咽喉科医学会が設立登記されました。この会は(一社)日本耳鼻咽喉科学会(会員数:約11,100人)と独立した耳鼻咽喉科開業医中心の全国組織の会です。以前にも同様の耳鼻咽喉科開業医のNPO日本耳鼻咽喉科医学会というのがありましたが、耳鼻咽喉科医学会のない県もあり全国組織とは言えず、会員数も約2,200人でした。(一社)日本臨床耳鼻咽喉科医学会は全国47都道府県の耳鼻咽喉科医学会の連合組織であり、会員数は約7,200人です。全国の耳鼻咽喉科臨床医の意見を日本医師会や政府行政に伝え、地域医療の充実のために活動する会です。

ところで、耳鼻咽喉科でよく行われるネブライザー療法は日本環境感染学会「医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド(第2版)(令和2年3月10日)」により、エアロゾルを生じる処置となり、その廃止を余儀なくされました。が、その第3版(5月7日)で耳鼻咽喉科にて使用するような薬剤投与に用いるネブライザーはエアロゾルを生じる処置から除外されました。しかし、日本耳鼻咽喉科学会の対応ガイド(5月25日)では、新型コロナウイルス感染症の発生がない地域でも十分な感染症対策を行い症例も選び実施するとなり、ネブライザー治療はまだ控え気味です。

最後に、宮崎県医師会の先生方には、本年もよろしくご支援、ご指導お願いいたします。そして、新型コロナウイルス感染症に対して共に戦いましょう。



精神科医学会長
吉 田 建 世

新年明けましておめでと
うございます。今年が良い
年でありますようにご祈念

申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症一色の年でした。全国だけでなく、宮崎県でもクラスターが発生し、多くの感染者が出たところです。感染症指定医療機関や入院協力病院のスタッフの皆様には、日頃のご努力に感謝申し上げます。早期にワクチン接種ができて、また治療薬もでき、一般生活が早く元のように戻ることを期待いたします。

精神科におきましても、全国的に、精神科医療施設で感染者やクラスターが出て、その専門性により対応に苦慮されたと聞きます。精神科だけでなく、透析患者、妊婦、小児、障害児などの専門的な医療が必要な人の場合は、感染症指定医療機関だけでは、新型コロナの治療が賄えないことが考えられ、各科の課題となっています。現在、各科とも県行政をはじめ関係機関と協議を進めて、検討していますが、難航している所です。

たとえば、精神科病院は、入院患者様の中には、認知症の方などをはじめ、スタッフの指示を理解できない方々がいるため、病棟内に1例発生すると集団感染になる確率が高いと考えます。そのため、在宅で暮らせる精神患者様が新型コロナに罹患した場合は、すぐに精神科病院に入院するのではなく、まずは精神医療センターなどでの入院治療をお願いしたいと考えています。もし患者数が増えて、精神医療センターで対応できない場合は、自院の通院患者様については、各病院が受けることも検討している所です。

各科とも、県行政、感染症指定医療機関などとの連携のもと、何とか対応していきたいものです。

今年もまだコロナ禍のストレスはありそうですが、会員の皆様には、どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



放射線科医学会長
杜 若 陽 祐

新年、あけましておめでとうございます。

現在、新型コロナウイルス感染症により世界は今までと大きく違った状況に置かれています。この新年号が出るころには感染者数がもう少し落ち着いてほしいものですが、このような状況の中でもコロナ後を見据えた新しい働き方や生活様式を考えておくことは大切なことと思います。

昨年の放射線科の全国学会はほとんどWeb開催でした。実際にオンラインで学会に参加してみると、会場に足を運ぶリアル学会と比較して多くのメリットがあるように感じました。特に地方に住んでいる場合は、遠くの会場に移動しなくて済むこと、ライブ配信を除いていつでも、どこでも、何度でも講演を視聴できること、また、学会の期間も長く設定され、ゆっくり参加できることなどです。更に、いつもなら参加の難しい海外での学会も視聴可能で、最近も北米放射線学会（RSNA）に20年ぶりに参加できました。一方、機器展示などの発表では実際に現地で見たり触ったりすることも重要です。状況が好転すれば今後は現地参加もWeb参加も可能なハイブリッド開催に移行していくのではないかと考えています。

最近では新型コロナウイルスに対するワクチンが完成しそうな明るい話題もあります。従来の生活や職場環境に戻るまでにはまだまだ時間がかかりそうですが、放射線科医学会としても他の診療科の先生方と協力し、このコロナ禍を乗り越えて行きたいと考えています。本年も皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。



東洋医学会長
川 越 宏 文

新年あけましておめでとうございます。

先生方におかれましてはいつも東洋医学会に対してご支援賜り有り難うございます。昨年は全世界的に新型コロナ感染症の影響を大きく受けました。多くの先生方の診療にも多大なる損害が出ているのではないかと考えられます。東洋医学会も昨年は新型コロナ感染症の感染防止のために計画していたさまざまな学会、研究会などが全て中止となりました。なかでも我々にとって一番残念だったのは九州医学会の分科会として開催させていただき予定の日本東洋医学会九州支部学術総会もやむなく中止になったことです。この会の開催において、何度も相談させていただいた県医師会の先生方、スタッフの皆様に対してとても感謝しています。

さて、そのような状況をうけて日本東洋医学会も、インターネット上のオンライン空間での学会開催が少しずつ定着してきています。このように新型コロナは学会の開催自体も大きく様変わりさせただけでなく、遠隔診療解禁など、火事場泥棒的にさまざまな医師の専権事項が削られることがないように日本医師会にしっかり頑張ってもらいたいと思います。加えて、財務省の財政審などで経済学者が医療に効率性と経済性を求めるばかりに、ベッド回転率の悪い感染症病床の減少も今回の新型コロナ禍の誘因となったのではと拝察しています。今年こそはこの騒動が落ち着き皆様にキチンと漢方の情報提供ができることを願っています。



透析医会長
藤元 昭一

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は会員の先生方にはいろいろとお世話になり、厚く御礼申し上げます。

2020年は当会でも、コロナ問題が医療現場として最も身に迫る話題となりました。重篤な基礎疾患を有す透析患者は10月の感染症法改正後も入院の勧告・措置の対象者であり、また週3回の通院治療が集団として行われており(クラスター発生の懸念)、各医師は日々緊張感を持って臨んでいます。各施設が以前より感染対策には十分取り組んできていますが、COVID-19の全貌は不明のまま、透析患者がCOVID-19に感染した際の入院施設の確保はどうなるのが当初より心配の種であり、3月より宮崎県とも相談をさせていただいてきました。しかし、いまだ透析ができる十分なベット数は確保されていない状況です。今後も県医師会からの働きかけもどうぞよろしくお願いいたします。

コロナ下で毎年開催している宮崎県人工透析

研究会総会も延期となり、一部の研究会は昨年後半にはオンライン形式、あるいはオンサイトとの同時開催形式で行いましたが、まだオンライン形式は十分に浸透していないのかなと感じました。そのような中で、2020年11月末には第120回九州医師会医学会が河野雅行県医師会長の基に開催され、我々透析医会としては初めての分科会も開催させていただきました。ここでは、感染対策下にオンサイトのみとして、フアブリー病をテーマに、本疾患の概念・疫学(原疾患不明とされている透析患者の中にも同疾患が潜んでいる可能性)、尿検査による診断に関する講演を拝聴しました。当医会の先生方や臨床検査技士会の方々の参加も得て、無事に終了することができました。県医師会の先生方、スタッフの方々に御礼申し上げます。

本年も皆様の当医会へのご指導とご協力のほど、どうぞよろしく願い申し上げます。早々にコロナ問題が解決の方向へ向かうことを願いながら...

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます

理 事 長	河 野 雅 行
副 理 事 長	山 村 善 教
”	吉 田 建 世
専 務 理 事	小 牧 智 斎
理 事	石 川 智 信
”	瀬 ノ 口 洋 史
”	中 山 健
”	玉 置 昇
監 事	宮 田 純 一
”	桑 原 正 知

事務職員一同

宮崎県医師協同組合

年 頭 の ご 挨拶



宮 崎 県 知 事
河 野 俊 嗣

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

宮崎県医師会の皆様には、日頃から県政の推進につきまして温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染が世界規模で拡大し、本県においても県民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしております。県医師会の皆様をはじめとする医療従事者の皆様におかれましては、最前線で検査や診療等に献身的に従事いただくとともに、感染拡大防止や外来・入院医療提供体制の構築などにおいて多大なご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年、県の新たな防災拠点として、大規模災害時など県民の命と財産を守る司令塔の役割

を担う「防災庁舎」が完成しました。さらに、医療の拠点となる新県立宮崎病院の完成を予定しており、県民の安心につながる基盤整備や拠点づくりが着々と進んでおります。

県では、令和3年度の施策の展開に当たり、「コロナ危機の克服と新たな成長の基盤づくり」「将来を支える人財づくり」「地域経済をけん引する産業づくり」「魅力あふれる『選ばれる』地域づくり」という4つの柱に重点を置き、コロナ禍での様々な変化に的確に対応しながら、みやざきの成長につなげる取組を進めてまいります。一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

	監	”	”	”	”	”	理	”	常務理事	”	副理事長	理事長
宮崎県医師国民健康保険組合	山	棚	北	上	玉	高	石	川	佐	濱	大	秦
事務職員一同	路	田	村	山	置	木	川	野	々	田	坪	喜
	健	文	洋	子	昇	一	智	啓	木	政	睦	八
		敏	貴				信	一郎	究	雄	郎	郎

年 頭 の ご 挨拶



宮崎大学長
池ノ上 克

心新たに令和3年のお正月をお迎えのことと存じます。昨年は新型コロナ禍の年となってしまいましたが、会員の皆様にはさまざまな工夫をこらしてこの難局に立ち向かっておられることと存じます。過日の本学学生の修学支援基金に対して多大なご厚意をいただき心から御礼申し上げます。

さて、本学では令和2年2月10日に第1回目の危機管理委員会を開き、その後の感染対策を行ってきました。毎週月曜日に大学役員と関係者が集まり、方針の決定と周知を続けています。感染症学の立場から本学内科の岡山教授に毎回貴重なご意見をいただいています。附属病院のある清武キャンパスでは更に独自の対応をとっています。

3月5日には教育・学生担当の新地理事名で学生向けの注意喚起を発信しました。その要点は、人が集まる風通しが悪い場所を避けること、十分な換気に努めること、こまめな手指衛生を

徹底すること、体調に不安がある場合には安全衛生保健センターに相談することの4点でした。

木花キャンパスでは武田教授以下3名の医師が対応にあたっています。急ごしらえの水道蛇口をキャンパス内に53個増設して手洗いの機会を増やしました。学生の登校可否や留学生対応の基準を設け、4月には県境を越える移動の自粛要請をしました。

キャンパス内立ち入りも原則禁止とし、授業は遠隔で行うことにしました。会議もメールや遠隔を原則としました。休暇明けの授業では、県外移動者に自宅での観察期間を設けるなど、学外からのウイルス持ち込みの防止に努めています。

手洗いの励行、マスクの着用、3密の回避という、過去に疫病に見舞われた際にとられた、基本的な行動を守るよう、学内意識を高めながら、平常のキャンパスに戻ることを願って新年を迎えています。

謹んで年頭の

ご挨拶を申し上げます

理事長 獅子目 賢一郎

理事長代理 飯田 正幸

理事 相澤 潔

監事 中村 啓子

” 竹内 茂

常務理事 杉田 恵美子

事務職員一同

宮崎県病院企業年金基金



衆議院議員（1区）
武 井 俊 輔

新年、明けましておめでとうございます。宮崎県医師会

の皆様方には、平素よりあたたかいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。わけても、昨年来のコロナ禍におきましては、県民の命と健康を守る信念のもと、献身的な医療活動を展開され、感染拡大防止に向け着実に責務を遂行されてこられました。あらためて、皆様のご努力に敬意を表し、心から感謝申し上げます。

人生100年時代の到来には、我が国の優れた医療・治療システムの充実が裏打ちされています。同時に、地方における医療体制の強化が喫緊の課題となっています。

そうした中、日本医師会などで構成する医師臨床研修マッチング調査で、本県の医療機関で臨床研修医として就労する医学生が、いまの研修制度が始まって以降最多になったと伺いました。地域医療への貢献を志す若い医師の将来が期待されます。

宮崎大学でも、県内での勤務を前提とした医学部の地域枠の人数を拡充されました。行政、医師会、大学の一体的な医師確保への取組みは画期的です。昨年8月には、宮崎市・生目の柱に防災と医療支援の拠点化が実現しました。

関係機関の連携は、地域の安全・安心の意識を高め、豊かな生活環境の形成にもつながります。地域医療の充実・発展に向け、ますますのご尽力を期待申し上げます。

国政の場におきまして、私も、医療機関の経営の安定化、かかりつけ医の普及・推進、医療現場における長時間労働の軽減など、諸課題への取組みに一段の努力を重ねてまいります。

結びに、貴医師会のご発展と会員の皆様のご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。



衆議院議員（2区）
江 藤 拓

謹んで新春のお慶びを申し上げます。宮崎県医師会

の先生方におかれましては、平素より温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ご承知のとおり、昨年来、新型コロナウイルスが世界で猛威を振っています。新型コロナウイルスにより、県民の皆様のご生活は一変し、先生方をはじめとする医療従事者の皆様方を取り巻く環境も大きく変化いたしました。先生方におかれましては、医療現場の安全を確保しながら、必要な医療を提供いただいております。深く敬意を表するものであります。国や県では、検査体制や医療提供体制の確保を図りつつ、ワクチン確保に向けた取組みを進めているところでありますが、県民が一日も早く元の生活を取り戻すことができるよう、一層のご指導を賜りたく存じます。

新型コロナウイルスについては、感染拡大の長期化や更なる流行の波も懸念されますが、そうした厳しい状況の下においても、地域の医療提供体制を守っていかなくてはなりません。そのためには、新型コロナウイルスとの闘いの最前線にある医療機関や医療従事者に十分な「体力」が必要となります。これまでも新型コロナウイルス患者を受け入れる医療機関への支援や、医療従事者の皆様方への慰労金支給などの取組みが進められてきたところでありますが、今後とも医療機関の経営を安定させるとともに、先生方が安心して十二分にお力を発揮いただける環境の設備に私も尽力してまいります。

結びに、宮崎県医師会の今後益々のご発展と先生方とご家族の皆様のご健勝を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



衆議院議員（3区）

古川 禎久

新年明けましておめでと
うございます。宮崎県医師

会の先生方におかれましては、ご壮健で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年来、世界各国で新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いております。いまだ終息が見えない状況にあり、我が国の医療や経済、国民生活に甚大な影響を及ぼしています。先生方はじめ医療関係の皆様方におかれましては、昼夜を問わず医療現場で献身的にご尽力されておりますことに対し、衷心より敬意と謝意を表します。

国におきましても、総力を挙げて感染防止対策の徹底、検査体制の拡充、医療提供体制の確保、予防接種の実施に向けた体制整備などを進めているところですが、一日でも早く元の日常が戻ってくるよう、先生方には引き続きお力添えくださいますよう心よりお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、医療機関の経営にも多大な負担をお掛けしております。新型コロナとの戦いは長期にわたることも懸念されておりますが、追加の経済対策を含む第3次補正予算や令和3年度本予算の審議も本格化してまいります。先生方が地域で必要とされる十分な医療サービスを提供し続けられますよう、医療機関に対する強力な支援策を講じていくことが最も重要であると認識しております。加えて、医師の働き方改革や次期診療報酬改定に向けた取組みも着実に進めていく必要があります。今後とも、先生方のご指導を賜りながら、宮崎県の医療環境の充実のため、国政の場で全力で取り組んでまいります。

終わりに、宮崎県医師会の今後ますますのご発展と先生方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。



参議院議員

松下 新平

謹んで新年のご挨拶を申
上げます。

河野会長をはじめ宮崎県医師会の先生方におかれましては、日頃から、県民の健康を支え、福祉の向上にご尽力いただいておりますことに、深く敬意を表し、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、医療現場や地域医療は多大なる影響を受けました。新型コロナウイルス感染症に関して、献身的に治療に取り組まれている医療従事者の方々および関係者各位に深い謝意と敬意を表します。国においても必要な予算を確保したうえで、医療機関などへの支援策を打ち出しているところですが、今後もしっかりと検討し、対応していく所存ですので、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、2021年を迎え、団塊の世代の皆様が75歳以上となる2025年が目前に迫ってまいりました。今後、医療ニーズが急激に増加していくことが見込まれますが、まずは、地域の皆様が安心できる効率的な医療提供体制を構築していくことが急務です。

そのためには、まさに宮崎県医師会も力を入れておられる、かかりつけ医の普及や推進が鍵となります。すでに、在宅医療も含めた日常的な診療から、専門的な医療機関へのつなぎ、介護サービスとの連携に至るまで、欠かせない存在ではありますが、更にこれからの人生100年時代を見据えれば、住民一人ひとりの健康に関する身近な相談役といった役割も大きくなると考えています。こうした活躍をしっかりと後押しできるよう、国や都道府県が連携した形で、対応を進めていきます。

加えて、医師の働き方改革も行っているところでございます。一人ひとりの医師が家庭と両立し、健康に働けることができるようにしつつ、医師に求められる高い水準の技術の習得や地域医療への影響にも配慮した形で検討を進め、「医師の働き方改革を通じて医療をよくしていく」という大きなビジョンでまとめていく必要があると考えております。

本年も、国民の皆様が安心して医療を受けられる体制を整えるべく、引き続き努力してまいります。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

結びに、宮崎県医師会の今後のさらなる発展と、会員の皆様のご健勝を祈念して、新年の挨拶といたします。



参議院議員
長 峯 誠

あけましておめでとうございます。宮崎県医師会の先生方、ご家族の皆様におかれましては、輝かしい令和3年のお正月をつつがなくお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の発生により、世界中が甚大な影響を受けた一年となりました。我が国では、医師会の先生方をはじめとした医療関係者の皆様方の献身的なご尽力によりまして、欧米諸外国に比べて比較的低い感染率、死亡率を維持しております。

本年も引き続き警戒が必要な状況ですが、国政においても雇用の維持、中小企業の経営支援、農林水産業の支援、観光産業の復活などに向けて全力で取り組んでまいります。

昨年10月には、参議院外交防衛委員長に就任させていただきました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物であり、衷心より深く感謝申し上げます。

世界がコロナ禍の中にある今、日本の外交防衛は多くの課題に直面しております。外交分野ではコロナ禍と米中対立の中で、我が国の意思とスタンスを示さなければなりません。インバウンド復活に向けた慎重な対応も求められます。

防衛分野では、尖閣諸島周辺海域への中国公船による侵入が、大きな懸念事項となっております。また、在日米軍駐留経費負担については、特別協定の期限を令和3年3月に控え、日本の安全保障にとって非常に重要な課題です。

これらの諸課題に真剣に取り組む、外交防衛委員長としての職責をしっかりと果たすとともに、国家・国民のため、ふるさとのために誠心誠意努力してまいります。

結びに、宮崎県医師会のますますのご発展と、今年一年のご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。



参議院議員・元日本医師会副会長
羽生田 俊

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より私の政治活動にご理解ご協力を賜っておりますことに御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症への対応が刻々と変化し、また年末には全国で感染拡大し、医療崩壊が懸念される事態に至りました。終息の见えない感染症に対応しながら通常医療への影響も最小限に留めることで、地域医療をお支えいただいております皆様にご心より敬意を表します。医療機関経営においては、受診控えや健診先送りなどにより厳しさを増す状況にあることを国会にて再三申し上げており、なんとか支援の道筋をつけるべく奮闘しております。

地域の医療機関を失えば国民・住民に大きな不安と混乱をきたし、医療提供体制の崩壊を招きかねません。このコロナ禍にあって財政論者は患者負担を増やす議論を続けており、高齢者負担をはじめ、外来受診時定額負担などの議論があることも事実です。「コロナで一軒の医療機関も失ってはならない」と強く声をあげ医療機関支援に全力を注いでまいります。

また、「医師の働き方改革」も昨年末に政府の検討会が中間とりまとめを行い、これから議論が加速してまいります。私は自民党社会保障制度調査会「医師の働き方に関するプロジェクトチーム」座長として、「地域医療を守る」「医師の健康を守る」ことを両立する使命を果たしてまいります。コロナ禍で十分な議論ができない中にあり、改革スケジュールの見直しも含め地域医療に影響が出ないよう第一線におられる皆様方のお声をいただければ幸いに存じます。

結びになりますが、河野会長はじめ宮崎県医師会役員・会員の皆様にご、執筆の機会をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、2021年が皆様にとって良き年になるよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



参議院議員

自 見 はなこ

新年明けましておめでとうございます。河野雅行会長をはじめ、宮崎県医師会の先生方におかれましては、旧年中も格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

11月には、コロナ下において感染対策に万全の注意を払ったうえで九州医師会医学会を開催していただき、出席させていただきましたこと、本当に有り難うございます。いまだ終わりが見えない新型コロナウイルス感染症との戦いにおいて、最前線の医療現場を担う先生方に深く敬意を表します。

私自身、昨年は、中国武漢からの帰国者対応、クルーズ船「ダイヤモンドプリンセス号」対応、緊急事態宣言の発令、全国各地でのクラスター対応などまさに激動の1年でした。先生方に多大なお力添えを賜り、厚生労働大臣政務官としての任期を全うできましたこと、感謝の念に堪えません。更には、昨年9月15日に、第二十六回参議院比例代表選挙における日本医師連盟組織内候補に推薦いただくことが決定いたしました。推薦決定にあたっては、宮崎県医師会・医師連盟の先生方から格別のお力添えをいただきましたこと、本当に有り難うございます。国会における医師の代表として、コロナ下で逼迫する医療機関の支援も含むあらゆる面での医療提供体制充実に向け、全身全霊を捧げる決意です。

また、昨年から延期された東京オリンピック

・パラリンピックが本年夏に予定されています。厚労省、外務省、法務省、自治体、国際機関などの緊密な連携の元で、感染拡大防止を万全にしつつ、保健所や医療機関に負担がかからない体制を整備したうえで、海外との往来を再開し、その後の経済再生、観光拡大につなげる大きなチャンスでもあります。昨年11月25日、参議院予算委員会において質問に立ち、菅義偉総理大臣に東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた決意を伺い、「人類がウイルスに打ち勝った証」として必ず大会を成功させると力強いご答弁をいただきました。党の立場からも、自民党政務調査会「訪日外国人観光客コロナ対策PT」事務局長として、昨年12月に水際対策や入国後の健康チェック、民間医療保険加入義務化などの医療費対策を含む政府への提言を取りまとめました。

加えて、厚生労働大臣政務官としても超党派議員連盟事務局長としても策定に向けて取り組んできた循環器病対策推進基本方針が昨年10月に閣議決定され、成育医療等基本方針も本年1月に閣議決定される見込みです。具体的な政策にしっかりと反映されるよう、引き続きフォローしてまいります。

本年が先生方にとって幸多き一年となることを心より祈念申し上げるとともに、一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新春随想

その1

新春随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

新人採用

宮崎市 たにぐちレディースクリニック 谷 口 二 郎

今度新しい従業員を採用した。名前はシロー君。働けと命令すれば24時間いつでも働く。しかも文句一つ言わずにモクモクと働く。きついから給料上げてくださいとも言わない。今日は体調が悪いから休ませてくださいとも言わない。お腹が空いたから何か食べるものをくださいとも言わない。部屋で暗くして文句も言わず働く。しかも月給はたったの2,500円。半日分ではない。1か月の給料なのだ。その正体はロボット掃除機である。

ロボット掃除機というと丸形を想像するがこれはおにぎり型の三角形。身長は10cmである。レンタル料は月々2,500円、電源さえあれば一人で掃除をして一人で充電器に戻り、実に頼もしい助っ人なのだ。

先日量販店に行くと、国内外15社、50種類のロボット掃除機が店頭置いてある。一番の売れ筋は米アイロボット社のルンバシリーズ。ロボット掃除機の代名詞とも言われているものだ。高いものは15万円もする。安いものでも5万円。普通の掃除機に比べ割高である。

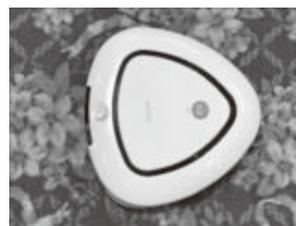
本当にこんなロボット掃除機でゴミがきちんと取れるのだろうか。いい加減に清掃し、ゴミがたくさん残っているのではないのだろうか？ そういう疑問ばかり湧き上がる。するとダスキ

ンがお試しでロボット掃除機を貸してくれるというので借りてみた。早速使ってみると動きはアットランダムで予想できない動きをする。どういうシステムになっているのか分からないが、AIが効率的に動けるようにプログラミングされているのだろう。その姿を見ていると何か愛おしい気持ちになる。

ユーザーの中には、まるでペットみたいに思えてニックネームまでつけている人がいるというが、その気持ちは何となく分かる。近付いてくるとついヨシヨシ頭を撫でたくなる気持ちになるのである。

ロボット掃除機が日本に登場したのは約20年前、中々その仕事ぶりを疑問に思っている人が多いのか、まだ日本でも普及率は6%しかないそうだ。「効率よく清掃」「ぶつからない、絡まない」というキャッチフレーズで頑張っているロボット掃除機。

そのうちにどんどん普及していくに違いない。だって家事の中でも苦手な掃除を勝手にしてくれるのだから…。頑張れシロー君。応援しているぞ。



還暦の年明けに思う

都城市 都城医療センター よし ずみ ひで ゆき
吉 住 秀 之

昨年4月に当院の院長を拝命し、コロナウイルス対応とともに院長業務が始まり、感染対策に明け暮れる日々が続き、息が詰まるような長いトンネルを抜けると還暦を迎える年であった。

干支が一巡りしてまた繰り返されるわけだが、振り返ってみれば感染症も最近は10年前後のサイクルで人類に牙を剥いている。SARSが発生してWHOからグローバルアラートが発出されたのは今から18年前の2003年（干支では癸未）3月で、H1N1型インフルエンザがメキシコから発生し、WHOがパンデミック宣言を出したのが、ちょうど一回り前の12年前2009年のことであった。

2003年当時インターネットの普及率は6割を超えたが、スマホはまだ登場してはいなかった。2008年にiPhoneが日本で発売となり、翌年からはFacebookとTwitterが日本語版でのサービスを開始した。そう、SNSも日本ではちょうど十二支を一巡したのだ。グローバル化で拡大しやすくなったローカルな感染症とともに、世界はそれ以上に情報が一瞬にして拡散するようになった。（言葉の壁を越えれば）いつでも誰とでもつながることができる世界に当時大きな期待が寄せられていたが、その後の変貌ぶりを見てのとおり。世界はむしろ分断と分裂の危険な綱渡りを始め、パンデミック下での世界協調が危ぶまれることとなっている。人と人は危機のときにこそ連帯を強めるというのは、栗金団のように甘い楽観主義なのだろうかと不安になる。と、そこに「風が一番高く上がるのは、風に向かっていているときだ。風に流されていると

きではない」というチャーチルの言葉が、子どもたちの凧揚げの風景を眺める私にどこからともなく響いていく。そう、風に向かってより高みをめざすことで今年はきっとよくなる。なぜなら去年が最悪だったからと思いなおす。

「過去をより遠くまで振り返ることができれば、未来もそれだけ遠くまで見渡せるだろう」という彼の洞察にしたがって、この還暦を機会にまずはより遠くまで振り返ってみることにしよう。



ビアホール

宮崎市 こ ざわ ひと お
こざわ内科 小 澤 仁 雄

新しい年に期待すること、それは、通年利用できる本格的なビールを中心としたレストランができて欲しい、ということです。以前はエアラインホテルに確かアサヒビールだったと思いますが、ビアホールを運営しており、冬でも楽しめましたが、現在は夏のみとなってしまう寂しい限りです。

ビアホールと言えば、サッポロビールが運営するギンザシックス並びのビヤホールライオン銀座七丁目店がまず頭に浮かびます。1階は歴史のあるホールで気持ちがワクワクするような

空間です。更に、兎に角うまいの一言に尽きる生ビールが供されるとあっては、毎日でも通いたいところですが、現実には内科学会総会のついでに行くのが関の山です。しかし博多駅にも銀座ライオンが出店したため、時々うまい生ビールを飲みに行けるようになり幸せが一つ増えました。近くにエビスバーもできたので、ハシゴして楽しむこともできます。また個人的には大阪阿倍野にあるビアホール「アサヒビアテラスアベノ」も好きです。毎年1-2回ですが、近くに行った際はつい立ち寄ってしまいます。50年前ごろ何度か行ったことがあり、10年ほど前久々に尋ねてみたら、昔のまま残っており、目立たない場所にあるにも関わらず、よくぞ生き残ったなあと感慨深いものがありました。元々席と席が無駄に広がったのが幸いしてか、先日寄ったらお客さんが昔の何倍にもなっていました。コロナ問題でも三密にならない広さがかえって人気になったようです。料理も昔からの物が多く懐かしいというか、ビールとの相性がいい物ばかりです。こちらはアサヒビール系列の鮮度のいいうまいビールが味わえます。いろいろ思い出していると美味しいビールが飲みたくなってきました。今年もよい一年になることを祈って。

故郷の海

川南町 川南病院 た 村 正 三

丑年の年男ということで寄稿させていただきます。鳥根県の西部は石見の国といい、西から

益田、浜田、江津と海岸に沿って鄙びた市が並んでいる。私は浜田市の生まれで、子どものころは夏になるとよく隣町しもこうの下府にある豊が浦に海水浴に行ったものである。今の寂れ方からすると、にわかには信じがたいけれど、下府にはその昔政庁が置かれており、そこには晩年の柿本人麻呂が、多分左遷されて、赴任していたという。どこにも妻がいる人麻呂らしく、隣町よさみのおとめの江津市都野津に住む依羅娘子を妻としていたらしい。石見に関する和歌としては、妻との別れを惜しむ長歌が情緒深い。

「石見の海、つね角の浦みを浦なしと人こそ見らめ、つね渦なしと人こそ見らめ、よしえやし…玉藻なす寄り寝し妹を露霜の置きてし来れば…夏草の思いしなえて偲ふらむ 妹が門見む靡けこの山」。反歌「笹の葉はみ山もさやにさやげども我は妹思ふ別れきぬれば」、「石見のや高角山の木の間より我が振る袖を妹見つらむか」。たいへん情熱的な、愛する者との別れの歌であるが、この妻とは「さ寝し夜は 幾何もあらず」と別の長歌で記されていて別れの表現としてはちょっとオーバーではないかという気もする。また、妻と別れてどこに行ったのか。従来からの、都に向かったという説と梅原猛の益田市のたかつ高津に護送され刑死したという説がある。高角山とは高津の山のことであると言う。更に、益田市では古来、人麻呂は高津で没したとされており、かの地の人麻呂神社に祭られているという。妻との別れと人生の終わりがともに来たとする、先の長歌の強い惜別感がうなずけるかもしれない。

今になって思うと、何とも文学的に豪華な海で、何も考えずに海水浴やサザエ取りをやっていたものである。自分にとっては光り輝く子どものころの思い出である。

思い出の「ぎふ清流ハーフマラソン」

宮崎市 せんなり小児科 せん なり えい いち
先 成 英 一

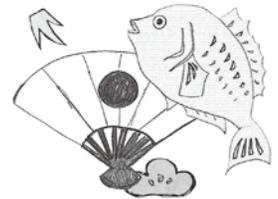
本大会は、2000年シドニーオリンピックの金メダリストである高橋尚子さんが大会長を務める素晴らしいマラソン大会です。岐阜メモリアルセンター内にある長良川陸上競技場を発着点とする長良川沿いのコースである。岐阜の朝は寒い。10℃以下である。競技場をスタートしJR岐阜駅を折り返し柳ヶ瀬商店街を通過すると、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」にも登場する金華山・岐阜城を背景に風光明媚な長良川沿いをひた走りに走ります。途中には、江戸時代に川湊として栄えた格子戸の古民家や歴史ある老舗が立ち並ぶ街中を通過します。

この大会はQちゃんの大会でもあり、シドニーの30km過ぎでサングラスを投げスパートをかけた瞬間、シモンとのデッドヒート、小出監督との涙の再会シーンなどが走馬灯のように駆け巡る。ひたすらに走ることに2時間あまり、ゴールまであと1kmまでの地点だ。余力が残っているかどうかは参加した大会で違うものだが、運が良かったのか残っていた。最後の1kmを全力疾走！十数人は抜いたかな？いよいよゴールの長良川陸上競技場が見えてきた。マラソングートに突入すると、トッ、トッ、トッと足音がトンネルの壁にこだまする。一瞬の静寂。至福の瞬間だ！このマラソングートの体感が何ともいえない。そして、トラック内に入ると、サブライズが待っているのである。オリンピック歴代の金メダリストである高橋尚子さんと野口みずきさんがハイタッチで選手を迎えてくれるのである。感激！

大会の終了時には、小出義雄監督が逝去され

た直後であり、「監督は賑やかなのが大好きなんです。青空へ向かって声をかけましょう。小出監督～これからも私たちを見守ってくださいね～」高橋尚子さんと競技場の皆がご冥福をお祈りしました。2019.4.28 平成のラストランとなりました。

今年は丑年の72歳。健康のためのジョギング散歩は継続したいと思います。



最後の仕事

宮崎市 潤和会記念病院 かわ の ひろ かず
河 野 寛 一

今年72歳だと言われてもピンと来ないが、検診を受けると着実に視力や聴力は低下して、もの忘れもだんだん酷くなってきている。しかし50、60歳になったときは、最初の数年間は「死」の恐怖心を覚えたが、70歳ではさほどでない。自分にできないことが徐々に増え、自然に自分の終末を受け入れられるのだろう。

60歳になったとき、当財団の大野代表理事から「脳神経外科医としてのメスを置いて、リハビリテーション（以下リハ）医学をやれ」と勧められた。救急医療や緊張の高い脳外科手術に専念していたので、突然の転身には寂しさを覚えたが、今となっては感謝している。

脳神経外科や神経病理の経験を元に、「ニューロ・リハ」をやると決めた。神経内科の鶴田院長が脳磁計（MEG）や高機能MRIなどを揃えて、筆者もその一部を使って、脳内の活動を検索し、中枢神経系疾患の機能障害の画像診断に取り組んだ。神経生理学は全くの門外漢で、当初自分が何をやっているのか分からなかったが、石の上にも3年で「門前の小僧」の知識も少しずつ増えて、ぼんやりと自分の立っている位置が分かるようになった。事情があって5年目にリハ認定医、68歳にしてリハ専門医の試験を受けた。これはリハ医学の基本から勉強する機会になって、「ニューロ・リハ」が実感として見えてきた。

当院は脳卒中や脳脊髄損傷の患者さんが数多く入院してくる。一人ひとりを丁寧に診て、患者個別のリハプログラムをリハ療法士と一緒に作り実践していく、その理論的根拠に脳磁図やfMRI（機能的MRI）などの神経画像診断を用いている。勿論、今のMRI・MEG診断のレベルは脳の複雑さの極く一部を垣間見ているに過ぎないが、それでもヒトの生きた脳活動を推し量れることは、筆者の中にある興味心を最大限かき混ぜて刺激する。

大学卒業以来余裕のない猪突猛進の生活をしてきた。しかし今年晩年となって、ワクワクする医師生活を与えてもらった。神様がシャットダウンのボタンを押すまで、歩き続けたいと思っている。

2020年新型コロナウイルス対策奮闘記

延岡市 桜小路クリニック あん どう まこと
安 藤 誠

平成30年（2018年）3月に、延岡市桜小路に内科クリニックを開院いたしました。ようやく、開業し落ち着き、ゆっくり診療を行うようにできそうだと考えた矢先に、令和2年（2020年）3月より、新型コロナウイルス感染が大変なことになってきました。

皆さんの病院、医院でも大変な状況ではないでしょうか？

患者さんの受診抑制に対する対策、感染防止対策の策定、空間的・時間的な分離に対する配慮などで、診療方法などを見直して行く必要性が出てまいりました。当クリニックでは、院内へ入る際の検温、車中での診察、仮設テント内での診察、アルコール消毒の徹底などを行い、病院内での感染が起こらないよう対策を行いました。利子が免除となるとのことで、念のため感染した場合の休業を想定し銀行からの借入も行いました。

そうするうちに、ウイルス感染症の時期である感染症流行時期の冬到来であります。しかし、令和2年11月現在（寄稿時には）、延岡はウイルス流行時期にもかかわらず、新型コロナ予防対策のお陰か、延岡が陸の孤島であるお陰かインフルエンザ・新型コロナウイルスは流行してこないという状況であります。他県では新型コロナウイルスは徐々に流行してきているようですが。コロナウイルスの方が感染力が強い（ウイルス排出期間が長い）のかもしれませんが。

掲載時にはどうなっているかわかりませんが、今後も新型コロナウイルスに負けないよう診療を行いたいと思っております。

80才以上は運転免許返納を！

宮崎市 野崎東病院 ^た田 ^{じま}島 ^{なお}直 ^や也

私は令和元年5月31日外来診療中、突然左下肢麻痺、立位不能となったが、W/Cを使用し診察は行った。運動麻痺は間もなく回復したがMRIでTIAの診断を受けた。ちょうど1か月前元通産省工業技術院長（87才）が交通事故を起こし、母子二人が死亡した事故があった。そのこともあり子どもたちから強く免許返納をすすめられ、同年9月81才で免許を返納した。

その後、病院に行くときは6時40分に家を出て、宮崎駅までバスで、宮崎駅から病院までタクシーを使用させてもらっている。免許返納のメリットとしてはまず、運転に気を使わなくてすむことであるが、デメリットとしては、物の持ち運びが制限される他、いろいろ時間的制限がある。

さて、元院長の初公判が令和2年10月8日行われたが、元院長はアクセルを踏み続けたことはなく車に何らかの異常が生じたとして無罪を主張している。しかし後続車は当該車のブレーキランプはついてなかったと述べ、関係機関の車の検査からブレーキを踏んだ痕はなく、一方アクセルを踏んだ痕は残っていたと報告している。客観的にみて、やはり本人の思い違いか何らかの頭部、精神障害があったとみるのが妥当と思われる。本人の無罪の主張をきくと何か憤り、やるせなさを感じる。

令和2年6月には82才、87才の2人がブレーキとアクセルの間違いで事故を起こしている。認知症の疑いがあると報じられている。

交通安全白書によると75才以上の運転免許保有者は2019年で583万人で、10年間で約1.8倍に

なり、警察庁のまとめでは75才以上が19年に起こした死亡事故は401件で免許を持つ人10万人あたりでは75才未満の2倍以上と発表されている。我国も高齢化社会になり、車は生活の必需品とも考えられ、運転免許返納は生活そのものに大きな影響を与えることは当然と考えられる。しかし、ここは大局的に判断する必要があるのではないだろうか。また、80才未満でも脳血管障害で抗凝固剤の投与をうけている人も多くみかける。しかしこのような人が事故を起こすと打撲だけでも大出血を起こし、大変なことになる。実際、私どもの病院でもここ1年間に打撲による大出血で4人が入院されていた。抗凝固剤をうけている人も運転免許返納をおすすめする。

高齢化社会を迎え、やはり高齢者自身の自覚が大切であるとする。

キュビズム ピカソが描いた世界

小林市 医療法人三和会 池田病院 ^{すず}鈴木 ^き宣 ^{のぶ}彰 ^{あき}

ある朝目覚めると、ものが二重三重に見えて焦点が定まらない。そのまま、人通り・車通りの少ない中の犬散歩を終えたところには、本物と信じて行動すれば何とかかなりそうな線・形を選ぶことができるようになってきた。

それでも、車での通勤はかなり怪しい。対向車が車線内を走って来るようにも反対側に飛び出して行きそうにも見えるところまでは良いが、

こちらに向かって飛び出して来るようにも見える。ハンドルを左に切ろうにも、そちらからは電信柱や道路標識なんかが隙あらばと、こちらに向かって飛び出して来ようと狙っている。対向車がセンターラインを超えて来ることはない信じ、アダプティブクルーズコントロールで先行車との車間を保ち、追い越しは控えて同一車線内を走り続けることに専念した。

長く感じた一日が終わり、ベッドに入って目を閉じると二重三重の世界から解放されたが、翌朝目覚めると前の日と何も変わらない。

近視と老眼と斜視が入り乱れて、收拾のつかない視覚情報を脳に送り、それを処理しきれなくなった脳が混乱して幾重にも重なった映像を見せてくれるのだらうと考えたが、解決のすべはない。

そんな日々を1週間ほど過ごしたある朝、犬散歩していて、はたと気づいた。

ピカソだ！

キュビズムの世界に入り込んでしまった！と喜び、日常生活にはなはだ不都合な世界を楽しむことにした。

いざ覚悟を決めると、その世界は次第に薄れ始め、遠のいていった。そして、もう見えなくなってしまったとちょっと寂しく思っていたある日、仕事帰りに入った床屋で視界に入った大きな鏡を一瞬鮮明なキュビズムの絵画に変えたのを最後に完全に消え去ってしまった。

ピカソが描いたのは才能の賜物として、私に見えたのは病気の症状？疲労の蓄積？老化現象？

1日中続くのは困るけど、たまにはあの世界が戻ってこないかと思う。Covid-19による外出自粛にはもってこいなのに。

旧を訪えば

西都市 西都児玉眼科 こだま よしひさ
児 玉 芳 久

故郷、高原小学校のお別れ遠足のお決まりの場所でした。男の先生たちは車座になり、“飲ん方”が始まります（だって、入学式、正月の登校日、卒業式の日職員室の前の廊下は、朝から“ストーブの暖気とともに”焼酎の匂いがプーンと漂っているんですから）。“きかんたろ（暴れん坊）”は、呼びつけられて、赤鬼・青鬼たちから密接に説教されていました。

アコーディオン演奏される先生のメロディが春の野原に流れました。牧場も狭くなり、みんな、皆、霞の彼方へ、行って、逝って、しまわれました。



県畜産試験場

愛犬のいない還暦を迎えて

宮崎市 村岡泌尿器科内科 ^{むら} ^{おか} ^{けい} ^{すけ}
村 岡 敬 介

9月22日、我が家の愛犬レオが天国に旅立ちました。生後3か月で家族の一員になってから15年1か月でした。たまたま立ち寄ったペットショップで、娘が一目惚れしそのまま連れて帰ってきた、大きな目が可愛いチワワ犬でした。散歩の途中で脱走し、夫婦で汗だくになって追っかけたり、大型犬に果敢に向かって行ったりと、とても元気なはずらっ子でした。しかし、ここ1年は白内障も進み、動きが鈍くなっており、寝ている時間が増えてきていました。そのため、定期的に近くの動物病院に通院していたのですが、19日に受診した際、先生から入院が必要と言われたようで、家内も元気になって帰ってくるものと信じ、お願いして帰ってきたようです。翌日から3連休のため、先生に無理を言って一度面会に行った際は元気でしたが、22日朝7時に電話があり、すぐさま駆け付け目にしたものは、挿管をされた愛犬の姿でした。最後は自宅で見送りたいと先生にお願いして連れて帰り、いつもよく遊んでいた我が家の庭先で、家内の腕に抱かれたまま息を引き取りました。

12年前にも、“年男”とのことで原稿依頼があり、その際は愛犬を溺愛する家内のペットロスに心配している旨を投稿しておりました。やはり、予想していたとおり家内のショックは大変なもので、今でも愛犬の白い毛を一本見つけるだけで涙を流しています。しかし、まさか私までもがペットロスになるとは、その当時考えてもいませんでした。毎朝、見送りに来る家内の腕の中に、もう愛犬の姿はありません。夫婦でよく見ていた動物番組も、チャンネルを変える

ようになりました。そんな私たちを心配してか、東京に住む息子が、“そのうち落ち着いたら、新しい家族を迎え入れることを考えてみては”と言ってくれますが、15kg減量したとはいえ還暦を迎える歳になり、その子の一生を最後まで面倒見られるのか？自信はまだありません。もう少し肉体改造に励もうと思っています。

哺乳類の新聴覚機構の正夢 「外有毛細胞共振説」

宮崎市 ^{もり} ^{みつ} ^{たもつ}
森 満 保

今年で卒寿ですが、11月12日開催の日本耳科学会で、2017年に公表した表記の新説を再報告してきました。現在の聴覚機構は、1936年にノーベル賞を得たベケシーの基底膜進行波説ですが、その説では、電話の一声で、誰からか聞き分けられる、人の耳の仕組みを全く説明できないのです。この大間違いが80年も運用しているのは、世界中数万人の聴覚研究者が、ノーベル賞の名に屈服し惑わされて、正当な代案を提唱できないためです。もちろん、仕組み不明でも、耳は完璧に動いてくれているので心配はないのですが、万物の霊長である人としては、沽券に関わる大問題なのです。

私は、教授や学長時代は医師養成に没頭し、2001年に退官したとき、平民には過ぎる瑞宝重光章を宮中で賜ったうへは、研究者として、ベケシー説を断固拒絶できる新説を発見したいと機を狙っていました。

2015年、著名なDallosが、耳の最高機能は、

外有毛細胞体の音刺激での共振性短縮か、感覚毛のイオン交換能かであるが、どちらか分からないと総説の中で嘆いていました。そこを讀んだとき、共振性短縮で、蓋膜に付着している感覚毛が下面を引き下げるイメージが閃いたので。そのイメージが、日米大戦時の勤労奉仕で、芋畑の雑草を引き抜くとき、根土が盛上るイメージと重なりました。中学2年、14才でしたが、両腕が感覚毛で、根土が蓋膜下面の畝状の引き下がりです。その蓋膜畝が内有毛細胞感覚毛と接触するという、実にセレンディピタスな発想で、外有毛細胞共振説の誕生です。また「外耳・内耳は伝音系、内耳は観音系」との金科玉条の定義の滅亡です。2万個の外有毛細胞と最高可聴音2万Hzの一致、絶対音感者と1Hz、平均周波数弁別能3Hzと1列3個に並ぶ外有毛細胞など、まさに外有毛細胞は内耳中の伝音系細胞だったのです。今、唯一の望みは、この新説が世界中に広まり、この宮崎でノーベル賞を貰える日までの健康です。



耳順になって思うこと

宮崎市 四季クリニック 石坂 裕司郎

いまだに戸惑い、天命を知るよしもなく、ただ日々を生きているのに、耳順になったとは到底思えないのであるが、最近のDNA解析によると生物としての人間は本来、38歳程度が寿命

であるらしい。

昭和の終わりのころ、80歳で外来通院される方は少なかったように記憶しているが、令和になると90歳の方が杖なしで来院されている。2020年1番多い年齢は72歳だが、2060年には86歳になるそうである。2回生まれ変わった年数以上に生きる時代が来ることをさすがの孔子も予想できなかつたのではなからうか。

ここまで寿命が延びた要因は3大疾病治療の進歩による高齢者死亡率の低下が要因と考えられている。これまでは長生きすることはいいことであると考えて医師は生活習慣病などに対し薬物療法、行動変容を通して介入してきた。しかし、これからの高齢化社会ではあえて介入しないことも選択されるべきではないかと考えている。認知症や老衰の終末としての胃瘻造設や経静脈的栄養はどうなのか。不必要な医療が行われると、ギリシャ神話のティートーノスのように不死の世界で蟬になるまで生き続けなければならなくなるのでは、と漠然とした不安がある。村上春樹が「小説家とは不必要なことをあえて仕事する人種である」と述べていたが、現代においては小説家を医師に置き換えても同じことがいえるのではないだろうか。

ところで35年前の医師国家試験の勉強中、「β遮断薬は心不全に有効である」の設問は地雷問題（禁忌肢問題）と教わった記憶がある。それが、現在は第一選択薬の地位にある。パースの可謬主義によれば、人間の知識には誤りがあり将来修正されるものであるらしい。

長寿の価値観も修正されて皆が納得できるようなものになればと慮る。ギリシャ神話にヒュプノスという眠りの神がいる。人の死もヒュプノスが与える最後の眠りと心穏やかに過ごしたいものである。

7度目の干支

宮崎市 大坪外科医院 おお つば むつ お
大 坪 睦 郎

2021年は年男である。7回目の干支が巡って来ることになる。健康に不安なくこの年齢を迎えられることの幸せをかみ締めている。10年前には東北大震災（2011）があった。20年前にはニューヨークのツインタワーが攻撃され一瞬のうちに巨大ビルが崩壊した（2001）。あれから長い年月が過ぎ去っているのに拘わらず、昨日のこのように鮮明に記憶に残っている。高齢になって月日の流れの速さを今更ながら実感するこのごろである。自分にとって次の12年があるかどうか神のみぞ知るであるが、過ぎた12年が新幹線のスピードであったとすれば、これからの12年はリニア新幹線超特急に乗り換えての旅になるであろう。それでは漫然と余生を送っては勿体ない。体力の許す限り楽しみながら生きていきたい。

山登りを始めたのは13年前の70歳になったときであった。中・高校時代のクラスメートに誘われて登山グループに入れてもらった。爾来登山歴は13年間で140回を数える。大半は県内の山々で、双石山はコースを変えながら30数回登っている。数少ない経験ではあるが、北アルプス燕岳・乗鞍岳・立山連峰・涸沢カール、中央アルプスの木曾駒ヶ岳など3,000米峰も踏破できたのは、何にも代え難い貴重な思い出である。山登りは楽ではない。毎回苦しさを味わいながら登っている。しかし女性としてエベレストに初登頂した田部井淳子の「一步一步登ればいつかはてっぺんに辿り着ける」の格言通り、いつかは頂上に到達できるから不思議である。山頂からの眺望は登った人にだけ与えられた最

大のご褒美であろう。これがあるが故に人は苦しくても登るのだと思う。

人が楽しいと感じるのには非日常性、挑戦性、連帯性、没入性の4つの要素があると、オムロン立石義雄名誉会長は自叙伝の中に書いているが、登山にはそのすべてがある。この楽しみの手ほどきをしてくれた友に感謝のほかない。

コロナ禍が終息した暁にはもう一度アルプスに挑戦してみたい。

マニアックな海外旅行再開への期待

小林市 医療法人養気会 池井病院 おお つか のぶ あき
大 塚 伸 昭

私は、小さいころから戦車や飛行機の模型を製作してきたので、第1次大戦以降の戦史に興味があり、戦史にまつわる海外旅行をしてきた。

コロナが話題になる約1年前の2019年3月にはイギリス南西部のボーベントンという田舎町を訪れた。この町には第1次大戦以降の戦車300両が展示されている戦車博物館がある。当時、宮崎市郡医師会に所属していたので、『醫友しのめ』に旅行記を投稿した。興味を持たれた先生方から問い合わせもあったので、私のHP『大塚先生の診察室パート2』にも詳細を記載している。駅から戦車博物館までは約5kmある。徒歩で行くとイギリスの美しい田園風景を楽しめるので、博物館までの詳細な手作りの地図も掲載した。道すがらの田園風景や、風情ある家並みの写真も掲載している。駅から徒歩で博物館に行く途中、道に迷ったら親切にも英国人が案内してくれた。日本から来た、と言ったら大変驚いていた。わざわざ、日本から戦車

博物館を見に来るとは物好きな輩と思われたのだろう。

次の旅行は第2次大戦で『史上最大の作戦』の舞台となったフランスのノルマンディ地方を訪れる予定であったが、目処が立たない。ノルマンディにはイギリス海峡に面して、ユタ、オマハなど5つの海岸があり、連合軍が上陸した。これらの海岸の上陸地点を見に行くことが主目的である。また、海岸の南部にはカーンという都市がある。大きな戦争記念館があり、ここも訪れたいと思っている。ノルマンディ地方の西部には世界遺産のモンサンミシェルもある。今はパリからノルマンディ地方への列車やバスの時刻表などを眺めながら、あれこれ思案しているが、これはこれで卓上旅行も楽しいものである。

イギリスへの旅行では些細なことから妻と大喧嘩したので、次の旅行では仲良く旅行したいと考えている（笑）。

憧れの熱帯産フルーツ

宮崎市 神宮医院 田中宏幸

キウイやグアヴァ、パイナップルなどは家庭で育てる人が増えたが、今まで現地でしか味わえなかった海外のフルーツが日本中で栽培され始めた。生のマンゴー20品種あまりは指宿で味わえるが、日南や清武の農家は“太陽のたまご（＝アーウィン）”以外の品種（キーツ、金煌、金蜜、ナンドクマイ、マハチャノ他）を道の駅などに卸している。

ここ数年でアテモヤ、ホワイト・サポテ、カ

ニステル、イエロー・パッション・フルーツ、サボジラなど珍しいものが大幅に増え、家で食べたあと鉢植えにしたらいくつか芽を出して驚いたものだ。青島で買った小さな樹のミラクル・フルーツ、最近いただいた三尺バナナなどはもうじき実が熟しそう毎朝眺めるのが楽しみになった。苗を買ったりいただいたりしたピタンガ、ジャボチカバ、ビリバ、ジャック・フルーツなどは今後果たして成長するのかさえ不安だが、知り合いの専門家の話は実に心強い。輸入されたインド原産の生マンゴー5品種のうち3つが発芽し次第に大きくなってきた。今年発芽したパイアも細かった芽が幹になりつつあり、同じくライチやポポーも少しずつ伸びてきた。県外で買い求めたメキシコ、タイ、ハワイ原産の生マンゴーも種から成長中で楽しみだ。

最近ネットで盛んに目にするWISHのコマーシャルは外国産のフルーツの種で溢れている。送料がばかにならないが、どうやらサワー・サップが発芽した。害虫対策を除けば越冬が一番の悩みだが、幸い宮崎市は指宿と違って雪が降らず、裏庭の手つかずの蘭小屋に手を加えれば何とかなる公算が大きいことを知った。更にネット上で自前のフルーツを公開し、やり取りするのも大きな楽しみとなっている。

これからは外出しなくてもすべきことがたくさんある。時間があれば土をいじり種を捲き散水しながら隣の鉢に目を配らせ、一方で無謀な夢という欲を抑える日が続くそうである。



断捨離としての映画資料

宮崎市 大西医院 ^{おおにしゆうじ} 大西雄二

突然あの世に行くことはご免被りたい。やり残したりしていることは多いし、きちんと整理しておきたい事柄も少なくない。死の瞬間まで解決したい「課題」も数多くある。人生の最後に納得を味わう時間が欲しいのである。

それで些細なことであるが、映画資料の断捨離である。映画のファイルが20数冊ある。本とシネマファイルなど本棚一杯分ある。なぜ映画を見るかという私は創作に興味があるからである。

これを何とか断捨離したい。だが捨てられない。映画はもう出番はない。思い出にしがみついて捨てきれないのだ。後の負担を考えると思いきらなければならないと思うができない。どうにか始末しよう。

一つずつ映画を見ていると思い出がある。約50数年前の映画をテレビで見る。最後のラストシーンで覚えていることが多い。「スペンサーの山」(1963年)では、大自然のなかで生活した青年が、都会で勉学に励もうと乗ったバスで客の言葉「遠くに行くのか?」。「ええ」が残っている。「シェナンドー河」(1965年)では、南北戦争で中立を守っていた主人公がある日息子の一人が北軍に捕虜として連れ去られてしまう。家族で捜索し、最後は息子と教会で再会したシーンが記憶に残っている。

私の部屋にあるポスターのひとつは「レスラー」主演ミッキー・ローク(2008年)米国である。糊口をしのぐレスラーが主人公である。人気の凋落とともに仲間や妻子に見捨てられ、人生の苦渋を舐めた作品であることが私の琴線

に触れる。

私のところに『シネマ1987』が送られてくる。1987年創刊である。編集者が宮崎市郡医師会の元職員であり私に送ってくれる。彼は退職となりもう送られてこないだろう。これも時の移り変わりである。

最近はたまに近くの映画館で見る。自宅から5分間で行ける。暗い室内での大画面、素晴らしい音響、感動を共有するのが映画館の醍醐味であるが、私は暗い室内で孤独感を味わう。

もしかしたら有りえたからかもしれない人生を夢見る。しかし現実には「社会の片隅で傷を抱えながら生きていく」。これが私の生き方である。

歳をとると山登り

延岡市 延岡リハビリテーション病院 ^{かないかずお} 金井一男

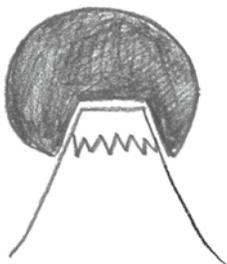
数年前、医師会講演会後の2次会で、アニメ映画「君の名は」の話で盛り上がった。酔った私は、「人には紡がれた運命がある! 輪廻転生後も自分は今の嫁さんと絶対結婚すると思う」と吐露するや、O先生とK先生が「あり得ない。勿体ない、別の女性だろ…」と呆れられたほど、私は愛妻家だ。

以前はトライアスロンなどに励んでいたが、“家族連れで登ろう延リハ病院チーム”で大崩山登山してから、すっかり山登りが楽しみになった。2019年は病院チームで、富士山ご来光弾丸ツアーに血気盛んに挑戦した。しかし、7合目で仮眠後、頂上への夜10時出発時予報で、暴風・氷点下で超危険とアタック断念、泣く泣

く下山。ただの観光巡り1泊2日真夏温泉ツアーになり下がった。そこで、2020年は妻と2人でゆっくり富士山ご来光の計画を立てていたが、コロナで富士山閉山の知らせ。コロナは、富士山まで奪ってしまった。しかし、9月になりGo Toトラベルで解禁。妻と由布岳登山を楽しんだ。

2週後、九住山日帰り登山の予定で、妻が「ウィル（トイプードル）を置いて、10時間は可哀そう」と渋った。そこで、犬猫用リュックをアマゾンで即注文、2日後到着し間に合ったと安堵。気合を入れて5kgの愛犬を前に、荷物を後ろに背負い、登山にいざ出発。愛妻家の私を、皆さん少し憐れんで、今読んでいるのではないのでしょうか？

ところがです！山登り開始後、いつもの登山と違い、すれ違う人、追い越していく人、多くの登山家が、愛犬に気づき驚いて声をかけてくる。いつもは、「こんにちは～」程度が、本当に声をかけてくる、触りにくる。まるで、アイドルを見つけたように。休憩中も、頂上でも、にこやかに。そして、「元気もらった。ありがとう」などと、お礼まで言われる。福岡から来た男性2人組は、「半年前、愛犬がクッシング病で突然死して…、自分も一緒に楽しんでおけばよかった」などと、涙ながらに語りかけていた。短いやり取りではあるけれど、多くの登山仲間との出会いは、刺激になり、元気もいただき素晴らしい体験となった。



尿酸と血圧

高千穂町 高千穂町国民健康保険病院 佐藤 祐二

宮崎大学腎臓内科のご支援があり全国の特定健診のデータを解析する機会をいただきました。降圧加療を始めたコホートのうちベースの尿酸が高い群では血圧管理目標値の達成率が悪いという結果でした。これまで降圧に抵抗する因子として報告されたのは、高齢・ベースの血圧高値・肥満・食塩摂取過剰・CKD・糖尿病・左室肥大・Black race・女性、でした。これに高尿酸血症が加わるのではと考えています。

そこでふと思いました。アロプリノール（ザイロリック®）の添付文書上の効能・効果をご存じでしょうか。「下記の場合における高尿酸血症の是正 痛風、高尿酸血症を伴う高血圧症」です。この表現では降圧薬と間違いそうです。その当時から尿酸値の是正が降圧につながるという見解があったのかなと思ったのですが、製造販売元のMRさんにお聞きしたところ以下の回答でした。「申請当時、痛風、高尿酸血症疾患が、高血圧症でサイアザイド系利尿薬の服用者に多く、治験の対象となったのがこれらの患者であったため、上記のような効能・効果となった背景があります」。逆ですね。降圧薬の副作用としての高尿酸血症でした。確かにザイロリックが上市された約40年前には利尿薬が有力な降圧薬だったのでしょう。ベテランの先生方はご存じのことだったのでしょうが、私としては現在の知見から過去のいきさつを知ることができませんでした。

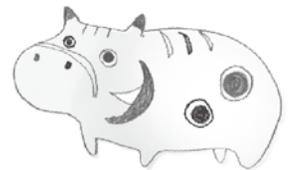
あまり新春随想と関係ない話で恐縮ですが、今年度から入会しました。どうぞよろしく願います。

7頭目の牛を迎えて。

延岡市 プレストセンター まえ だ より お
さ が ら クリニック 延岡 前 田 資 雄

2021年、本年は昭和24年生の我々にとっては、生まれたときから数えて7頭目の牛に出会う年である。以下年寄りの話と勘弁してほしい。十二支の動物たちが毎年いろんな出来事を運んでくれるが、私にとって1頭目は牛であり、命を運んでくれた。2頭目の牛に出会った年のインパクトは以後のどの動物たちのより強かった。それは1961年、昭和36年は都城盆地の片田舎から宮崎市に転居してきた年であった。宮崎市の人口は15万人あまりで、まだ未舗装の道路も多く、橋通り1丁目と山形屋前を当時は橋通り5丁目と言っていたが、ロータリーがあり、宮交バスの子どもの市内運賃は乗換券が出て5円であった。バス停も橋通りは3丁目を除いて1丁目から5丁目までであった。ラジオからテレビへと時代が移行し、鰐塚山にテレビ塔が完成し、それまでは都城では7素子の大きなアンテナを屋根の上に高く据えつけ鹿児島電波を拾って見ていた。そのころはいわゆる団塊の少年たちを夢中にさせるTV番組も多かった。ケベル先生、宇宙船シリカ、ホームラン教室、走れチェス、チロリン村とくるみの木など主題歌の一部も思い出せる。危険信号で見たOゲージの電車も欲しかったな。生まれてはじめて一人で映画を見に行ったのは、今はない橋スカラ座での素晴らしい風船旅行であった。Scientificな点でも、スプートニクの打ち上げの後で、宇宙への興味を湧かせてくれ、学校ではスンプと言って小さなプラスチックのプレートに酢酸エチル? 溶液を塗って植物や棒物などの表面の型をとったものを顕微鏡で観察する

という方法を経験し興味をそそられた。またそのころは印刷技術が向上し、平凡社の世界美術全集、河出書房新社の西洋美術全集など比較的安価に入手できるようになり楽しむことができた。音楽についても、筑摩書房から世界名曲全集という20cmくらいの薄いプラスチック円盤にレコードの溝をプレスしたソノシートという、これも安価に名曲を聴く全集が市中に出回るようになって聴取できた。このような強い少年期の思いを抱えたまま歳を重ねてくるとそれらの思いが増大してくる。地球にカンブリア爆発や小惑星の衝突が、人類に産業革命があったように、個人個人の人生においても同様の刮目するような強い体験をする年が何度かあり、その後それを引きずって人生を過ごして行くのではないだろうか。新たな丑年の運んでくれるものに期待しましょう。



医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

1

登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

2

専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

3

日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

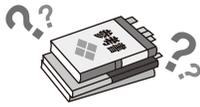
☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F



あなたできますか？

—令和元年度 医師国家試験問題より—

(解答は73ページ)

1. 小児急性中耳炎の難治化に関連しないのはどれか。
 - a 年齢6歳以上
 - b 免疫能の低下
 - c 鼻副鼻腔炎の合併
 - d 集団保育所への通所
 - e 薬剤耐性菌の耳漏内検出
2. Lambert-Eaton症候群を合併する腫瘍として最も頻度が高いのはどれか。
 - a 膵癌
 - b 肺癌
 - c 胸腺腫
 - d 直腸癌
 - e 悪性リンパ腫
3. 右上肢に運動失調をきたす病変部位はどれか。
 - a 右放線冠
 - b 右中脳被蓋
 - c 右小脳半球
 - d 左延髄外側
 - e 左脊髄後索
4. 小学校における保健指導により一次予防が期待される疾患はどれか。
 - a 肥満症
 - b 低身長症
 - c 1型糖尿病
 - d 甲状腺機能亢進症
 - e 神経性食思〈欲〉不振症
5. 法律に基づく在宅ケアについて正しいのはどれか。2つ選べ。
 - a ケアプランは介護福祉士が作成する。
 - b 人工呼吸器は在宅で使用可能である。
 - c 訪問介護には医師の指示書が必要である。
 - d 訪問診療は計画的・定期的に行う在宅医療である。
 - e 通所リハビリテーションには医療保険が適用される。
6. 乳幼児揺さぶられ症候群〈Shaken Baby Syndrome〉を疑った場合、確認すべき眼所見はどれか。
 - a 眼瞼炎
 - b 白内障
 - c 緑内障
 - d 角膜白斑
 - e 網膜出血
7. 意識障害のある患者の眼の診察で、最も緊急性が高い所見はどれか。
 - a 眼脂
 - b 翼状片
 - c 眼球結膜の出血
 - d 眼瞼結膜の充血
 - e 瞳孔径の左右差
8. 触診による腹膜刺激徴候の確認で誤っているのはどれか。
 - a 患者の表情に注意する。
 - b 自発痛がない部位から始める。
 - c 打診で痛みを訴える部位には慎重に行う。
 - d 腹膜刺激が顕著な部位の触診は必要最小限にする。
 - e 反跳痛〈rebound tenderness〉は手掌全体で押さえて確認する。
9. 48歳の男性。意識障害と右片麻痺のため救急車で搬入された。自発開眼はなく、呼びかけでも開眼しないが、痛み刺激で開眼する。痛み刺激でうなり声をあげるが、意味のある発語はみられない。痛み刺激で右上下肢は全く動きがみられないが、左上下肢は払いのける動作を示す。Glasgow Coma Scaleによる評価の合計点として正しいのはどれか。
 - a 3点
 - b 6点
 - c 9点
 - d 12点
 - e 15点
10. 胎児神経管閉鎖障害の予防を目的として葉酸を服用する場合、適切な開始時期はどれか。
 - a 妊娠の1か月以上前
 - b 妊娠10週
 - c 妊娠20週
 - d 妊娠30週
 - e 妊娠36週

エコー・リレー

(545回)

(南から北へ北から南へ)

Mac ユーザー

三股町 島中小児科医院 はた なか みち き
島 中 道 己

私がMacintosh（以下Mac）と出会ってからの24年間を振り返りました。

大学時代パソコンは普及しておらず提出レポートはすべて手書きでした。卒業

後大学医局に入局し、先輩方から「医師はMacだよ」という助言から、貯金して半年後40万円以上したPower Book 2400を半強制的に購入したのが最初の出会でした。打ち込みスピードが遅く、なぜか大事なときに固まる毎日。「Macはよくフリーズするからまめに保存しとかなないと」と指導され、打ち込み技術はそこで鍛えられました。フリーズは今の時代なら返品クレーム級だったと思います。

その後も落下や水難による故障や液晶トラブルのため2年足らずで買い換えが必要でした。その間Windows（以下Win）主流の時代となるも一途にMacを溺愛し続けました。

並行して勤務先では電子カルテ（Win）化が進み、幸運にも新規システム導入を複数回経験でき慣れる前には異動という不運もありました。11年前に実家を継承開業時が自院の電子カルテ（Win）化移行の最大のチャンスでしたが、決断できずに現在も紙カルテのまま診療しております。

そしてコロナ禍の時代。リモート診療やZoom会議へとIT化が急速に進みました。「Macユーザー」かっこよく聴こえますが、実際は色々なことを避け続け乗り遅れてガラパゴス化した結果であり、これからの未来がとても心配です。

[次回は、串間市の野田 隆先生にお願いします]

ガーデニングで思うこと

宮崎市 まつうら心の診療所 まつ うら きく こ
松 浦 喜久子

1年前から診療所前の小さな花壇の世話をするようになった。道路に面して長さ4m程の細長いスペースで、昨年までは観葉植物がジャングルのようにはびこ

っていた。それはそれでグリーンが鮮やかで見え目は悪くはなかったが、勢いが良くすぐに入り口のスロープにまで伸びてくるのでスタッフが剪定に苦勞していた。抜こうとしても太い根が互いに絡みつき手に負えなかったので、植物の除去と土の総入れ替え、花の苗の植え付けまでは園芸業者さんにお任せした。結構大仕事だったが、その甲斐あってこの春にはバーベナやビオラがほこり、クリスマスローズ、ローズマリー、レースラベンダーが風に揺れ以前とは違った景色に感動した。でも花はすぐに終わってしまい、梅雨あけからは終わった花の植え替え、伸び過ぎた植物の剪定や草取り、虫取り、水やりで忙しくなった。うれしかったことは、むぎわらぼうしにマスク姿で汗だくになって手入れをしていると、通りがかりの方が「花がきれいですね」、「大変でしょう」と声をかけてくれること。登下校の小学生もあいさつをしてくれる。歩行者が意外と多い道なんだと気が付いた。見てくれる人がいると思うとモチベーションも上がる。そしてこの1年、毎日花壇をながめるのがちょっとした楽しみだった。そのおかげで気持ちのリセットができたような気がする。これからも季節の変化を感じ取れる自然な印象の花壇になるよう世話を続けようと思う。

[次回は、宮崎市の岩切 美千代先生にお願いします]

令和2年1月～12月に 叙勲及び表彰等を受けられた会員の先生方（団体含む）

叙位・叙勲・褒章

【宮崎市郡医師会】

保健衛生功勞により旭日双光章（令和2年4月29日） 濱 砂 重 仁

【西都市西児湯医師会】

保健衛生功勞により旭日双光章（令和2年11月3日） 相 澤 潔

表彰・祝賀

【宮崎市郡医師会】

国民健康保険事業及び介護保険事業功勞により国民健康保険中央会表彰（令和2年8月7日） 立 元 祐 保

救急医療事業功勞により県知事表彰（令和2年9月7日） 城 山 暢 博

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰（令和2年10月13日） 杉 田 幸 雄

精神保健福祉事業功勞により厚生労働大臣表彰（令和2年10月16日） 井 上 雅 文

医療功勞により県知事表彰（令和2年11月12日） 立 元 祐 保

医療功勞により県知事表彰（令和2年11月12日） 山 村 善 教

【都城市北諸県郡医師会】

公衆衛生功勞により県知事表彰（令和2年1月16日） 志々目 栄 一

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰（令和2年2月26日） 矢 野 良 英

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰（令和2年2月26日） 大 窪 利 隆

精神保健福祉事業功勞により県知事表彰（令和2年10月31日） 有 田 一 信

医療功勞により県知事表彰（令和2年11月12日） 政 所 治 道

【延岡市医師会】

救急医療事業功勞により県知事表彰（令和2年9月7日） 佐 井 伸 男

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰（令和2年10月13日） 木 下 義 美

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰（令和2年10月19日） 山 口 哲 朗

医療功勞により県知事表彰（令和2年11月12日） 井 手 稔

【日向市東臼杵郡医師会】

公衆衛生功勞により県知事表彰（令和2年1月16日） 渡 邊 康 久

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰（令和2年2月26日） 大久保 史 明

警察部外功勞者表彰（警察協力章）（令和2年7月1日） 和 田 徹 也

【西都市西児湯医師会】

公衆衛生功勞により県知事表彰（令和2年1月16日）	大塚和子
公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰（令和2年2月26日）	兒玉健二
救急医療事業功勞により県知事表彰（令和2年9月7日）	松本英裕

【南那珂医師会】

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰（令和2年10月14日）	峯一彦
医療功勞により県知事表彰（令和2年11月12日）	島田雅弘



12月のベストセラー（宮崎県）

集計：2020年12月1日～12月23日

1	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東野圭吾	光文社
2	むすびつき	畠中恵	新潮社
3	「織細さん」の本	武田友紀	飛鳥新社
4	精神科医が教えるストレスフリー超大全	樺沢紫苑	ダイヤモンド社
5	ケーキの切れない非行少年たち	宮口幸治	新潮社
6	ちょっとだけ・こっそり・素早く 「言い返す」技術 マンガ版	ゆうきゆう	三笠書房
7	気がつけば、終着駅	佐藤愛子	中央公論新社
8	乱麻百万石の留守居役	上田秀人	講談社
9	なぜ、読解力が必要なのか？	池上彰	講談社
10	私は私のままで生きることにした	キム・スヒョン	ワニブックス

宮崎県感染症発生動向 ～11月～

令和2年11月2日～令和2年11月29日（第45週～第48週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核12例（男性9例・女性3例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は90歳代で，主な症状として水様性下痢，血便，発熱がみられた。原因菌のO血清型はO26（VT1）であった。

4類：○E型肝炎1例：宮崎市保健所管内から報告があった。50歳代男性で，主な症状として食欲不振，肝機能異常，嘔気がみられた。

○A型肝炎1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳で，主な症状として全身倦怠感，発熱，食欲不振，黄疸，肝腫大，肝機能異常がみられた。A型肝炎のワクチン接種歴は不明で，海外への渡航歴があった。

○つつが虫病17例：（男性10例・女性7例）：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりであった。

○レジオネラ症1例：日向保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，病型は肺炎型であった。主な症状として発熱，肺炎がみられた。

5類：○アメーバ赤痢2例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は50歳代と80歳代で，病型はいずれも腸管アメーバ症であった。主な症状として下痢，粘血便，しぶり腹，腹痛，大腸粘膜異常所見，便潜血陽性がみられた。

○急性脳炎1例：日向保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳で，病原体は不明であった。主な症状として，発熱，痙攣，意識障害がみられた。

○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：都城保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，病型はゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病（GSS）であった。診断の確実度は，ほぼ確実で，主な症状として進行性認知症，小脳症状，記憶障害，異常感覚がみられた。

○梅毒7例（男性5例，女性2例）：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は30歳代（5例）と40歳代（2例）であった。病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が2例，早期顕症梅毒Ⅱ期が5例であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，扁平コンジローマ等がみられた。

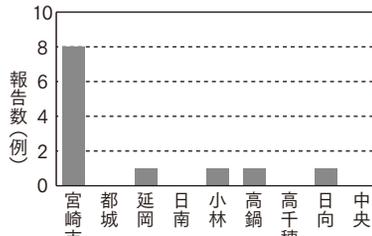


図1 結核 保健所別報告数

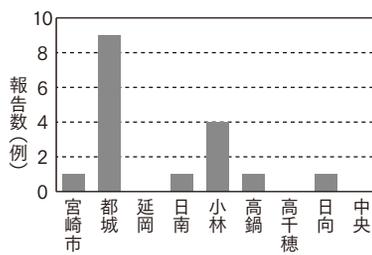


図2 つつが虫病 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	7
その他の結核 (結核性胸膜炎)	2
無症状病原体保有者	3

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～9歳	1
60歳代	3
80歳代	3
90歳代	5

表3 つつが虫病 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	3
70歳代	7
80歳代	4

■指定感染症

○新型コロナウイルス感染症135例：保健所別，年齢別報告数は【表4】のとおりで，主な症状は発熱，咳，全身倦怠感，咽頭痛等であった。

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,253人（定点あたり35.8）で，前月の84%，例年の42%であった。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱と手足口病で，減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎，感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は手足口病とヘルパンギーナであった。

手足口病の報告数は163人（4.5）で前月の約1.7倍，例年の約1.5倍であった。都城（15.7），日南（9.7），中央（8.0）保健所からの

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	ヒトヘルペスウイルス6	6
	サイトメガロウイルス	1
	A型肝炎ウイルス（遺伝子型ⅠA）	1
細菌	Salmonella Braenderup (O7:e,h:e,n,z15)	1

表4 新型コロナウイルス感染症 年齢別報告数(例)

報告保健所	報告数	年 齢 群									
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
宮崎市	122例	4	1	28	20	17	14	15	5	12	6
都城	6例				1	4		1			
延岡	1例			1							
日南	2例					1		1			
小林	1例							1			
高鍋	2例			1		1					
中央	1例			1							

報告が多く、1～2歳が全体の約7割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は130人(3.6)で前月の約0.8倍、例年の約3.2倍であった。中央(24.0)、宮崎市(6.0)、高鍋(3.8)保健所からの報告が多く、1～2歳が全体の約8割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向(2020年11月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は49人(3.8)で、前月比91%と減少した。また、昨年11月(2.2)の175%であった。

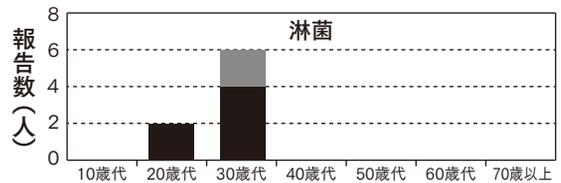
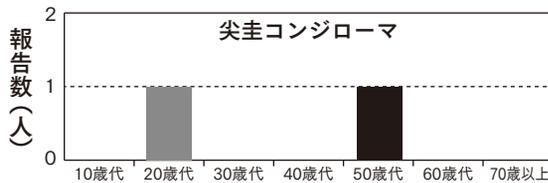
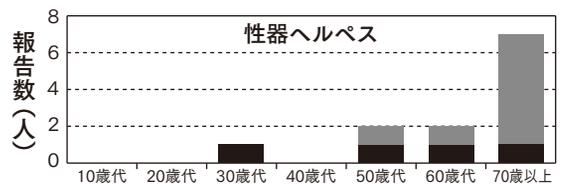
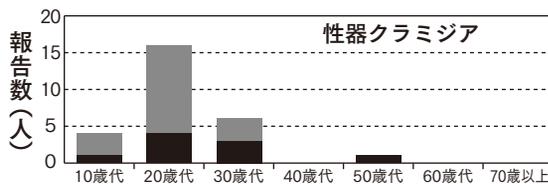
《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数27人(2.1)で、前月の0.8倍、昨年11月の約1.6倍であった。20歳代が全体の約6割を占めた。(男性9人・女性18人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数12人(0.92)で、前月の1.5倍、昨年11月の約2.4倍であった。(男性4人・女性8人)
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月の0.7倍あった(昨年11月は報告なし)。(男性1人、女性1人)
- 淋菌感染症：報告数8人(0.62)で前月の約0.7倍、昨年11月の約1.3倍であった。(男性6人、女性2人)

前月との比較

	2020年11月		2020年10月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	2	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	19	0.5	20	0.6	
咽頭結膜熱	71	2.0	47	1.3	
※溶レン菌咽頭炎	294	8.2	367	10.2	
感染性胃腸炎	426	11.8	516	14.3	
水痘	34	0.9	47	1.3	
手足口病	163	4.5	96	2.7	★
伝染性紅斑	4	0.1	2	0.1	
突発性発しん	93	2.6	141	3.9	
ヘルパンギーナ	130	3.6	159	4.4	★
流行性耳下腺炎	10	0.3	13	0.4	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	7	1.2	20	3.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



■男 ■女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6)で、前月比164%と増加した。また、昨年11月(2.0)の129%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6)で、前月の約1.6倍、昨年11月の約1.3倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

第1回各郡市医師会長協議会

と き 令和2年9月29日(火)

ところ 県 医 師 会 館

小牧常任理事の司会で開会し、新会長に就任した佐藤延岡市医師会長と植松西臼杵郡医師会長の挨拶の後、報告および協議に入った。

1 報告及び協議

1) 9/15(火)(日医)都道府県医師会長会議について

河野会長から「新型コロナウイルス感染症の検査体制」および「新型コロナウイルス感染症の対応による医療提供体制への影響」の各テーマで行われたグループ討議の内容について説明があった。

2) 新型コロナウイルス感染症への対応について

濱田副会長から、インフルエンザ流行に備えた体制整備について、これまでの保健所における行政検査の対応から、今後はかかりつけ医などを中心とした診療・検査医療機関で対応していくことなどの説明があった。

また、小牧常任理事からは、日本医師会実施の新型コロナウイルス感染症の対応下における診療所経営調査の協力依頼があった。

3) 11/28(土)第120回九州医師会総会・医学会等について

小牧常任理事から、今回は新型コロナウイルス感染症の影響で、九州各県から本県に参集していただくことはせず、九州各県医師会と現地シーガイアをテレビ会議で繋いで開催することが報告され、会員への周知などについて協力依頼があった。

4) 参議院議員 自見はなこ 議員の近況について

吉田常任理事から、自見先生の厚生労働大臣政務官退任と次期参議院議員選挙の日本医師連盟組織内候補者として推薦が決定したことについて報告があった。また、次期参議院議員の組織内候補者を機関決定していない郡市医師連盟に対して、早めに推薦を決定していただくよう協力依頼があった。

5) その他

新型コロナウイルス感染症の対応を中心に各郡市医師会の現況と今後の問題点などについて、意見交換が行われた。

出席者

各郡市医師会長

川名(宮崎)・田口(都城)・佐藤(延岡)・千代反田(日向)・永友(児湯)・松本(西都)・中村(南那珂)・内村(西諸)・植松(西臼杵)・鮫島(宮大医) 会長

県医師会

河野会長、濱田・山村副会長、吉田・小牧・荒木・池井・金丸・石川・瀬ノ口・高木常任理事、峰松・川野・佐々木・岩村・帖佐・嶋本・園田・赤須・大塚・玉置・上山理事

令和2年度各専門分科医会長会

と き 令和2年10月6日(火)

ところ 県 医 師 会 館

河野会長から挨拶があり、自己紹介の後、報告・協議に入った。

ザ流行に備えた医療機関の診療体制について説明があった。

1 報 告

1) 県医師会医学会幹事について

小牧常任理事から、県内13の専門分科医会をもって構成する宮崎県医師会医学会の幹事について、県医師会医学会会則第7条により、専門分科医会から各1名が選出されたとの報告があった。

2 協 議

1) 県医師会医学会副会長1名の推薦について

県医師会医学会会則第7条により、県内科医会長の比嘉利信先生を推薦することが決定した。

3 その他

1) 第120回九州医師会連合会総会・医学会及び関連行事について

小牧常任理事から、九州医師会連合会総会・医学会及び関連行事について、新型コロナウイルス感染症の影響によりウェブ会議を活用するなどの対応を取ることが説明され、協力依頼があった。

2) 新型コロナウイルス感染症への対応について

吉田常任理事から、今後のインフルエン

出席者

専門分科医会－比嘉利信 内科医会長

高村一志 小児科医会長

白尾一定 外科医会長

松本宏一 整形外科医会長

田尻明彦 皮膚科医会長

蓑田國廣 泌尿器科医会長

肥後貴史 産婦人科医会長

中村彰伸 眼科医会長

吉田建世 精神科医会長

杜若陽祐 放射線科医会長

坪井康浩 耳鼻咽喉科医会副会長

中山 健 透析医会副会長

県医師会－河野会長、濱田・山村副会長、

吉田（重複）・小牧・荒木・池井・

金丸・石川・瀬ノ口・高木常任理事

宮崎県医療事故調査支援団体連絡協議会 宮崎県医師会医療事故調査支援委員会 合同会議

と き 令和2年10月29日(休)

ところ 県 医 師 会 館

濱田副会長の進行により、県医療事故調査支援団体連絡協議会の河野会長、県医師会医療事故調査支援委員会の比嘉委員長から挨拶があり、報告・協議に入った。

報 告

1 県医療事故調査支援団体連絡協議会の委員について

濱田副会長から、協議会の趣旨などについて説明があり、現委員に変更はなく、協議会会長も同設置要綱第4条第2項の規定により県医師会の河野会長が務めることが報告された。

2 県医師会医療事故調査支援委員会の委員について

濱田副会長から、委員の交代について説明があり、都城医療センターの冷牟田浩司先生の後任に吉住秀之先生、県臨床工学技士会の福元広行様の後任に松岡賢一様が委員に就任することが報告された。

3 全国の事例および県医師会医療事故調査支援委員会の支援状況について

濱田副会長から、制度発足の平成27年10月から令和2年9月までの5年間に医療事故調査・支援センターに報告された全国の事例について説明があった。医療事故報告件数は1,847件、院内調査結果報告件数は1,539件であった。

また、本支援委員会の支援状況について

は、初めに濱田副会長から支援体制の説明があり、続いて比嘉委員長および下菌副委員長から直近の個別事例が報告された。

協 議

1 県医師会医療事故調査支援委員会副委員長の指名について

冷牟田浩司先生の退任にともない今年4月から不在となっていた副委員長の後任について、比嘉委員長が吉住秀之先生を指名し承認された。

協議終了後の意見交換では、制度発足から5年間の総括として、医療事故発生報告の判断が医療機関に委ねられていることで、全国的には報告件数が当初の予定より少なかった。一方、医療事故調査・支援センターが公表している都道府県別人口100万人当たり医療事故発生報告件数（1年換算）を見ると、2019年年報では全国平均3件に対し、本県は5.9件と約2倍であった。本県は制度発足時から発生報告件数が全国一で推移しており、その理由としては会員医療機関に対する本制度の周知活動などを通じ、管理者の理解が深まり積極的に調査を実施していることなどが報告され、意見交換が行われた。

出席者－県医療事故調査支援団体連絡協議会

県医師会長 河野会長
宮崎大学医学部長 片岡委員
県薬剤師会長 小山委員
県看護協会会長 中武委員
県助産師会長 森委員

県医師会医療事故調査支援委員会

宮崎東病院名誉院長 比嘉委員長（常任委員）
介護老人保健施設むつみ苑施設長 下藺副委員長（常任委員）
県立延岡病院院長 寺尾副委員長（常任委員）
都城医療センター院長 吉住副委員長（常任委員）
県医師会副会長 濱田委員（常任委員）
” 山村委員（常任委員）
県医師会常任理事 小牧委員（常任委員）
” 荒木委員（常任委員）
宮崎大学医学部附属病院長 鮫島委員
宮崎大学医学部附属病院（医療安全管理担当）教授 中村委員
宮崎大学医学部社会医学講座法医学分野教授 湯川委員
県医師会病院部会長 池井委員
県精神科病院協会名誉会長 高宮委員
県歯科医師会常務理事 崎山委員
県薬剤師会副会長 本田委員
県看護協会常務理事 橋満委員
県助産師会副会長 田中委員
県立日南病院副院長 市成委員
古賀総合病院消化器外科部長 谷口先生（代理）
宮崎生協病院医療安全委員会委員長 山岡委員
県臨床工学技士会医療機器安全対策委員会委員長 松岡委員

事務局－竹崎次長兼総務課長，湯浅課長補佐

九州医師会連合会令和2年度第1回各種協議会

と き 令和2年10月10日(土)

ところ 県医師会館(テレビ会議)

令和2年度第1回各種協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、テレビ会議システムを利用して、九州各県医師会及び日本医師会にて開催された。

九州医師会連合会の担当県である本県の荒木常任理事の司会により開会し、河野九州医師会連合会長(宮崎県医)の挨拶の後、地域医療対策協議会、医療保険対策協議会、介護保険対策協議会の順で行われた。

それぞれの協議会の概要は次のとおりである。

地 域 医 療 対 策 協 議 会



協議に先立ち、担当県である本県から濱田副会長が座長に選出された。

協議は、あらかじめ各県から提案された6項目について、釜蒞日医常任理事より日医の見解が述べられた後、質疑応答が行われた。

1 郡市医師会と保健所との連携体制について (熊本県)

<提案要旨>

新型コロナウイルス感染症対策については、PCR検査センターの設置をはじめ種々の施策などにおいて郡市医師会と保健所との間で温度差が生じてきており、その大きな原因は県庁内(本庁と保健所)での情報共有のあり方に起因するものと考えている。

九州各県における本件事例の有無とその対処方法についてご教示いただきたい。

各県回答 ほとんどの県で郡市医師会と保健所との連携や情報共有がうまくいっていないところがあるとのことだが、打合せや会議に出席することで問題の解消に取り組んでいるとのことであった。

釜蒞日医常任理事 情報共有がうまくいっていないことの一因として、全国的に保健所の統廃合が進められたこと、保健所設置市と県直轄の保健所との連携がうまく取れていないことが影響している。県医師会が仲介するなどして、県と保健所の連携が取れるようにしていただきたい。

2 新型コロナウイルス感染症に係る各県における検査体制について(佐賀県)

<提案要旨>

新型コロナウイルス感染症に係る検査体制について、行政の方から県内の検査体制および二次医療圏ごとの検査受入機関や受入検査可能数は情報提供されているか。

本県における行政検査の今後の流れとしては、10月までに感染症指定医療機関の他、地域拠点医療機関においてもPCRなどの検査を実施可能な体制を整え、11月からは地域

完結型で検査を実施する予定とのことであるが、まだ、検査が可能な数については情報共有されていない。

各県回答 各県ともに県の担当課と検査体制について情報共有を行っているとの回答であった。

釜蒞日医常任理事 今後の検査体制については、地域外来・検査センターのみで対応することは難しいため、それぞれの医療機関でできる範囲で体制を整えていただきたい。医療機関が担う範囲としては、発熱患者の診療、インフルエンザの検査、新型コロナウイルスの検体採取までを行う、という3つのレベルが考えられるが、できうる範囲でそれぞれの役割を担っていただきたい。手を挙げた医療機関については、県が「診療・検査医療機関」として指定をするため、円滑に進むように協力をお願いしたい。

3 全ての医療機関にコロナ禍以前の収入を保証する公的資金の支援について（大分県）

<提案要旨>

新型コロナウイルスの流行にともない全国の医療機関の経営状況は悪化し、地域医療提供体制は危機に瀕している。

政府の第2次補正予算による数々の支援策また優遇融資などはあるが、それでも将来の不安は払拭されず医療体制の縮小や、人件費削減などの経営対策を考えなければいけない。一度医療体制が崩れれば元に戻すことは困難である。いまこの国難を乗り切った後のことを考え思い切った公的資金を注入し前年度の収入と同額を保証することで不安をなくし、その後ウィズコロナ時代の診療報酬体系の見直しを行うことや新たな医療提供体制を考えるべきではないかと提案する。

各県回答 医療機関の収入は減少しており、医療機関の経営悪化により地域医療が崩壊することがないように、支援金以外に公的資金

を投入して減収の対応をしてほしいとのことであった。

釜蒞日医常任理事 支払基金の医療費データによると対前年比で8,000億円減収したと推測される。各都道府県で発熱患者などに対応する診療・検査医療機関の指定が行われることとなっている。この医療機関は補助を申請できることになっているが、わかりづらいという声が挙がっていることから、日医と厚労省で協議しており、適切な通知を発出したい。補助金を受けるためには、発熱患者に対応できる体制が重要で、発熱患者への診療体制を取りながら、受診者がいなくなったときに補助金の支給が行われる仕組みになっていることをご承知いただきたい。

4 ポストコロナ時代の地域医療構想における医療提供体制について（福岡県）

<提案要旨>

新型コロナウイルス感染症が我が国の医療提供体制に大きな影響を及ぼしており、感染者は今後も一定数の発生が継続し、時には突発的に増加することが繰り返されることが推測される。また、新たな未知の感染症の流行の可能性も常に予測され、今後、感染症対策を予防・疫学・治療体系などの観点から医療計画に加え、地域医療構想における課題の一つとして調整会議で議論を進めていく必要がある。

今回の新型コロナウイルス感染症の拡大で顕在化した課題をふまえた新しい医療提供体制について、各県および日医のご意見を伺いたい。

各県回答 各県ともに新型コロナウイルス感染症の影響により、まだ新たな医療提供体制に関する議論が始まっていないとの回答であった。

釜蒞日医常任理事 地域医療構想をふまえた再検証を養成する公立・公的医療機関（424

医療機関)の検討については、一時棚上げになってしまった部分があるが、新興・再興感染症の対策について、早急に医療計画へ取り組む必要がある。現状の5疾病5事業にどのように取り組むかが大きな課題になっていると考えており、今後、厚労省と検討を進めていきたい。

5 「医師の働き方改革」の進捗状況等について (鹿児島県)

<提案要旨>

「医師の働き方改革の推進に関する検討会」は今夏にも再開するといった報道もあるが、新型コロナウイルス感染症が働き方改革に与える影響など、医師の働き方改革の最新動向について、日医の見解をお伺いしたい。

また、同答申において「医療マネジメントを実践するには、(中略)トップをサポートする高度な知識を持つ医療人材の養成も検討が必要と思われる」としている。人材育成は必要であると考えているが、昨年度、厚労省が実施した研修会は、各都道府県から1名、平日に4日間実施するという開催方法で参加が困難である。開催方法を変更すべきではないかと考えるが日医の見解をお伺いしたい。

各県回答 各県ともに日医に対して今後の働き方改革の方向性を伺いたいとの回答であった。

釜蒔日医常任理事 医師の働き方改革の推進に関する検討会については8月28日から再開している。2024年度からの施行については、厚労省から延期するとの話は出ていない。無理に施行されないように日医としても注視していきたい。

6 医療のデジタル化に向けた対応について (長崎県)

<提案要旨>

政府の今年度の「経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)」は、ポストコロナ時代の新たな日常に向けての実現に向けて、デ

ジタル化の推進を加速させることが大きな柱である。

医療もその対象であり、オンライン診療の促進があげられている。オンライン診療は、院内感染症拡大予防、患者の受診抑制、医師の偏在解消の手段としては有効であるが、その一方で、診療の質の低下、それにとまなう医療過誤、訴訟の増加が懸念されている。新しい時代の医療に有効であるオンライン診療をどのような形で進めていくのか、また、先に述べた懸念に対しどのような対処を考えているのか伺いたい。

加えて、新型コロナウイルス感染症の流行拡大で、オンラインを用いた会合が主流となってきた。出席を義務化された認定のための単位習得を必要とする研修会をどのように開催すべきなのか、日医のご指導をお願いしたい。

来年3月から始まるマイナンバーカードを用いた保険証のオンライン資格確認に対しては、会員の関心は非常に薄い。九州各県の動きならびに日医のお考えを聞かせていただきたい。

各県回答 オンライン診療については、あくまで対面診療が基本であるが、新型コロナウイルス感染症の流行している状況では、感染拡大防止や患者の利便性から一定のメリットがあるとの意見であった。

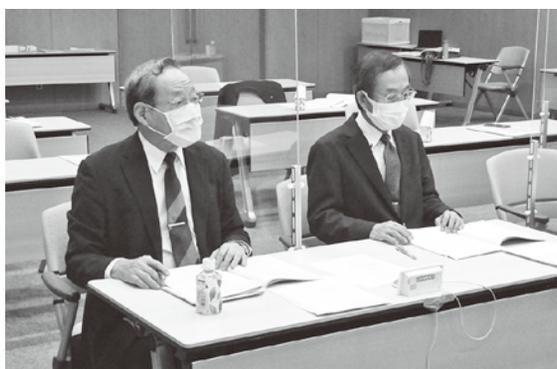
釜蒔日医常任理事 今後、日医で開催する研修会や会議をどのようにオンラインで行うかが課題となるが、出退管理の方法などを生かして、開催をしていきたい。

オンライン診療については、中川会長が(1)ICTやデジタル技術など技術革新の成果をもって、医療の安全性、有効性、生産性を高める方向を目指す、(2)解決困難な要因によって、医療機関へのアクセスが制限されている場合に適切にオンライン診療で補完する、(3)新型コロナウイルス感染症拡大下でのオンライン

診療に係る時限的・特例的対応については改めて検証を行うことを要請する、といった日医の基本的なスタンスを説明した。オンライン診療の恒久性については、今後、厚労省と調整していきたいと考えている。

マイナンバーカードによる保険証のオンライン資格確認については、すべての医療機関が対応できるわけではないと考えており、日医としても慎重に進めていきたい。

医療保険対策協議会



協議に先立ち、担当県である本県から山村副会長が座長に選出された。

協議は、各県からあらかじめ提案された議題について、松本日医常任理事が日医の見解を述べられた後、質疑応答が行われた。

1 各種の受講義務のある講習会等の年限延長について（大分県）

<提案要旨>

新型コロナウイルス感染拡大により、受講義務のある各種講習会は、一部要件緩和があるものの、受講年限や期間の延長については、緩和されていないものもある。本年度に限る要件を撤廃し一年間の猶予を考慮してほしい。

また、九州厚生局が行う個別指導も、管轄の事務所とその都度協議することとなっている。日医の考えを伺いたい。

松本日医常任理事 地域包括診療加算の施設

基準の研修要件については、現在、新型コロナウイルス感染症対応などのやむを得ない事情により要件を満たせない場合は、研修受講が可能となった際、速やかに受講し遅滞なく届出を行うこととなっている。ただし、新規の届出に関しては、各県医師会において昨年度の同研修会のDVDを活用し希望する医師に対して実施していただくよう依頼した。

日医で所管の生涯教育講座、日医かかりつけ医機能研修、健康スポーツ医再研修会は、令和2年度の特例措置としてウェブ研修であっても単位取得を認めることとしており、産業医や健康スポーツ医の研修期限は、現状、無期限としている。

また、日医では令和3年度に向け、新たなウェブ会議システムを検討すべくプロジェクトチームを立ち上げた。なお、ウェブ環境が整っていない会員も想定しており、従来の研修とウェブ研修の同時実施のハイブリット形式での開催がスタンダードになるのではないかと考えている。

各県回答 各県とも賛同する意見であったが、ウェブ会議の導入が進む中、環境が整っていない会員もいるため、コロナの収束状況を見ながら猶予期限を検討して欲しいと要望した。

※(2)~(5)は一括して回答

2 新型コロナウイルス禍での医業経営危機並びに診療所個別指導について（福岡県）

<提案要旨>

日医の医業経営状況調査結果と同様に本会実施のレセプト調査でも、診療所の入院外および病院の入院それぞれの総点数、総件数および総日数は大幅に減少し、医療機関の経営は危機的状態にある。更にこの影響は患者を受け入れてない医療機関へも大きく及んでおり、更なる追加的な支援が必要であることは明白である。医療機関への資金援助の方法を模索しながら、かつ診療報酬点数の引き上げ

も必須と考える。過度な受診抑制に対しては、適正な受診についての国民への啓発も必要である。

また、診療所の個別指導について、現在、医療機関はコロナ対応に多くのエネルギーを削いでいる状況にあるため、少なくとも今年度は新規個別指導を含め個別指導が行われるべき環境にはなく、たとえ実施となっても緊急を要する場合（情報提供など）に限るべきと考える。

各県の実施状況および日医のご意見を伺いたい。

3 新型コロナウイルス感染症の影響による減収に対する補助について（長崎県）

<提案要旨>

新型コロナウイルス感染回避のため受診抑制が顕著で、支払基金が7月に公表した4月診療分のレセプトでは件数が対前年比で24.2%、金額で11.7%の減である。このことは5月以降も続いており、支払基金、国保とも4月、5月、6月とレセプト数、請求金額ともに減少幅が増加している。本来、医療機関の経営は営利を目的としていないため、現金での内部留保は少なく、建物、医療機器などに向けられている。また、人件費率も高く経営基盤は脆弱である。医療制度の崩壊を防ぐには減収分を補填するしかなく、その原資は診療報酬でないと、現在行われている慰労金や感染防止対策では到底追いつかないのは明白である。政府に対し強く要求していく必要があるが日医の考えを伺いたい。また、各県で独自の支援や補填がされているのであればお教え願いたい。

4 新型コロナウイルス感染症対応を踏まえた今後の診療報酬の在り方について

（鹿児島県）

<提案要旨>

九医連で調査をした各県の審査支払機関の

レセプト受付件数データでは、全体として受付件数が減っているだけでなく、診療科による差が大きいことも明確になった。特に、小児科並びに耳鼻咽喉科の受診者の減少は顕著であり、国の補正予算などによる経済的な支援策はあるものの各医療機関の経営は危機的な状況にある。一時的な支援だけでなく、特に減少している診療報酬の項目などを精査し、診療報酬点数の増点や新設項目を設けるなど、診療報酬の在り方そのものを抜本的に見直す必要がある。

また、特に小児科の診療報酬減に対しては、小児医療費助成の現物給付を国の制度として一定の年齢までは窓口負担のないよう対応するとともに、国民健康保険の減額調整措置の年齢制限（現在は未就学児まで）を撤廃していただきたい。

5 新型コロナウイルス感染症対応下での医業経営支援等に対する取組みについて

（佐賀県）

<提案要旨>

日医の新型コロナウイルス感染症対応下での医業経営に関する調査では、3月から5月までの医業収入は、対前年度比で診療科目や規模を問わず、大幅な減少となる結果が報告された。国の支援策としては、第二次補正予算によって、医療・福祉事業者への資金繰り支援の拡充や、医療用物資の確保・医療機関などへの配布などが行われている。

各県医師会において、行政に対し経営補填に関する要望などを独自に行っているのか、また、同感染症の第二、第三波に備えた感染防止対策について行われていることがあれば伺いたい。

松本日医常任理事 支払基金の医科支払いベースのデータでは、本年4月から6月分は対前年度比で8千億円のマイナスとなり、本年度は2兆円程度のマイナスを予測している。

また、日医実施の診療所経営調査では、医業収入の対前年度比は、本年4月から6月の平均でマイナス13.3%、特に耳鼻咽喉科はマイナス34.5%、小児科はマイナス26%となった。このままでは地域医療崩壊が十分あり得ると感じている。政府は損失補填の支援は行わないとしているが、緊急支援交付金や診療報酬の見直し、融資拡大などについて、引き続き交渉していく。

小児の医療費助成制度については、自治体で助成範囲が異なるが厚労省社会保障審議会医療保険部会においても自己負担のあり方などが議論されている。また、小児の診療報酬については、これまで乳幼児加算などを設定してきた経緯があるが、引き続き厚労省と協議していく。

個別指導については、適正な保険請求を促す教育的なものであるため、今年度は厚生局と県医師会で協議し、合意のうえで実施することとしている。もし厚生局から一方的な要望などがあれば日医に報告して欲しい。

各県回答 医業経営に関しては、各県とも減収により疲弊している状況が報告された。なお、この減収分を補填できるような支援を各県独自で実施している県はなく、国に対し診療報酬を原資とした支援策などのさらなる支援の拡大を求める要望がなされた。過度な受診抑制に関しては、行政やマスコミからPCR検査の陽性数だけでなく受診継続の重要性についても強調するよう報道の在り方に対する要望もあった。

また、個別指導に関しては、感染が拡大している沖縄県以外は、各県とも九州厚生局と合意のうえで、感染対策を施したうえで新規個別指導や再指導など、優先順位をつけて実施している状況であった。

6 被災地域における被保険者の既往歴等の提供について（熊本県）

<提案要旨>

令和2年7月豪雨災害において、発災後に熊本県国民健康保険団体連合会では、被災した被保険者が避難先の医療機関を受診した際、既往の治療や服薬状況が不明でも的確に診療行為を受けられるように、避難先で治療にあたる医療機関より、被災した被保険者の同意を得た場合に診療報酬明細書情報の第三者への提供についての通知文書が発出された。

この仕組みは、大変有効な制度であったが、社会保険については適用されなかった。有事の際に、すべての保険者が被保険者の情報開示に柔軟な対応をいただければ、被災者に対しより良い医療を提供できる。各県医師会のご意見と日医の見解をお聞きしたい。

熊本日医常任理事 災害時には、避難先で被保険者証がなくとも受診できるよう対応しているが、かかりつけ医で処方されていた薬剤の処方ができないなどの課題もある。今後は、マイナンバーカードを活用したオンライン資格確認により患者の薬剤情報などの閲覧が可能になるので災害時の問題も解消されるが、オンライン資格確認のさまざまな問題点については、厚労省などに主張している。

各県回答 各県からも有事の際には、情報開示について保険者の柔軟な対応を求める回答であったが、患者の個人情報であるため、限定して取り扱うべきとの意見もあった。

介護保険対策協議会



協議に先立ち、担当県である本県から石川常任理事が座長に選出された。

協議は、各県からあらかじめ提案された議題について、江澤日医常任理事が日医の見解を述べられた後、質疑応答が行われた。

1 介護施設でのコロナ感染対策について

(熊本県)

<提案要旨>

各県におかれては、施設内感染について苦慮されていることと思われるが、①予防策についての取組み、②施設で発生した場合の取組みについて良い案があればお教えいただきたい。

日医におかれては施設内発生において、死亡率と感染拡大の観点から感染症指定医療機関搬送と施設内対応のどちらが望ましいか、過去の事例をふまえてご教示いただければ幸いである。

各県回答 ①予防策については、施設職員への研修の実施、感染防止対策のQ&A作成、国が示す予防策の周知など。②施設で発生した場合の取組みについては、人的支援の体制整備、国の通知を基にしたマニュアルの作成等が行われていた。

江澤日医常任理事 厚労省の取組み支援として、①介護施設および介護事業所における感染症対応力向上事業、②介護サービスの類型

に応じた業務継続計画（BCP）作成支援事業がある。①については感染対策マニュアル、②についてはガイドラインを作成しており、いずれも研修を民間事業者に委託して実施している。また、新型コロナウイルス感染症に限らず、介護現場における感染症対応力の向上を目的に「介護現場における感染対策の手引き（第1版）」が令和2年10月に作成されているのでご確認いただきたい。

クラスター発生時の対応については、指定医療機関への搬送と施設内対応とどちらが望ましいとも言えないが、入所者に新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合、状況によっては入院調整までの一時的な期間について、施設内対応をする場合があり得ると考えている。しかし原則は入院であるので、平時から地域で入院調整の方法を検討しておくことが重要である。

2 コロナ禍における介護事業所・施設の休業要請の考え方とその補償について

(鹿児島県)

<提案要旨>

通所サービスは、多数の利用者に対してレクリエーション、リハビリ、食事、入浴介助を行い、入所施設を利用することも多いので、感染拡大のリスクが高い。介護事業所・施設でのクラスター発生を予防する観点からいえば県内や地域での新型コロナウイルス感染者の発生数が多くなっている場合、通所系サービス停止が感染拡大防止には有効と思われる。各県における通所系サービス事業所をはじめ介護事業所・施設への休業要請などの基準やその場合の補償についてご教示いただきたい。また、本件について日医の見解をお伺いしたい。

各県回答 ほとんどの県が休業要請の基準、その補償については統一した基準は無いとの回答であった。福岡県からは自主休業した場合や、利用者・職員に感染者が出た場合は、

県による補助と支援が行われているとの回答があった。

江澤日医常任理事 デイサービスなどの通所型の施設は、法律に基づく緊急事態宣言を受けて、知事の判断で使用制限や休業要請ができる。事業所が休業している場合に居宅訪問を行い、サービスを提供した場合、提供したサービスの時間の区分に対応した報酬区分（通所系サービスの区分）を算定できる。また、通所介護事業所などが利用者の健康状態を電話により確認した場合、休業要請を受けた場合1日2回まで、受けていない場合は1日1回まで、相応の介護報酬の算定が可能など、臨時的な取扱いが示されている。

休業補償については、医療従事者が新型コロナウイルスに感染し、労災認定された際に補償する「新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援制度」を令和2年11月からの実施を目標に準備中。対象を介護職員まで広げるか検討している。この制度については、医療機関が制度運営組織を団体契約者とする保険に加入し、勤務する医療従事者が業務で新型コロナウイルスに感染した場合、休業補償を、万一死亡した場合は死亡補償を行う。国の補助金や医療団体からの寄付金を活用し、負担しやすい保険料とする予定。感染によって労災認定され、休業から4日経過した場合、一時金として20万円、死亡時には500万円補償の予定。

3 新型コロナウイルス感染症に関連した介護福祉施設等への支援について（大分県）

<提案要旨>

介護福祉施設などでは医療スタッフが十分でなく新型コロナウイルスなど感染症への対応が困難なところが多いと思われる。日常の感染症対策・管理やクラスター発生時の対応など主に保健所が担うところであるがCOVID-19対応で保健所業務は逼迫しており地域で

の支援が求められると思われる。感染管理（指導など）や実際のクラスター発生時の対応など医師会として具体的な支援など行っておられる事例があれば教えていただきたい。

各県回答 提案事項(1)のとおり、クラスター発生時の人的支援体制の整備、感染者の入院調整が重要になるため、行政、関係団体と協議検討を行っているとの回答であった。

江澤日医常任理事 日医では新型コロナウイルス感染症に対応する特例的なJMAT「COVID-19 JMAT」を派遣しており、介護施設にも多数派遣した。令和3年度介護報酬改定では、感染症への対応力強化の観点から、これまで施設サービスのみで義務とされていた「感染症または食中毒の発生、まん延防止のための措置の実施」が、通所系・居住系・訪問系サービスでも義務化されるよう検討が行われている。

その他、都道府県が介護施設へ配布する消毒液などの一括購入、施設の消毒・洗浄、高齢障がい者向けの感染症予防の広報・啓発、簡易陰圧装置・換気設備設置の費用補助である「介護施設等における感染拡大防止対策に係る支援事業」が行われている。

また、小学校の臨時休校や、感染により出勤困難となった場合に職員が不足する社会福祉施設などに、他の施設から応援職員を派遣し、サービス提供を継続する「社会福祉施設等の介護職員等の確保支援事業」などが実施されている。

4 認知症サポート医の今後について（福岡県）

<提案要旨>

本県においては、市町村の認知症初期集中支援チームや認知症施策業務において、積極的に活動される医師もいる一方、認知症サポート医であることを公表せず、ほとんど活動していない、あるいは活動したくても何をしたらよいか分からないといった医師が多いの

も事実と思われる。今後も認知症サポート医の養成が継続して行われるとすれば、実数は増加しても、実働者数は変わらず、こうした状況は更に進んでいくものと思われる。各県において、上述のような認知症サポート医の役割を果たすための活動の場を設置するなど、工夫を凝らした施策や活動などされている事例があればお伺いしたい。また、今後の認知症サポート医の活動や位置付けについて、日医の見解をお伺いしたい。

各県回答 ほとんどの県が活動の場がなく、活動についても濃淡があるとの回答であった。大分県からは「認知症サポート医連絡協議会」を医師会内に設置しており、認知症サポート医の全員参加を原則に、地域の課題をテーマに研修を行い、連携強化につなげているとの回答があった。

江澤日医常任理事 認知症サポート医は令和元年時点で累計11,255人の修了者がおり、新オレンジプランの当初の目標数1万人をすでに達成し、年々増加している。また、平成30年4月からは、すべての市町村に設置されている「認知症初期集中支援チーム」の訪問件数も年々増加しており、実績だけを見ると徐々に推進されつつある。認知症高齢者の支援体制を構築するためには、かかりつけ医と認知症サポート医の連携が必要であり、日医としては、認知症サポート医にその推進役を期待している。各地域におかれては、フォローアップ研修を積極的に実施していただき、地域で実働できる認知症サポート医を養成していただきたい。

5 地域リハビリテーション体制の活性化とそれにかかわる医師会の役割について

(熊本県)

<提案要旨>

令和3年度介護保険制度改正における「一般介護予防事業等の推進方策に関する検討会」

の中で、地域リハビリテーション活動支援事業の在り方が述べられており、都道府県は、都道府県医師会などと連携し、リハビリテーション協議会や支援センターなどの設置・充実を図ることにより、地域の実情に応じた地域リハビリテーション支援体制を構築することが挙げられている。

リハの現場では、市町村が行う地域支援事業に対する支援の体制が異なるため、本会では昨年度から、郡市医師会の地域リハビリテーションの担当役員と協議を行ったが、地域リハに対する郡市医師会の取組みと広域支援センターとの連携体制の希薄さも感じており、今後、郡市医師会と市町村との連携が重要であることを痛感した。

地域リハビリテーション活動を推進するにあたっての、県医師会および郡市医師会の積極的な関わりについて、各県の現状および課題をお伺いしたい。

各県回答 沖縄県、大分県では連携体制は構築されておらず、その他の県では提案県と同様に支援体制が構築されていた。しかし医師会および医師は、地域リハビリテーション活動へ今後より一層関わりを深めていく必要があるとの回答であった。

江澤日医常任理事 地域包括ケアシステムの推進および医療・介護の連携の推進について、今後は地域でのリハビリテーション活動の充実が非常に重要になってくると感じている。適時・適切なリハビリテーションをどこでも提供できる体制の構築は必要であるが、自治体からは安定的なりハビリ専門職の供給が困難という声が挙がっている。こういった問題を解決するためにも、医師会が密接に関与していき、継続的なリハビリ専門職の派遣につなげていく必要がある。

今後、都道府県単位では、医師会など地域の関係者が参加する都道府県リハビリテーシ

ョン協議会を設置するとともに、そこでの意見をふまえて、リハビリテーション支援センターを指定、事業実施を推進する。市町村単位では、郡市区医師会が通いの場・地域ケア会議などへリハビリ専門職を派遣することへの相談窓口としての役割を担い、医療機関や介護施設などに協力を要請する中核機能を持たせるイメージである。医師会が関与することで、地域でのリハビリテーションが持続的な活動になり、医療機関に所属するリハビリ専門職が、こういった活動にどのように関わっているか、把握することにもつながる。

6 介護職員の処遇改善加算等について

(沖縄県)

<提案要旨>

介護保険では、処遇改善加算などで介護職員の給与アップに向けての原資が確保され、処遇を改善してきているが、慢性期の病院内で働く介護職員の給与アップの原資が確保できないまま、各病院、各法人は悩んでいると思われる。当法人では、医療保険部門(病院)と介護保険部門(老健やグループホームなど)での介護職員の給与を統一しているため、病院部門では介護保険での処遇改善加算による処遇アップ分を病院が負担して何とか確保している状況。各医療機関ではどのように行っているか。また今後診療報酬改定において、同様な加算が確保できるシステムは難しいのか。各県と日医の検討状況をお聞きしたい。

各県回答 各県とも提案に対し賛成の意見。医療と介護で現場により介護職員処遇に格差が生じるのは問題があるとの認識であった。また同一法人で医療機関と介護施設を運営している場合、医療機関で勤務する介護職員に支給するための増加分を法人が負担するケースが多いとの意見が多く挙げられた。

江澤日医常任理事 2017年12月に閣議決定された政府の「新しい経済政策パッケージ」

で、介護分野の賃金水準が他産業に比べて低く、これが離職率の高さにつながっているとの考えから、消費税増税に対応する2019年10月の改定で、介護サービス事業所で働く勤続10年以上の介護福祉士について、月額平均8万円相当の処遇改善を行うことを算定根拠に、公費1,000億円程度が投じられた。この恩恵を受けるのは介護現場の職員のみであり、医療現場の介護職員との格差が広がり、医療現場での介護職員の確保が難しくなっている。本問題の是正は長年の課題であるが、診療報酬と介護報酬の縦割り行政が障害となり協議が進んでいない。日医としては引き続き国に働きかけていく。

7 「訪問介護員」の人材確保について

(佐賀県)

<提案要旨>

近年、介護分野での人手不足が深刻化してきており、特に「訪問介護員」の不足が顕著である。現状において「訪問介護員」の多くが中高年以上の年代であり、今後ますます人手不足になると予想され、事業者の経営にまで影響を及ぼしている。「訪問介護」の介護報酬を増額させるなど、更なるインセンティブをつけて、「訪問介護員」を確保する仕組みが必要と考える。本件について、各県医師会のご意見をお伺いするとともに、日医の見解をお伺いしたい。

各県回答 各県とも介護人材の不足は深刻であり、介護報酬の増額、インセンティブが必要であるとの回答であった。大分県では、地域によっては「人」自体の数が少なく、他分野にも及ぶ問題であるとの意見が挙げられた。**江澤日医常任理事** 介護職員の年齢構成は30～49歳、訪問介護員については40～59歳が主流となっている。訪問介護員においては60歳以上が4割近くを占めており、高齢化が大きな問題となっている。また、有効求人倍

率で見ると、施設介護職員と比較して訪問介護員の倍率が高くなっており、2019年度時点で15.03倍となっている。在宅医療の体制では、「訪問診療」および「訪問看護」が根幹をなすことは言うまでもないが、身体介護および生活援助を行う「訪問介護」も重要な役割を

担っており、「訪問介護」がなくなると、在宅医療の体制は容易に破綻する。在宅医療および地域包括ケアシステムの体制構築のために重要な「訪問介護」を守っていくためにも、介護報酬の増額などを引き続き国に要望していく。

出席者－河野会長，濱田・山村副会長，

吉田・小牧・荒木・池井・金丸・石川・瀬ノ口・高木常任理事，

峰松・川野・佐々木・岩村・嶋本・園田・赤須・大塚・玉置・上山理事

医師資格証を持ちましょう

【医師資格証】はHPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は
5年ごとの
更新になりました

申請方法と
受け取り方法が
変更になりました

年間利用料が
廃止されました

2年ごとの
オンライン更新が
不要になりました

診療情報提供書等への HPKI電子署名に対応しています

医師資格証申請方法



初期診療に必須の2冊!



日常診療で遭遇する疾患・病態を網羅—— 具体的な「処方例」が好評!

今日の診療指針 **TODAY'S THERAPY 2021**

私はこう治療している

総編集 福井次矢 / 高木 誠 / 小室一成

- 「治療のポイント」「専門医へのコンサルト」「服薬指導・薬剤情報」など、実践的な見出しが充実
- 大好評の付録「診療ガイドライン(解説)」: 診療ガイドラインのエッセンスと注意点を簡潔に解説
- デスク判(B5) 頁2192 2021年 定価20,900円(本体19,000円+税10%) [ISBN978-4-260-04282-6]
- ポケット判(B6) 頁2192 2021年 定価16,500円(本体15,000円+税10%) [ISBN978-4-260-04283-3]



「図解 薬理作用」を刷新—— 新薬の作用メカニズムも一目でわかる!

治療薬マニュアル 2021

監修 高久史磨 / 矢崎義雄

編集 北原光夫 / 上野文昭 / 越前宏俊

- 後発医薬品、2020年収録の新薬を含む、ほぼすべての医療用医薬品を収録
- 「治療の基本戦略」「最新の動向」がわかる
- 付録のweb電子版には「薬物と飲食物・嗜好品との相互作用」も収録
- B6 頁2848 2021年 定価5,500円(本体5,000円+税10%) [ISBN978-4-260-04297-0]

✓ 両書籍とも購入特典・web電子版付

✓ セット購入により、web電子版で2冊がリンク



国内最大級の総合診療データベース



今日の診療プレミアム

Vol.30 DVD-ROM for Windows

『今日の診療指針』『治療薬マニュアル』をはじめ、定番の15冊を収録

詳しくは、『今日の診療』特設サイトへ **today'sdt.com**

●DVD-ROM版 2020年 価格85,800円(本体78,000円+税10%) [JAN4580492610469]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <http://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

日医インターネットニュースから

■インフル患者、大幅に少ない状況続く — 20年第47週 —

厚生労働省は11月27日、2020年第47週（11月16～22日）のインフルエンザ発生状況を公表した。定点当たり報告数は0.01だった。患者報告総数は46人（昨年同期は1万5390人）で、前年に比べ大幅に少ない状況が続いている。

（令和2年12月1日）

■医療提供体制が逼迫、「師走が正念場」 — 中川会長 —

中川俊男会長は12月2日の会見で、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数と重症者数が増加していることを受け、医療提供体制の逼迫度は右肩上がりだとして警鐘を鳴らした。

「これ以上感染者が急増すれば、同感染症とそれ以外の疾病への医療提供の両立が不可能になる」とし、すでにがんや心疾患、脳卒中の患者受け入れが難しくなっている地域もあるとした。「新たな年をいつものように迎えるためには、まさにこの師走が正念場になる」と述べ、あらためて感染拡大防止に協力を求めた。

患者が必要な医療を受けられないだけでなく、激務のために医療従事者が最前線から離脱する恐れも現実化していると指摘した。病床使用率の分母を確保病床数から即応病床数に変更することもあらためて提案し、「最新の現場の実態をリアルタイムで把握していくべきだ」と主張した。1日の菅義偉首相との会談でもこうしたことを伝え、菅首相が「全力で当たる」と応じたことも明らかにした。日医としても「全力で、リアルタイムで全国の現場との連携、調整に努めていく」と表明した。

政府に対しては、重症化率や致命率、国内外の流行状況、今後の拡大予測などを総合的に判断するよう求めた。個人の健康だけでなく、国民全体の健康や医療への負担、社会機能への影響も考慮して対応を検討すべきだと提言した。

国民には「新型コロナウイルスを正しく恐れ、

冷静に行動していこう」と呼び掛けた。国民の一部には警戒が緩んでいる人もいると指摘。緩んだ人から感染が拡大すれば高齢者や基礎疾患がある人には重大な脅威になるとした。「新型コロナの感染力の強さはインフルエンザに比べて脅威的だ」とし、感染防止策を取っていなければさらに拡大していた可能性もあったと警戒感を示した。

他方、「みんなで安心マーク」の発行数が1万7000件を超えたことを示し、健康に不安を感じた場合はマークが掲示されている医療機関を受診するよう呼び掛けた。

（令和2年12月4日）

■「医療従事者の疲労がピーク」 — 中川会長 —

中川俊男会長は12月9日の会見で、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が増加していることを受け、「医師、看護師等の医療従事者の心身の疲労もピークに達しており、大変困難な状況が生まれている」と危機感を示した。「処遇面や人材確保など早急な国の支援が必要だが、医療従事者にとって、今、何より一番の支援は感染者を極力増やさないことだ」と述べ、感染防止対策の徹底を呼び掛けた。

中川会長は出身地の北海道旭川市の状況に触れ、新規感染者数の増加で医療提供体制が危機に陥っているとした。同市の感染はクラスターを中心とした感染から市中感染に移ってきていると分析し、低温、乾燥が要因の一つと推察した。「旭川や北海道に限った話ではなく、（全国で）地域医療が瀬戸際に追い込まれる状況にある。どこの市町村でも起こる可能性が非常に高い」と述べた。

全国の感染状況については「移動歴のある、社会活動が活発な世代からの感染が多いことが明らかになっている」とし、あらためて「うつらない」だけでなく、「うつさない」にも気を付けてほしいと呼び掛けた。旅行などは「旅先では気が緩みがちになる」とし、「それが今で

なければならぬのかももう一度考えてみてほしい」と呼び掛けた。「日本国民の公衆衛生意識の高さと感染予防意識の高さを信じている」とも述べ、感染防止対策への協力を要請した。「感染者数が増え続けるのか、減少に転じるのか、この師走は正念場だ」と強調した。

(令和2年12月11日)

■ワクチン接種、医師や職員を優先 — コロナ分科会 —

12月11日の政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会では、同感染症ワクチンの接種順位の上位に位置付けた医療従事者の具体的な範囲を大筋で取りまとめた。医療提供体制を確保するため、病院や診療所で同感染症患者（疑い患者含む）に頻繁に接する機会のある医師や職員（診療科や職種は限定しない）などを対象とする。今後、パブリックコメントなどを経て来年早々の最終的な取りまとめを目指す。

そのほかの医療従事者の範囲は、▽薬局で同感染症患者に頻繁に接する機会のある薬剤師と登録販売者を含めたその他の職員▽同感染症患者を搬送する救急隊員等、海上保安庁職員、自衛隊職員▽自治体など同感染症対策業務で、同感染症患者に頻繁に接する業務をする人—とした。

分科会は、同感染症ワクチンの接種順位の考え方もあらためて示した。まず医療従事者から始め、次いで高齢者、基礎疾患がある人（高齢者以外）、高齢者施設などの従事者と続く。

それ以外の人に対しては、ワクチンの供給量などを踏まえ順次接種を進める方針だ。

高齢者施設等の従事者の範囲は、介護保険施設など高齢者が入所または居住する社会福祉施設で、利用者に直接接する職員とした。サービスの種類や職種は限定しない。

また、「高齢者と基礎疾患がある人の範囲」や「妊婦の接種順位」に関しては、厚生労働省審議会などでさらに検討する予定。

(令和2年12月15日)

■6歳未満の外来など、特例評価 — 厚労省事務連絡 —

厚生労働省保険局医療課は12月15日付で、「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その31）」を地方厚生局などに事務連絡した。小児（6歳未満の乳幼児）の外来診療で「特に必要な感染予防策」を講じて診療した場合、初再診にかかわらず医科で100点を算定できることなどを記載した。同日付で適用する。

事務連絡の内容は、14日に持ち回りで開いた中医協総会で了承された。「当面、2020年度中（21年2月診療分）までの措置とし、21年度（同年3月診療分以降）の取扱いは同年度予算編成過程において検討する」とした。

小児の外来診療では特に手厚い感染症対策が必要となるため、6歳未満の乳幼児の外来診療に対し医科100点、歯科55点、調剤12点をそれぞれ算定可能とした。患者または家族などに対し、院内感染防止の対応をしていると「十分に説明し、同意を得ること」と明記した。

また、同感染症から回復後も引き続き入院管理が必要が患者を受け入れた医療機関に対し、必要な感染予防策を講じることへの評価として、二類感染症患者入院診療加算（250点）の3倍に当たる750点を算定可能とした。患者または家族に対し、十分な説明を求めた。

(令和2年12月18日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁、月2桁、日2桁」の6桁の数字（半角）

医師協同組合だより

医師協同組合提携のメディカルカードについて

医師協同組合では、昭和61年より宮崎信販と提携して医療従事者(医師・看護師・事務職員等)の方を対象に地元百貨店(宮崎山形屋)などで割引があるクレジットカードを発行しています。是非お申込みをご検討ください。

盗難保険・海外旅行傷害保険自動付帯
年会費永年無料
ETCカード同時発行可能



キャッシュレス決済スタートは、ご優待特典満載で便利なメディカルカードで!

メディカルカードを使うと・・・

早い!!

コンビニなどの小額
決済も可能で小銭を
出す手間もナシ!

お得!!

メディカルカードの割引や
ポイント制度で
現金よりもお得!

安心!!

海外旅行傷害保険や
盗難保険が
自動付帯で安心!

さらに!!法人カードをまだお持ちでない方は各種経費決済を
法人カードへ移行すると、こんなに便利!

公私の区別が明確に

- ◎利用限度額は最高300万円。
- ◎交際費・接待費・その他法人扱い分を明確に管理できます。

事務処理の効率化

- ◎年会費無料で複数枚お申し込みいただけます。
- ◎毎月のカード利用明細で「いつ」「だれが」「どこで」「いくら使ったか」が一目瞭然になり、経理業務が効率的になります。

間接コストの削減

- ◎カード決済なら振込手数料も不要となり、払込作業の負担もありません。
- ◎ご利用に応じてMCポイントが貯まります。貯まったMCポイントはカード請求額への充当やギフトカード等に交換できます。

使ったら自動に貯まる！ポイント制度も充実！

MCポイントはカードショッピングご利用代金(お支払元金)500円ごとに1ポイントプレゼント！
MCポイントが250ポイント以上貯まると以下の商品と交換いただけます。

250ポイント		500ポイント			
日赤宮崎県支部 への寄付	ポイントde入金	商品券引換券	JCBギフトカード	クオカード	図書カード
寄付金 (500円分)	ポイントde入金 (500円分)	商品券引換券 (500円分)	JCBギフトカード (1,000円分)	クオカード (1,000円分)	図書カード (1,000円分)

メディカルカードのご優待特典・割引を一部ご紹介！

MC Premium Desk

メディカルカード会員様に贈る特別で希少なサービスです。
グルメ、宿泊、ペット宿泊、ゴルフ、旅行…
非日常を愉しむ上質なサービスをご提供いたします。

施設については専用サイトにてご確認ください。
https://www.jcbtravel.co.jp/jcbt_client/miyazaki_shinpan/index.html

ご予約・お問い合わせ ☎ **06-7639-1423**

サービス運営会社：JCBトラベル 営業時間/10:00～18:00(日・祝・年末年始休)

※ご予約はJCBトラベルが行っております。予めご了承ください。
※ご予約の際にはメディカルカード会員様である旨をお伝えください。
※本案内の掲載写真はすべてイメージです。

割引特典 宮崎山形屋・日南山形屋同時間催し

メディカルカードをご利用いただくと

口座引落時 **5% OFF** (注①)

※大塚台店・平和台店含む。食品類は対象外。
※特別ご招待会開催時は7%OFFとなります。

宮崎観光ホテル

メディカルカードをご利用いただくと
ホテル内対象レストランで…

口座引落時 **10% OFF** (注③)

対象店舗
一木・草・はな花・沙都・ダイヤモンドージュ・蓮花

全国の阪急百貨店・阪神百貨店

メディカルカードを
ご利用いただくと 口座引落時 **3% OFF** (注②)

みやちく

メディカルカードを
ご利用いただくと 口座引落時 **3% OFF** (注③)

注①：口座引落時に宮崎信販より割引いたします。
注②：一部商品によっては割引できないものがあります。商品券・たばこ等はカードが使えません。
注③：翌月1回払いでのご利用が対象となります。

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

医師国保組合では、下記の保健事業を実施しております。新型コロナウイルス感染症の予防に十分ご注意のうえ、ぜひご利用ください。

※実施期間および接種期間：令和3年3月末日まで

1 健康診断（特定健診）・特定保健指導

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者 ※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は、年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方も含む）

※年度中に40歳になる方～74歳の方（75歳になる方は誕生日の前日まで）は、特定健診対象者です。

◆日曜日の集団健診日程

<宮崎市郡医師会病院 健診センター>

令和3年	2月7日・2月21日・3月7日・3月14日
------	-----------------------

※2月7日の胃内視鏡検査は定員に達しました。

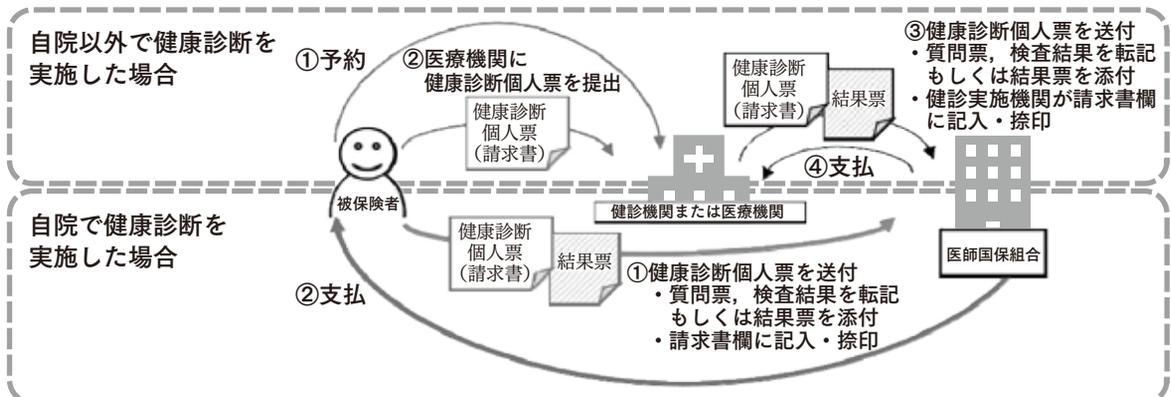
ご予約は当組合（TEL 0985-22-6588）へご連絡ください。

※平日・土曜日のご予約・お問い合わせは健診センター（TEL 0985-77-9108）へお願いします。

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院でも実施しても当組合に請求することができます。

自家健診についてご不明な点がございましたら、当組合までお問い合わせください。



特定保健指導**◆対象者**

対象者には、当組合より利用券を送付します。

特定保健指導のご案内が届いた方は必ず受けてください。

※自己負担はありません。

2 その他保健事業

請求方法などの詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業のご案内」、または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

- 1) 胃・大腸内視鏡検査の補助
- 2) 脳ドックなどの補助
- 3) 肺炎球菌ワクチン接種補助
- 4) インフルエンザワクチン接種補助
- 5) 低線量ヘリカルCT肺がん検診
- 6) 乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
- 7) 歯科健康診査

申請書は、
当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。
<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

医師国保からのお知らせ**<健康保険適用除外申請の手続きについて>**

医師国保にすでにご加入の方は、事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも、健康保険適用除外の承認を受けることにより、引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは、事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので、まずは当組合までお問い合わせください。

<被保険者の資格喪失届について>

世帯内のご家族が協会けんぽなどの他の医療保険に加入される場合には、資格喪失届が必要です。組合員は事由発生から14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

(問合せ先) 宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地
TEL : 0985-22-6588 FAX : 0985-27-6550



令和2年11月10日(火) 第10回全理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 刑務所・少年院等の常勤医師募集について

福岡矯正管区第一部長等が来会し、被収容者への診察や健康管理などを行う医師が慢性的に不足していることから、常勤医師の確保に向けた協力要請があった旨の報告が行われ、採用条件の周知などに協力することが承認された。

2. 保険医指導医の推薦について

九州厚生局医事課長等が来会し、指導を行う保険指導医や指導医療官が慢性的に不足していることから、医師の確保に向けた協力要請があった旨の報告が行われ、採用条件の周知などに協力することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①県公害健康被害認定審査会委員の推薦について

→公害による健康被害の認定や障害程度の決定などを行う審査会で、委員の任期満了にともなう推薦依頼があり、環境公害問題担当の峰松理事を推薦することが承認された。

②県メディカルコントロール協議会委員の推薦について

→救急業務の高度化を推進することを目的に設置される協議会で、役員改選にともなう推薦依頼があり、池井常任理事を推薦することが承認された。

4. 11/26(木) (県庁) 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会について

6 医療機関を対象に行われる新規個別指導で、岩村理事を立会人として派遣することが承認された。

5. R3.1/4(月) (宮観ホテル) 2021年寿新年賀詞交歓会のお知らせについて

今年度は新型コロナウイルス感染症防止対策により、原則1事業所1名となっていることから、代表して河野会長が出席することが承認された。

6. R3.3/6(土) 令和2年度日本医師会医療情報システム協議会の開催について

「つながれ、輝け、医療ICT」をメインテーマにWeb開催される協議会で、荒木常任理事と嶋本理事が出席することが承認された。

7. R3.1/23(土) 九州医師会連合会救急・災害医療担当理事連絡協議会及び第5回九州ブロック災害医療研修会の開催について

九医連担当の本県が企画する協議会および研修会で、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会議時間の縮小と参加人数を制限して開催することが承認された。

8. 生活情報紙「きゅんと」への寄稿文のお願いについて

毎月2回、主に女性およびファミリー層向けに発刊している生活情報誌で、専門分科医会などの協力を得ながら、健康教育の一環として「HEALTH 医師の健康コラム」執筆に協力することが承認された。

(報告事項)

1. 10月末日現在の会員数について

2. 11/6(金) (県企業局) 県医療介護推進協議会について
 3. 11/6(金) (県企業局) 県医療審議会について
 4. 11/10(火) (県医) 九医連常任委員会について
 5. 10/28(水) (県庁) 県新型コロナウイルス感染症対策協議会について
 6. 10/29(木) (県医) 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議について
 7. 10/31(土) (県医) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会について
 8. 10/30(金) (県医) 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会について
 9. 11/5(木) (県企業局) 県自殺対策推進協議会について
 10. 11/4(水) (県庁) 県個人情報保護審議会について
 11. 11/4(水) (県防災庁舎) 県情報化推進有識者会議について
 12. 11/10(火) (県医) 治験審査委員会について
 13. 10/30(金) (県防災庁舎) 県糖尿病・慢性腎臓病(CKD)対策検討会について
 14. 11/1(日) eレジフェアについて
 15. 10/29(木) (県医) 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会について
 16. 10/29(木) (県医) 小児在宅医療に関する人材養成講習会について
 17. 11/5(木) (県庁) 県高齢者サービス総合調整推進会議について
 18. 11/5(木) (県庁) 県高齢者サービス総合調整推進会議認知症施策部門について
 19. 11/9(月) (県医) 在宅医療協議会研修会について
 20. 10/31(土) (県医) 産業医研修会(実地)について
 21. 10/28(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
 22. 11/4(水) (県防災庁舎) 県特定行為に係る看護師の研修制度推進検討会について
 23. 11/3(火)・8(日) (県医) 日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会について
 24. 11/5(木) (宮大医学部) 宮大医学部医の倫理委員会について
- 医師連盟関係
(議決事項)
1. 11/17(火) (東京) 自見はなこ参議院議員「次世代の医療政策を考える会」開催のご案内について
自見はなこ議員が講師となり「新型コロナウイルス感染症対策と今後の日本の医療政策」と題して行われる国政報告会で、会の開催とライブ配信の周知に協力することが承認された。
 2. 12/2(水) (東京) 「参議院議員 松下新平政経セミナー」開催のご案内について
論語塾講師の安岡定子先生を講師に迎え開催される政経セミナーで、協力することが承認された。
 3. 12/7(月) (東京) 令和2年武見セミナーのご案内について
武見敬三議員の成長を応援すべく開催される支援集会で、協力することが承認された。
 4. 12/7(月) (東京) 衆議院議員 江藤拓「希望ある未来を拓く」政経セミナーについて
江藤拓議員を叱咤激励するとともに、更なる飛躍を期して開催される政経セミナーで、協力することが承認された。
 5. 12/21(月) (宮崎) 衆議院議員「武井俊輔政経セミナー」開催のご案内について
武井俊輔後援会優俊会が企画する政経セミナーで、協力することが承認された。

令和2年11月24日(火) 第14回常任理事協議会**医師会関係
(議決事項)****1. 宮崎県医師会役員等報酬支給について**

県医師会役員等報酬等規程に基づき、12月1日に28名の役員などに支給することが承認された。

2. 職員の冬季手当支給について

宮崎県人事委員会の勧告などを参考に、職員給与規程等に基づき、期末・勤勉手当を12月10日に支給することが承認された。

3. 管理職調整手当の支給について

管理職調整手当の支給に関する規程に基づき、期末勤勉手当にあわせて支給することが承認された。

4. 本会外の役員等の推薦について

①第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会「宿泊・衛生専門委員会」委員の推薦について
→1年延期され2027年に本県で開催する国民体育大会(2023年から「国民スポーツ大会」)などで、準備委員会の中に設置される宿泊・衛生専門委員会の中の委員に、山内事務局長を推薦することが承認された。

5. 後援・共催名義等使用許可について

①「市民公開講座」ご後援のお願いについて
→新型コロナウイルス感染症第3波の流行に備え、「新しい病院の受診方法」などの周知を中心に看護巡回講座を実施するもので、名義後援を行うことが承認された。

②R3.1/23(土)(県赤十字血液センター)
「2020年度第8回宮崎県輸血懇話会」における名義後援について
→適正な輸血医療の推進と血液事業の活性化を図ることを目的に、輸血に携わ

る医療従事者を対象に開催される懇話会で、名義後援を行うことが承認された。

6. R3.1/27(水)(県看護等研修センター) 令和2年度新人看護職員研修推進協議会開催に伴う委員の派遣について

令和2年度の研修事業の報告と令和3年度の研修について協議する会で、委員の瀬ノ口常任理事を派遣することが承認された。

7. 12/17(木)(県防災庁舎)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の個別指導の実施に係る立会いについて

4医療機関を対象に行われる個別指導で、小牧常任理事を立会人として派遣することが承認された。

8. 国保審査員の推薦について

選任基準に従い、本会および郡市医師会並びに専門分科医会から出された委員、保険医代表15名、保険者代表14名、欠員にともなう公益代表候補2名を推薦することが承認された。

9. R3.1/19(火)(日医) 令和2年度第3回都道府県医師会長会議の開催について

討議テーマを「新型コロナウイルス感染症に対する今後の医療提供体制」および「診療報酬改定・介護報酬改定」として開催する会で、テレビ会議システムを利用して河野会長が出席することが承認された。

10. e-Tax周知用チラシ等の配付依頼について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、確定申告時の会場の混乱などを避けることなどを目的にe-Taxなどの利用を促進するもので、まずは病院への資料配付を希望していることから、病院部会のメーリングリストなどを用いて、周知活動に協力することが承認された。

11. 九医連関係について

①R3.2/13(土)(宮観ホテル)九州医師会連合会令和2年度第2回各種協議会の提

案事項について

→地域医療，医療保険，介護保険の3つの対策協議会と，新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から出席者を制限することが九医連常任委員会の決定している各種協議会で，提案事項については，担当県でもあることから九州各県の回答をふまえ調整することが承認された。

12. 12月・R3.1月の行事予定について

役員会を含めた12月および1月の行事予定が承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

- 2. 11/11(水) (支払基金) 支払基金幹事会について
- 3. 11/17(火) (県医) 日医理事会について
- 4. 11/17(火) (県医) 都道府県医師会長会議について
- 5. 新型コロナウイルス感染症を疑う患者を受け入れる医療機関の登録及び救急医療体制の構築について
- 6. 11/16(月) (県医) 自殺対策うつ病研修会について
- 7. 11/20(金) (県医) 県医中間監事監査について
- 8. 11/17(火) (県医) 医療安全対策セミナーについて

- 9. 11/11(水)・19(木) (県医) 広報委員会について
- 10. 11/13(金) (県看護協会) 県訪問看護推進協議会について
- 11. 11/19(木) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会について
- 12. 11/17(火) (宮大医学部) 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会について
- 13. 11/19(木) (県医) 生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)について
- 14. 11/13(金) (県医) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について
- 15. 11/13(金) (ホテルメリージュ) 宮崎地方労働審議会について
- 16. 11/14(土) 全国学校保健・学校医大会について

医師連盟関係

(議決事項)

- 1. 12/8(火) (宮観ホテル) 自由民主党宮崎県支部連合会と宮崎県経済団体協議会との意見交換会並びに懇談会の開催について
意見交換会と懇談会の2部構成になっている会で，諸行事と重なるため意見交換会のみ河野委員長が出席することが承認された。

(報告事項)

- 1. 11/17(火) (県医) 参議院議員自見はなこ「次世代の医療政策を考える会」について

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	b	c	a	b, d	e	e	e	c	a

県 医 の 動 き

(12月)

1	<p>治験審査委員会 (Web会議) (荒木常任理事他)</p> <p>第15回常任理事協議会 (会長他)</p>	12	<p>生活習慣病検診従事者研修会 (肺・乳・胃・大腸がん検診研修会) (TV会議) (金丸常任理事)</p>
2	<p>全国医師国保組合連合会国保問題検討委員会 (Web会議) (秦理事長)</p>	15	<p>日医理事打合会 (日医TV会議) (会長) 日医理事会 (日医TV会議) (会長)</p>
4	<p>日医公衆衛生委員会 (Web会議) (吉田常任理事)</p> <p>産業医部会総会・研修会 (TV会議) (会長他) 医師国保組合理事会 (秦理事長他)</p>	16	<p>日医地域包括ケア推進委員会 (Web会議) (石川常任理事)</p> <p>県スポーツメディカルランドみやざき検討委員会 (仮称) (会長) 広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他)</p>
5	<p>日医家族計画・母体保護法指導者講習会 (日医TV会議) (嶋本理事他)</p>	17	<p>社会保険医療担当者の個別指導 (小牧常任理事)</p> <p>日医学術推進会議 (日医TV会議) (会長) 県生活習慣病検診管理指導協議会胃がん部会 (金丸常任理事)</p>
7	<p>県保険者協議会 (濱田副会長他) 高次脳機能障がい講演会 (Web会議) (帖佐理事)</p> <p>県との妊婦健診等に関する協議会 (濱田副会長他)</p>	22	<p>県個人情報保護審議会 (荒木常任理事) 医協理事会 (河野理事長他)</p> <p>第11回全理事協議会 (会長他) 医協理事・運営委員合同協議会 (河野委員長他)</p>
8	<p>第16回常任理事協議会 (会長他)</p>	23	<p>労災診療指導委員会 (川野理事)</p> <p>県医療審議会法人等部会 (濱田副会長他) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本理事)</p>
9	<p>保育支援事業スキルアップ研修会 (荒木常任理事)</p> <p>支払基金幹事会 (会長)</p> <p>県認知症高齢者グループホーム連絡協議会全体研修会 (Web会議) (石川常任理事) 宮崎市との妊婦健診等に関する協議会 (濱田副会長他)</p>	24	<p>医師会立看護学校担当理事連絡協議会 (TV会議) (会長他)</p>
10	<p>日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 (Web会議) (峰松理事)</p> <p>県産婦人科医会全理事会 (Web会議) (嶋本理事他)</p>	25	<p>仕事納め式 (会長)</p> <p>都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議) (濱田副会長他)</p>
11	<p>日医勤務医委員会 (Web会議) (金丸常任理事)</p> <p>(日医) 日医医療秘書認定試験委員会 (池井常任理事)</p> <p>広報委員会 (Web会議) (荒木常任理事他)</p>		

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和2年12月4日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 7人

1) 男性医師求職登録数 7人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
内 科	4	3	1
麻 酔 科	1	0	1
精 神 科	1	0	1
老 健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常 勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 78人 (人)

	男性医師	女性医師	合 計
令 和 2 年 度	4	0	4
平成16年度から累計	57	21	78

3. 求人登録 99件 354人 (人)

募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常 勤	非常勤
内 科	108	85	23	消 化 器 外 科	3	2	1
外 科	27	22	5	乳 腺 外 科	3	3	0
整 形 外 科	29	23	6	健 診	8	5	3
精 神 科	14	13	1	泌 尿 器 科	4	2	2
脳 神 経 外 科	12	8	4	産 婦 人 科	1	1	0
循 環 器 科	11	8	3	検 診	3	1	2
消 化 器 内 科	15	13	2	皮 膚 科	5	2	3
麻 酔 科	14	10	4	婦 人 科	2	2	0
眼 科	10	8	2	呼 吸 器 外 科	4	3	1
放 射 線 科	11	10	1	人 工 透 析	7	5	2
小 児 科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼 吸 器 科	3	3	0	臨 床 病 理 科	1	1	0
在 宅 診 療	2	2	0	形 成 外 科	2	1	1
総 合 診 療 科・内 科	5	4	1	診 療 科 目 不 問	3	3	0
神 経 内 科	8	6	2	緩 和 ケ ア	1	1	0
呼 吸 器 内 科	10	9	1	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	そ の 他	8	7	1
救 命 救 急 科	9	9	0	合 計	354	281	73

求人登録者（公開）

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さから病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮崎市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230209	財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ 東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼,皮,放, 腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤
230162	一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都城市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都城市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都城市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延岡市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都農町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内	1	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	2	常勤
230198	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
230207	介護老人保健施設 みどりの丘	日南市	内	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小林市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡, 賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和2年12月4日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ:2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地:2,280.83㎡ (691.16坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり(20台)	所有者:西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地:1,098.23㎡ (322.79坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 2階 96.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) ※駐車場あり(29台)	所有者:西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地:1,991.34㎡ (603.43坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり(30台)	所有者:(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地:4,449㎡ (1,348.18坪) 建物:鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり(70台)	所有者:児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地:1,654.58㎡ (501.38坪) 建物:鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり(50台)	所有者:(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地:875㎡ (265.15坪) 建物:木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり(20台)	所有者:西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoun@mizazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和2年12月22日

1		月			
1	金	(年始休業)	19 火	12:00 日医理事打合会 (日医TV会議)	↑ 国 保 審 査 ↓
2	土	(年始休業)		12:30 日医理事会 (日医TV会議)	
3	日	(年始休業)		14:20 都道府県医師会長会議 (日医TV会議)	
4	月	13:00 新年賀詞交歓会 14:30 仕事始め式		16:30 日医連執行委員会 (日医TV会議) 17:00 医療安全対策セミナー (TV会議) 19:00 医療安全対策セミナー (TV会議)	
5	火	18:00 治験審査委員会 (Web会議) 19:00 第17回常任理事協議会	20 水		
6	水		21 木	19:00 医師国保組合理事会	
7	木	14:00 日医定款・諸規程検討委員会 (Web会議)	22 金	19:00 県外科医会理事会 (Web会議)	
8	金	14:00 県高齢者サービス総合調整推進会議	23 土	15:00 九州ブロック災害医療研修会 (Web会議) 15:00 県歯科医師会在宅歯科医療推進事業多職種連携会議 17:10 九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会 (Web会議)	
9	土		24 日		
10	日		25 月	19:00 広報委員会	
11	月	(成人の日)			
12	火	19:00 第18回常任理事協議会	26 火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:30 医協理事会 19:00 第12回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	
13	水	13:00 県歯科保健推進協議会 16:00 支払基金幹事会	27 水	13:00 医師国保組合県の指導監査 13:30 宮大経営協議会・学長選考会議 15:00 労災診療指導委員会	
14	木	13:00 社会保険医療担当者の個別指導 19:30 県産婦人科医会常任理事会	28 木		
15	金	19:00 広報委員会	29 金	15:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 (Web会議) 15:00 日医予防接種・感染症危機管理対策委員会 (Web会議) 19:00 オンライン資格確認に関する説明会 (TV会議・Web会議)	
16	土	13:00 県がん診療連携協議会5専門部門合同研修会 (Web会議) 14:30 産業医研修会 (TV会議)	30 土	13:00 県警察音楽隊定期演奏会 15:00 県産婦人科医会冬期総会	
17	日	9:00 日医JMAT研修 (基本編) (Web会議) 9:50 宮崎JRAT研修会	31 日		
18	月	17:00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議)			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

宮崎県医師会行事予定表

令和2年12月22日

2		月			
1	月	19:00 健康スポーツ医学セミナー	15 月	19:00 介護保険に関する主治医研修会 (Web会議)	
2	火	17:30 治験審査委員会 (Web会議) 18:30 第13回全理事協議会 19:00 各郡市医師会長協議会	16 火	13:00 (日医) 日医理事打合会 14:00 (日医) 日医理事会 17:00 都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会 (日医TV会議)	
3	水				
4	木	14:00 日医学術推進会議 (日医TV会議) 19:00 県麻しん・風しん対策推進会議・ 予防接種広域化検討会議	17 水	19:00 広報委員会	↑ ↑ 国 保
		19:00 医師協同組合事業承継セミナー (Web会議)	18 木	15:00 (日医) 日医医療秘書認 定試験委員会 19:30 県産婦人科医会常任理事会	
5	金	19:00 認知症サポート医・かかりつけ医 スキルアップ研修会 (TV会議) 19:00 医師国保組合同定例事務監査	19 金	19:00 広報委員会	社 審 保 査
			20 土	(大分)九州地区医師国保 組合連合会全体協議会	
6	土		21 日		審 ↓
7	日	13:00 日医医療秘書認定試験	22 月		査 ↓
8	月	14:00 県献血推進協議会	23 火	(天皇誕生日)	
9	火	18:30 医協理事会 19:00 第19回常任理事協議会	24 水	15:00 労災診療指導委員会 18:00 九州地方社会保険医療協 議会宮崎部会	
10	水	16:00 支払基金幹事会	25 木	13:00 日医会員の倫理・資質向上委員 会 (Web会議) 19:00 創立132周年記念医学会 (Web 会議)	
11	木	(建国記念の日)			
12	金	15:00 県ナースセンター事業運営委員会	26 金	15:00 宮崎産業保健総合支援センター 運営協議会 18:30 県外科医会冬期講演会 (Web 会議) 19:00 医師国保組合理事会	
13	土	14:00 九医連常任委員会 (Web会議) 15:00 九医連第2回各種協議会 (Web 会議)			
14	日		27 土		
※都合により、変更になることがあります。 行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。			28 日		

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となったものがあります。

【中止】や【延期】の表示のないものについても，参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いします。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第148回宮崎心臓病 研究会 1月5日(火) 18:20~19:30 宮崎市郡医師会病 院3階大会議室2 (心臓病センター カンファ室)	電子カルテを活用した静脈血栓症診療向上の試み 九州大学医学研究院 循環器内科学 講師 日浅 謙一	7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 ゲルベ・ジャパン(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業 医研修会 1月14日(木) 19:00~21:00 県医師会館	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 串間市民病院 院長 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡内科医会 学術講演会 (Web講習会) 1月15日(金) 19:00~20:00 宮崎観光ホテル西 館10階「スカイホ ール」 ※受講はWebのみ	週1回GLP-1受容体作動薬を活用した糖尿病治療戦略 ～チーム医療と連携を考える～ 二田哲博クリニック 姪浜 院長 下野 大	10 (0.5) 67 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 大日本住友製薬(株) 日本イーライリリー(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第87回宮崎大学眼科研究会 1月16日(土) 15:00~19:00 宮崎観光ホテル東館3階「翠耀の間」 参加費:2,000円	病態から考える加齢黄斑変性の長期マネジメント 名古屋市立大学 眼科学教室 准教授 安川 力	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806 ◇共催 バイエル薬品(株)
	OCT-Angiographyの日常診療への応用 信州大学 眼科学教室 教授 村田 敏規	36 (1.0)	
医療安全対策セミナー (宮崎県医師会医療安全対策研修会)【TV会議】 1月19日(火) 17:00~20:30 県医師会館【TV会議場:都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 南那珂, 西諸 (2回目のみ)】	職場におけるハラスメント ~職場におけるセクハラ・パワハラ事例を紹介しその問題点と対策について解説~ SOMPOリスクケアマネジメント 医療・介護コンサルティング部 上級コンサルタント 能村 仁美	7 (1.5)	◇主催 ※宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100 ◇共催 宮崎県医師会
第149回宮崎心臓病研究会 (Web講習会) 1月19日(火) 19:00~20:15 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	Ivabradineとβ blockerの最適な併用法を考える 東京大学医学系研究科 重症心不全治療開発講座 特任准教授 波多野 将	15 (0.5)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 小野薬品工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
宮崎県医師会産業医研修会 1月21日(木) 19:00~21:00 県医師会館	この1年間、産業保健はどのように動いたか 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会: 2単位	3 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
		7 (0.5)	
		8 (0.5)	
		9 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
南那珂医師会生涯 教育医学会 (Web講習会) 1月22日(金) 18:50~20:00 田辺三菱製薬株式 会社宮崎営業所 ※受講はWebのみ	アレルギー性鼻炎に対する外科的アプローチ 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 助教 後藤 隆史	73 (1.0)	◇主催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 ◇共催 田辺三菱製薬(株)
2020年度第8回宮 崎県輸血懇話会 (Web講習会) 1月23日(土) 13:30~16:00 宮崎県赤十字血液 センター ※受講はWebのみ	輸血副作用の発生状況について 九州ブロック血液センター 学術情報課 課長 浅尾 洋次	9 (0.5)	◇主催 ※宮崎県赤十字血液センター ☎0985-50-3100 ◇後援 宮崎県 宮崎県医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県看護協会 宮崎県臨床検査技師会 日本輸血・細胞治療学会九州支部
	COVID-19流行下でのがん治療 宮崎県立宮崎病院 内科兼医療情報科 内科医長兼医療情報科医長 姫路 大輔	8 (1.0)	
日本泌尿器科学会 第92回宮崎地方会 1月23日(土) 15:00~18:00 ホテルJALシティ 宮崎2階「オルソ」 参加費:3,000円	宮崎大学医学部泌尿器科教室における2020年の臨床統計 宮崎大学医学部 泌尿器科 医員 伊藤 歌織	64 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部泌尿器科 ☎0985-85-2968
	他	65 (1.0)	◇共催 武田薬品工業(株)
		66 (1.0)	
西都市西児湯医師 会学術講演会 (Web講習会) 1月25日(月) 19:00~20:10 西都市西児湯医師 会館 ※受講はWebのみ	まちをつなぐ, いのちをつなぐ 医療法人あつきこころ大貫診療所 理事長・院長 榎本 雄介	13 (0.5) 80 (0.5)	◇主催 ※西都市西児湯医師会 ☎0983-43-1687 ◇共催 西都市 西都市西児湯内科医会 ◇後援 西都市社会福祉協議会 西都市北地区地域包 括支援センター 西都市南地区地域包 括支援センター

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第69回宮崎県耳鼻咽喉科懇話会臨床セミナー 1月28日(木) 18:50~20:45 宮崎観光ホテル東館2階 参加費:1,000円	耳管開放症の診断と治療 ～抗アレルギー薬から耳管ピンまで～ 兵庫医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師 大田 重人	38 (0.5)	◇主催 日本耳鼻咽喉科学会 宮崎県地方部会 ◇共催 ※杏林製薬(株) ☎0985-27-3301
	多職種チームによる嚥下障害診療とその問題点:誤嚥性肺炎への対応も含めて 長崎大学歯医薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 教授 熊井 良彦	47 (0.5) 49 (0.5)	◇後援 宮崎県耳鼻咽喉科医会
日向市東臼杵郡医師会学術講演会不眠症Webセミナー(Web講習会) 1月28日(木) 19:00~20:00 ホテルベルフォート日向 ※受講は現地またはWeb	不眠症治療～レンボレキサントの持つポテンシャル～ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 教授 石田 康	20 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 ◇共催 エーザイ(株)
第30回ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー(Web講習会) 1月30日(土) 15:30~18:30 MRTmicc 3階エメラルドホール ※受講はWebのみ	失敗から学ぶ ～私が経験した脊椎外科診療における誤診～ 琉球大学医学研究科 整形外科学講座 教授 西田 康太郎	59 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎脊髄疾患セミナー ◇共催 第一三共(株) ☎0985-23-5710
	難治骨折(感染と偽関節)の治療 福島県立医科大学 外傷学講座 教授 竹中 信之	61 (0.5) 62 (0.5)	
	脊椎由来の疼痛の治療 鹿児島大学医学部 名誉教授 三愛クリニック 医師 米 和徳	60 (0.5) 63 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会健康 スポーツ医学セミ ナー(Web講習会) 2月1日(月) 19:00~20:10 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	新型コロナウイルス感染症とスポーツ 宮崎大学医学部 内科学講座免疫感染症学分野 教授 岡山 昭彦 他	8 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会 2月4日(木) 19:00~21:00 延岡市医師会病院	この1年間、産業保健はどのように動いたか 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第4回九州・山口 胎児心臓研究会in 宮崎(Web講習会) 2月6日(土) 14:00~17:00 宮崎市 ※受講はWebのみ	Tricifyを用いた胎児超音波検査の遠隔診断サポートの 試み 宮崎大学医学部 産婦人科 助教 藤崎 碧 他	12 (0.5)	◇主催 九州・山口胎児心臓研究会 (連絡先) GEヘルスケアジャパン(株) ☎070-1597-7165
参加費：1,000円	きれいな四腔断面の出し方 福岡市立こども病院 胎児循環器科 医師 漢 伸彦	1 (0.5)	
	見逃されそうだけれども4CVで変化に気付きたい心疾患 鹿児島大学医学部 産科婦人科 助教 新谷 光央	71 (0.5)	
	四腔断面の異常を来す胎児心疾患と診断のポイント 九州大学病院 小児科 助教 永田 弾	72 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
第192回宮崎県眼科 医会講習会 2月6日(土) 16:30~19:00 宮崎観光ホテル西 館8階ブリリアン トホール 参加費:3,000円	どげんかせんといかん, 緑内障点眼薬選択 原眼科病院 院長 原 岳	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬(株)
	ゲノム医療の最前線 ~網膜ジストロフィから滲出性加齢黄斑変性まで~ 名古屋大学医学系研究科 眼科学 教授 西口 康二	36 (1.0)	
令和2年度介護保 険に関する主治医 研修会 (Web講習会) 2月15日(月) 19:00~22:00 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	主治医意見書における認知症判断 若草病院 院長 白土 俊明	29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	心不全・大腿骨頸部骨折・認知症を中心とした多種疾患 にちなんファミリークリニック 院長 飛松 正樹	80 (0.5)	
	末期がん患者の主治医意見書 宮崎ホームケアクリニック 院長 長澤 伸二	81 (0.5)	
	総合討論 クリニックうしたに 院長 牛谷 義秀 他	80 (1.0)	
宮崎県医師会産業 医研修会 2月16日(火) 14:00~16:00 県医師会館	生活支援機器, リハビリ支援機器等の安全性に関する 配慮について 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 岡部 康平	10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
	生涯研修の専門研修会: 2単位	14 (0.5)	
		60 (0.5)	
		62 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 2月18日(木) 14:00~16:00 県医師会館	職場でのアルコール依存症に対する対策 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子 生涯研修の専門研修会：2単位	9 (0.5) 11 (0.5) 17 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月18日(木) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医 師会館	この1年間、産業保健はどのように動いたか 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 矢崎 武 生涯研修の更新研修会：2単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 2月19日(金) 19:00~21:00 県医師会館	精神科産業医から見た定期健康診断の重要性(Ⅱ) 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和2年度宮崎県 外科医会冬季講演 会(日本臨床外科 学会地方会) (Web講習会) 2月26日(金) 18:30~20:30 県医師会館 ※受講は現地また はWeb	十二指腸潰瘍瘢痕狭窄に起因する食道破裂による敗血 症性ショック外科的一救命例 宮崎大学医学部 外科学講座 内勢 由佳子 他	15 (2.0)	◇主催 宮崎県外科医会 (連絡先) 宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 (Web講習会) 3月15日(月) 19:00~20:00 小林市地域・観光交流 センターKITTO小林 ※受講は現地また はWeb	令和時代の心不全治療を考える ～新たな選択肢 ダパグリフロジンをどう活かすか～(仮) 大分大学医学部 循環器内科・臨床検査診断学講座 教授 高橋 尚彦	19 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 ◇共催 西諸内科医会 小野薬品工業(株) アストラゼネカ(株)
第4回宮崎外傷研 究会 3月29日(月) 18:30~20:00 宮崎大学医学部附属病 院臨床講義室205教室 参加費:500円	多発外傷患者の骨折におけるダメージコントロールの 適応と私の治療戦略～血清乳酸値を中心に～ 立正佼成会附属佼成病院 手術部長 大畑 徹也	10 (0.5) 57 (0.5)	◇主催 宮崎外傷研修会 ◇共催 アステラス製薬(株) 科研製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986

日本医師会生涯教育カリキュラム (2016)

カリキュラムコード (略称:CC)

1: 医師のプロフェッショナルリズム	29: 認知能の障害	57: 外傷
2: 医療倫理: 臨床倫理	30: 頭痛	58: 褥瘡
3: 医療倫理: 研究倫理と生命倫理	31: めまい	59: 背部痛
4: 医師-患者関係とコミュニケーション	32: 意識障害	60: 腰痛
5: 心理社会的アプローチ	33: 失神	61: 関節痛
6: 医療制度と法律	34: 言語障害	62: 歩行障害
7: 医療の質と安全	35: けいれん発作	63: 四肢のしびれ
8: 感染対策	36: 視力障害, 視野狭窄	64: 肉眼的血尿
9: 医療情報	37: 目の充血	65: 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
10: チーム医療	38: 聴覚障害	66: 乏尿・尿閉
11: 予防と保健	39: 鼻漏・鼻閉	67: 多尿
12: 地域医療	40: 鼻出血	68: 精神科領域の救急
13: 医療と介護および福祉の連携	41: 嘔声	69: 不安
14: 災害医療	42: 胸痛	70: 気分の障害 (うつ)
15: 臨床問題解決のプロセス	43: 動悸	71: 流・早産および満期産
16: ショック	44: 心肺停止	72: 成長・発達の障害
17: 急性中毒	45: 呼吸困難	73: 慢性疾患・複合疾患の管理
18: 全身倦怠感	46: 咳・痰	74: 高血圧症
19: 身体機能の低下	47: 誤嚥	75: 脂質異常症
20: 不眠	48: 誤飲	76: 糖尿病
21: 食欲不振	49: 嚥下困難	77: 骨粗鬆症
22: 体重減少・るい瘦	50: 吐血・下血	78: 脳血管障害後遺症
23: 体重増加・肥満	51: 嘔気・嘔吐	79: 気管支喘息
24: 浮腫	52: 胸やけ	80: 在宅医療
25: リンパ節腫脹	53: 腹痛	81: 終末期のケア
26: 発疹	54: 便通異常 (下痢・便秘)	82: 生活習慣
27: 黄疽	55: 肛門・会陰部痛	83: 相補・代替医療 (漢方医療を含む)
28: 発熱	56: 熱傷	0: その他

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550

E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

診療メモ



腰痛を知ろう —ガイドラインで学ぶ腰痛診療の最前線—

独立行政法人国立病院機構宮崎東病院 整形外科 くろ き ひろ し 黒 木 浩 史

はじめに

厚生労働省の平成28年度国民生活基礎調査による症状別有訴者率にて、腰痛は男性で1位、女性で2位に位置しています。このように腰痛はその患者数の多さから問題となる症状のひとつであるにもかかわらず診断の確定は難しく、腰痛の80~90%は原因が良く分からないいわゆる非特異的腰痛とされています。本項では謎多き非特異的腰痛にどう対応すべきかについて診療ガイドラインを参考にご紹介します。

1. 腰痛の定義

一般に腰痛とは第12肋骨と殿溝下端の間の領域に位置する部位の疼痛とされています。有症期間別では、発症からの期間が、4週間未満が急性、4週間以上3か月未満が亜急性、3か月以上が慢性と定義されます。原因別では、非特異的腰痛以外、大まかに、重篤な基礎疾患（悪性腫瘍、感染、骨折など）に由来するもの、下肢の神経症状（下肢痛・しびれ、間欠跛行など）を併発するもの（椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症など）、各種脊柱構成体の退行性病変（椎間板変性、椎間関節変性など）に起因するものに分けられます。

2. 腰痛の自然経過

急性の場合、自然軽快を示すことが多く、経過は概ね良好とされ、一方、慢性の場合は急性よりも不良とされています。心理社会的要因は腰痛を遷延化させ、身体的、精神的に健康な生活習慣は、腰痛の予後を改善します。

3. 腰痛と生活習慣

低体重、肥満、喫煙、飲酒、運動不足が腰痛発症のリスクになり、予防には健康的な生活習慣と穏やかでストレスが少ない生活が推奨されています。

4. 腰痛の診断

腰痛の患者さんを評価する際に大切なことは、注意深い問診と診察です。これらで危険信号（red flags）（表1）を確認し、まず重篤な腰椎疾患を確実に鑑別します。そして画像検査を施行しますが、一般的にはまず単純X線にて骨の評価を行ない、危険信号（red flags）や神経症状を呈する患者では、それに続き、MRI撮像が推奨されています（図1）。ただし、画像診断はあくまで補助診断であることを心得ておく必要があります。画像の異常が全て症状に関係するわけではなく、診察所見が揃ってこそ、それが真に意味のある有意な変化と言えます。

5. 腰痛の治療

腰痛を自覚した際、安静がいいのか、活動性維持がいいのか疑問があると思います。急性腰痛に対しては、安静よりも活動性維持のほうが有用で、一方、坐骨神経痛をとまなう腰痛では、安静と活動性維持に明らかな差はないとされています。

薬物療法は疼痛軽減や機能改善に有用であるとされています。急性腰痛には非ステロイド性抗炎症薬の推奨度が高いですが、胃腸障害、腎機能障害などの副作用がありますので短期間の

表1 重篤な脊椎疾患の合併を疑うべき危険信号 (red flags)

- ・ 発症年齢<20歳または>55歳
- ・ 時間や活動性に関係のない腰痛
- ・ 胸痛
- ・ 癌、ステロイド治療、HIV*感染の既往
- ・ 栄養不良
- ・ 体重減少
- ・ 広範囲に及ぶ神経症状
- ・ 構築性脊柱変形
- ・ 発熱

*human immunodeficiency virus

腰痛診療ガイドライン2019(改訂第2版)より引用

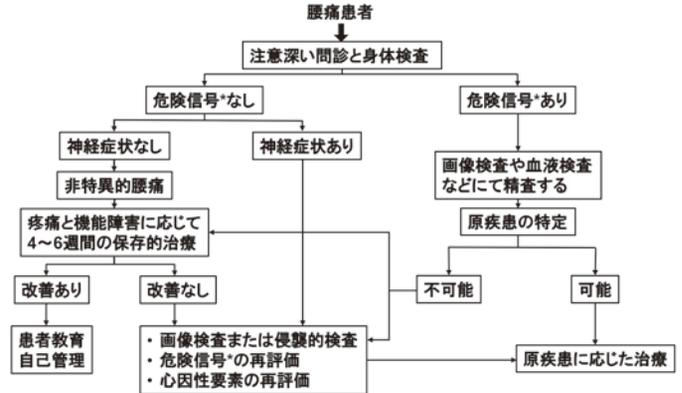


図1 腰痛の診断手順

*危険信号:表1参照

腰痛診療ガイドライン2019(改訂第2版)より引用

服用が望ましいです。慢性腰痛にも薬物療法が実施されますが、使用される薬剤は多岐にわたり、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤、弱オピオイドの信頼性が高く、非ステロイド性抗炎症薬はそれらに次ぐ形となり、急性腰痛とは、推奨順位が異なります。

物理・装具療法、すなわち牽引療法、超音波療法、電気刺激療法、温熱治療、コルセットは、エビデンスは弱く限定的とされていますが推奨はされていますので試す価値はありそうです。

運動療法については、急性腰痛および亜急性腰痛に対してはエビデンスが不明であり推奨度はありません。しかし慢性腰痛に対する運動療法は有用とされ、基本的には腹筋・背筋トレーニングと四肢・体幹のストレッチが実施されます。

患者教育、心理的アプローチ、認知行動療法もエビデンスは弱いですが推奨度は高いです。社会復帰もままならない難治性の腰痛に対し、精神科医にもご協力いただき試みて良い手法と考えます。

硬膜外ブロック、神経根ブロック、椎間板内注射、椎間関節注射、脊髄神経後枝内側枝ブロック、経皮的椎間関節枝ブロックなどのインターベンション治療もエビデンスは弱いですが推奨度は高いです。

手術療法（脊椎固定術）は一定のエビデンスがあり支持されています。しかし手術にはリスクをとめない、また慢性腰痛に対する脊椎固定術の疼痛軽減効果は、認知行動療法や運動療法

などの非手術治療と同等であるという報告もあり、その適応は厳密に検討する必要があると考えます。

徒手療法、鍼療法、ヨガ、マッサージなどの代替療法に関しましては、エビデンスが確立されていないためガイドラインでこれらの有用性を述べることは不可能であるとされました。

6. 腰痛の予防

腰痛の予防法に関しましては、運動療法、認知行動療法、運動と職場環境の改善（持ち上げ器具の使用や作業場の高さ調整など）が有用とされています。一方、コルセットには腰痛予防効果はなく推奨度はなしと判断されました。

おわりに

腰痛診療においては、まず危険信号 (red flags) に配慮し、重篤な腰椎疾患が除外できれば、急性期は消炎鎮痛剤を服用し活動を維持しつつ症状の軽快を期待し、慢性期は鎮痛剤、注射などでの対応と積極的運動療法で緩和に努めます。腰痛の遷延化には、心理社会的因子が強く関連していますので、患者さんに寄り添い良く話を聴き、根気強く治療を継続する配慮が不可欠です。

参考文献

日本整形外科学会診療ガイドライン委員会, 腰痛診療ガイドライン策定委員会編. 腰痛診療ガイドライン2019 (改訂第2版), 南江堂, 東京, 2019.

宮大医学部学生のページ



Remote Music Festival 2020

Remote Music Festival 2020 企画長 医学科4年 むら 村 せ 瀬 のぞみ 希

令和2年、11月3日火曜日、15日日曜日に清武文化会館にて行われました「Remote Music Festival 2020」についてご報告させていただきます。

今年の6月に開催を予定しておりましたが、第39回宮崎大学医学部音楽祭は新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し、中止とさせていただきました。しかしそのような状況下においても何か別の方法で私たちの演奏をお届けすることができるのではないか、特に今回の音楽祭が引退の舞台となるはずだった卒業生のために、何か機会を作ることはできないかと考え、リモート音楽祭の企画が立ち上がりました。

今回の音楽祭は例年の音楽祭と異なり、全学年から企画員を募集し、最終的には12人の企画員で準備を進めてまいりました。開催自体も、開催形式も未定の手探りの状況の中、進んで協力してくれた企画員には感謝しかありません。そして何より、清武文化会館の皆様と澤口教授をはじめ宮崎大学の皆様のご理解とあたたかいご支援なくして、今回のリモート音楽祭の開催はあり得ませんでした。企画当初から一緒になって考え、アドバイスをいただき、また当日も会場設営や運営に多くのご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

今回のリモート音楽祭のテーマは「いつもと

違う1年に、いつもと違う思い出を」です。部活動はおろか、仲間と会うことすらままならなかった今年度だからこそ、仲間とともに皆様の前で演奏できる喜びを一層深く感じることができました。そんな想いを音楽や映像とともに、皆様のもとへ届けることが私たちの願いです。アンケートの中に「コロナ禍だが、演奏を聴いて元気がでた」といった言葉を数多くいただき、大変嬉しく思います。

今回は感染対策の一環として、県内在住の方々のみご来場可能とさせていただいております。県外にお住まいで、ご来場いただけなかった方々のために、当日のプログラムや写真、映像をホームページ (<https://rmf2020.jimdosite.com/>) で公開しております。また、宮崎市内を中心に、ご希望いただいた医療福祉施設へDVDの無料配布も行いました。企画・運営・出演する私たちと、会場でご覧いただいた皆様と、そして画面上でご視聴いただく皆様、全員で作る「リモート音楽祭」が今までにない素敵な思い出になることを祈ります。

以上、Remote Music Festival 2020のご報告とさせていただきます。リモート音楽祭へのご支援、本当にありがとうございました。来年度以降もなにとぞよろしく願いいたします。



企画員メンバー



すずかけ太鼓



室内楽部



合唱部

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

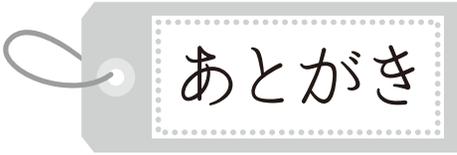
またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
11月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施要領について ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業に係る留意事項について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・ヒトパピローマウイルス様粒子ワクチンの供給見通しについて ・季節性インフルエンザワクチンの供給について ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施について ・発熱外来診療体制確保支援補助金の申請について（インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業）
11月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その29） ・オキシコンチンTR錠5mg, 同10mg, 同20mg及び同40mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項について ・厚生労働省委託「日本医師会死体検案相談事業」対象地域拡大のお知らせと死体検案業務に従事する一般臨床医等への周知について ・中央防災会議「令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難の在り方について（中間とりまとめ）」について ・地域の医療機関向けオンライン説明会の追加開催の御案内等について（HER-SYS関係） ・令和2年7月豪雨による被災者に係る利用料等の介護サービス事業所等における取扱いについて（その8） ・介護保険法施行規則の一部を改正する省令の公布について ・予防接種法施行規則の一部を改正する省令について ・「発熱外来診療体制確保支援補助金の申請について（インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業）」にかかる日本医師会への交付申請書等作成依頼書のご案内等について ・『「診療・検査医療機関（仮称）」等における「新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）」を用いた受診者数等の報告開始について』
11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
11月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・電離放射線障害防止規則の一部を改正する省令等の施行等について ・「医師の働き方改革に関する『トップマネジメント研修』開催のご案内」の送付について

送付日	文 書 名
11月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の適応外使用に係る保険診療上の取扱いについて ・検査料の点数の取扱いについて ・NBCR対策推進機構第3回「CBRNEテロ・災害と医療対策担当者養成講習会」の開催について ・エイジフレンドリー補助金の申請期間の延長の周知について ・高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）が疑われる事例の発生について ・令和2年度新型コロナウイルス感染症対応医療機関労災給付上乘せ補償加入支援事業補助金の交付について ・「診療・検査医療機関（仮称）」等における「新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム（G-MIS）」を用いた受診者数等の報告開始について
11月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の公布等について（カリキュラム改正関係） ・刑務共済組合組合員証の無効について ・新型コロナウイルス感染症等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）への入力について ・新型コロナウイルス感染症対策に係る病院の医療提供状況等の把握等について調査項目一部変更のお知らせ ・令和2年度インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金（インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業及びインフルエンザ流行期に備えた発熱患者の電話相談体制整備事業）に関するQ&A(第2版)について等 ・「保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令の施行等について」の一部改正について（集中治療領域パッケージ研修） ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その41）」の送付について ・第12回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム「薬剤耐性（AMR）対策アクションプランの成果と次期の展望」～新型コロナウイルス感染症により注目されるワンヘルスアプローチでの取組み～の開催について
11月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・「使用上の注意」の改訂について ・チサゲンレクルユーセルの最適使用推進ガイドラインの一部改正について ・循環器病対策推進基本計画の策定について ・「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」および「「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」に関するQ&A（事例集）」の一部改正について ・「病院等の勤務環境に関するアンケート調査について（依頼）」の送付について
11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について ・「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針（第2版）」の周知について

送付日	文 書 名
11月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・介護医療院の開設状況（令和2年9月30日時点）について ・新型コロナウイルス感染症等感染防止対策実施医療機関「みんなで安心マーク」の更なる周知について ・新型コロナウイルス感染症にかかる検査料の点数の取扱いについて ・美容医療サービス等の自由診療におけるインフォームド・コンセントに関する説明用資料の改定について ・「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その30）」及び「「新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の保険適用に伴う費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について」の一部改正について」について
11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・『日本医師会年次報告書』2019-2020（令和元年度版）の日本医師会ホームページへの掲載について ・ターゲット別運動・スポーツの実施啓発リーフレット及びスポーツを通じた高齢者向け健康二次被害予防ガイドラインの公表について ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた公費負担医療等の取扱いについて ・「交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム」の開催について ・診療・検査医療機関等を含めた次のインフルエンザ流行に備えた各地域における体制の整理等について
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その42）」の送付について ・「建築物における電気設備の浸水対策ガイドライン」について
11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その43）」の送付について ・令和2年度「児童虐待防止推進月間」ポスター・リーフレット等の送付について ・新型コロナウイルス感染症に係る感染症法上の入院措置の対象者について ・医療機関、高齢者施設等の検査について（再周知） ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査におけるPCR検査の取扱いについて
11月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた公費負担医療等の取扱いについて ・乳がん検診（マンモグラフィ検査）の実施状況に係る調査について（令和2年地方分権改革に係る提案募集に関する調査について） ・介護保険サービス従事者向けの感染対策に関する研修について ・令和2年度「世界エイズデー」ポスターについて
11月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・風評被害に関する情報提供のご依頼について ・季節性インフルエンザとCOVID-19の検査体制について ・情報通信機器を用いた労働安全衛生法第66条の8第1項、第66条の8の2第1項、第66条の8の4第1項及び第66条の10第3項の規定に基づく医師による面接指導の実施について ・新型コロナウイルス感染症の患者数増加に備えた人工呼吸器の十分な確保について（依頼・その3）

送付日	文 書 名
11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・HER-SYS関係の利用に関するオンライン説明会の説明動画の送付について ・11月以降の感染状況を踏まえた病床・宿泊療養施設確保計画に基づく病床・宿泊療養施設の確保及び入院措置の対象について ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症に関する自費検査を実施する検査機関が情報提供すべき事項の周知および協力依頼について ・クラスターの早期探知・早期介入のための取組み等について ・高齢者施設等への重点的な検査の徹底について ・降積雪期における防災態勢の強化等について ・セリチニブ製剤の使用にあたっての留意事項について ・外来診療をおこなう既存小規模医療機関を対象とする換気及び暖冷房について（第1版） ・デュピルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（アトピー性皮膚炎、気管支喘息、鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎）の一部改正について
12月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインについて」正誤表の送付について ・「厚生労働省「医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業」について（情報提供）」について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その44）」の送付について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・令和2年の医師の届出について
12月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・今冬のインフルエンザ総合対策の推進について ・令和2年医師の届出に係る協力依頼について ・持分の定めのある医療法人から持分の定めのない医療法人へ移行する計画の認定を受けるための申請について ・病床機能再編支援事業の実施に関するQ&Aについて ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた障害年金診断書の取扱いについて ・肺炎球菌ワクチンの供給見通しについて（更新情報） ・医療的ケア児者の人工呼吸器に必要となる衛生用品等の優先配布事業（第2期分）について ・インフルエンザ様疾患罹患時の異常行動等に係る全国的な動向調査研究に対する協力について
12月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う防疫作業従事者の発熱時の診療対応について ・福岡県アレルギー講習会（Webセミナー）の案内について ・令和2年の医師の届出について



あとかき



新年あけましておめでとうございます。新年を迎えるにあたって清々しい気持ちとともに、2年間あった学生広報委員としての任期が残り少なくなっていることに寂しさを感じます。あと約3か月、広報委員としての仕事を一生懸命頑張りたいです。

少し前になりますが、断捨離をしました。コロナ禍の影響で家にいる時間が増え、ものの多さが目につき

鬱陶しく感じたからです。実習や部活もあったので、毎日少しずつ部屋にあるものを整理していきました。試験勉強に使ったノート、自分へのご褒美として買った服、なんだか捨てられずにいた時計や財布の箱など、今の私にはいらぬものがたくさんありました。ゴミ袋に入れていくと、最終的には買って来た中サイズの1袋分のゴミ袋がなくなってしまいました。必要ないものがこんなにも部屋の中にあったのかということと、ものが減ることで生活の快適度が想像以上に上がったことに驚きました。そして、今度からはもっと自分に必要なものかどうかを考えて買い物をしようと思えました。

断捨離はものを捨てることだと思っていたのですが、調べてみるとヨガの思想である「断行・捨行・離行」の頭文字をとった言葉で、「自分にとって不要なものを断ち、それらを捨て、ものへの執着から離れること」が本当の意味のようです。断捨離をすることで家が片付き生活しやすくなることはもちろん、今の自分を見つめ直すことやストレス軽減にもつながるそうなので、気になる方はぜひやってみてはいかがでしょうか？（河野(真)）

* * * * *

去年は、伊勢神宮と出雲大社に、それぞれ2回参拝させていただきました。初めて参拝した神社といえば、宇佐神宮と榎原神宮です。どの神社に行くときも前もってではなく、突然行くことが決まります。でも行けるんです。先日も、朝風呂に入りながら高千穂にある八大龍王水神社に行ってみようと思いつきながらフェイスブックを眺めていると、その神社に行った人のコメントが目にとまって、もちろんその後すぐに高千穂に向かいました。僕は、実力1割、運が9割と思って生きています。(笑) (野村)

* * *

老若男女問わず、マスクを着用するようになった。そして、マスクと手洗いの効果で感染症にかからないことが証明された？ 数年前、知り合いの女医さんが近所のスーパーマーケットに行くときに、顔バレしないように、帽子とマスクで出かけると言っていたことを思い出した。患者さんの保護者に会ってしまうとついお話しが長くなってしまおうのを避けるためらしい。今となっては、皆さんマスクなので、有名人が紛れ込んでいてもわからないだろうなあ。

(山崎)

* * *

以前、あとかきで水耕栽培を始めたことを書かせていただきました。レタス、小松菜、青梗菜は本当にすくすく育つので、もう何度か収穫し、食すことができました。一方、挑戦したいと書いていた肝心のほうれん草は、数か月をかけてやっと発芽に至ったという状態です。本に書いてあるとおりにしているつもりなのですが、何を間違っているのか。まだまだ試行錯誤の日々は続きそうです。(高橋)

先日ネットサーフィンをしていて、人生を楽しく生きるために捨てるべき6つの習慣を見つけました。

1. ネガティブな言葉を発すること。
 2. 他人と自分を比較すること。
 3. 人に期待しすぎること。
 4. 他人の悪口や陰口を言うこと。
 5. 他人からの評価を気にすること。
 6. 完璧を求めすぎること。
- いやー、沁みますねー。人は人、自分は自分、一度しかない人生この6つの習慣を捨てて、楽しく生きていきたいですね。(石田)

* * *

10月末からクリニカル・クラークシップIが始まり、充実した日々を送っています。現在は4週にわたって外科を巡らせていただいています。外科の先生方は、とても繊細で失敗の許されない作業を長時間行われていて、とても感銘を受けました。教科書上では簡単に書いてある一つひとつの手技がとても細かく、難しいので、並大抵ではない集中力が必要だと感じました。先生方が「手術中は楽しくて、あっという間に時間が過ぎる」とおっしゃっていたのがとても印象的でした。(横山)

* * *

コロナ禍の中で常任理事の拝命を受け、業務内容もわからないままスタートして半年が過ぎようとしている。この間慌しく学校医部会、園医部会、九州医学会小児科分科会すべてをWebで開催し形に残せたのも、県医師会職員の方々の協力なしではあり得なかった。あとかきを借りて感謝申し上げます。(高木)

今月のトピックス

年頭所感

多くの先生方、政治家の方々に恒例の年頭所感をいただきました。当然のようにコロナ禍についての話題が多くなっています。来年の今頃にはワクチンや治療薬が完成し、終息していますよう心から願います。 3 ページ

新春随想

今年もたくさんの投稿をいただきました。ありがとうございます。趣味の話、年男の話、勉強になる話、もりだくさんです。ロボット掃除機、うちも買いましたが、飽きたのか最近稼働していません。ビアホール、銀座7丁目のライオン、いいですね～。僕も好きです。80才以上は免許返納を。誰かうちの父にも言ってください。 25ページ

診療メモ 腰痛を知ろうーガイドラインで学ぶ腰痛診療の最前線ー

腰痛について宮崎東病院整形外科の黒木浩史先生に教えていただきました。小生も2年前51歳で初めてのギックリ腰を患い、翌年も2年連続で発症しており、腰痛におびえる日々です。今度、「全集中」でガイドラインを読んでみます。 92ページ

日 州 医 事 第857号(令和3年1月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会 長 河 野 雅 行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 野村 勝政・副委員長 稲倉 琢也

委 員 山崎 俊輔, 植田 雄一, 高橋 典子, 菊池 英維,
石田 康行, 長井 慎成

学 生 委 員 河野 太地, 河野 真菜, 横山慎太郎, 木村 桃子

担 当 副 会 長 山 村 善 教・担 当 理 事 荒 木 早 苗, 高 木 純 一, 佐 々 木 究

事 務 局 学 術 広 報 課 本 崎 礼 子, 牧 野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)